事務	事第	業コード		06-	02-0	1					戦	格プラ	ン	●協働	0	業務	〇 財	NOT 務 <mark>○</mark> 人事
事務	事第	<b>業名</b>		産業	業振興	!想	談会選	営			部部担当	₹名 者名		<mark>経済部経</mark>	営支援護	課長名		石崎 457
事務3	業	を構成す	る小事	業名			01-1	1-01	産業扱	長興	懇談会			-		P 3 dol		407
		事業コー																
		業の種類					〇 2年		元年原			0	建設	ひ事業 (		それり	人外の	継続事業
開始			_			成	O 令		年度		根拠	荒川荒川	川区	<b>產業振興</b>	懇談会	設置要絲	岡	
終期			● 有 〇 法				→ ±77 ·		2 年度 ● 区 <sup>2</sup>		法令等		画区		0			非計画
			分里		四			<b>新都市</b>		江田	季华	I PII	쁴ഥ	<u> </u>	U			<u> </u>
		[評価  体系	政策	-	05				・ 越経済で	うく	IJ							
=	* 未		施領		01				修備・充									
	_	区内産第  参画によ							区内産	業振	<b>長興施策</b>	につし	いて	、各分野 <i>0</i>	)専門家	や先進は	企業 <i>σ</i>	)経営者等の
目的	.J																	
対象等		産業振興	!懇談:	会委	員													
		【17年度 会を設置											۔ا ر	、新産業	の創造の	の促進に	関す	る専門調査
		【18年度	ŧ] ŧ	ノづ	らくり	産業	<b>Ě振興</b>	や新産	業創造	の仮	建に関	する核						、商業振興分 長興施設設置
		に関する	検討	を実	施し	た。												
内容	\$	等につし	いて審	議し	た。													新たな事業
		【23年度 踏まえ、										の進物	步状	況や新た	な事業等	等につい	ての	審議内容を
		山 みん、	北安	1 <i>~ 1</i> 10		NEX EX	ХДС	ᄪ	9		//_0							
		产業振	日 須見 言火・	<b>夕</b> 即	14年(	<b>亚</b> E	比17年	度6回。	10年度	FOLD	1844	10年度	∓ IN	降22年度	士で久々	F 康 2 同 目	<b>担佐</b> )	
		平成17年	度	新産	業の	創造	きの促	進に関	する専	門調	查会3回	回開催	-				ガ1年/	
		平成18年	-	小規	快让	来方	7件会	9四開作	E、冏耒	- 恢	<b>奥</b> 尔科3	34四月	FI1佳	、視察会	2四開惟			
経過	a.																	
小工人	2																	
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				振興	施策	の棹	構築に	は、各	分野の	専門	家や先	進企業	€の	経営者等	による	大所高所	から	の懇談が必
必要1	生	要である	0 0															
実施	-	( <mark>1直営</mark>			)		(	直営の	場合	•	常勤	O 非:	常勤	○ 臨時	職員)			
天派																		
										±!	旨標の推							
指		事務事業	の成り	果と	する	指標	名	00				2年度	ξĺ	目標値		指標に	関する	る説明
,,,								29年度	30年月	芟 :	元年度	見込		(8年度)				
	1	懇談会開	催数					(	)	0	0		1	1				
標	2																	
	<u> </u>																	
	_		事業の	り分類		±					5	う類に	つし	ヽての説明	月・意見	等		
	2	生度			3年	乏		空にナ_	た彦学	振朗	旧体生世	筑の+	- xh	に事業継	結して	キナーが	他の	事業等を通
	į	継続		休	止•	完了	7	じて、	専門家	σع		制が割						事業寺を週 し、令和2年

予質												(里1	立:千円)
, <del>, , ,</del>	• <b></b>	央算額等の推移		26年度	支	27年度	28	年度	294	F度	30年度	元年度	2年度
予算:	額			36	63	351		351		351	342	352	352
決算	額	(2年度は見込み)			0	0		(	)	0	0	0	352
実		事項名(2年度は見込	み)	26年度	<b>7</b> +Γ	27年度	28	年度	29年	F度	30年度	元年度	2年度
績	懇	談会開催数			0	0			0	0	0	0	1
の	専	門調査会開催数			0	0			0	0	0	0	1
推	分	科会等開催数			0	0			0	0	0	0	1
移													
予算	• <b></b>	央算の内訳				<u>.</u>							
		平成30年度(決算)			令和	元年度	決算	(1)			令和2年	F度 (予算)	
節		主な事項	金額(千円)	節		主な事	項	:	金額(千円)	節		な事項	金額(千円)
報償	費	委員謝礼	0	報償費	委員	謝礼			0	報償費	<b>委員謝</b>	:L	292
		消耗品費等	0	需用費							1 消耗品費		26
		テープ反訳	0	役務費						役務責			27
使用料	半等	懇談会会場使用料	0	使用料等	懇談	会会場使	用料	ļ İ	0	使用料	等 懇談会会	会場使用料	7
												(単作	立:千円)
		勘定科目	30年度	元年	年度	差額		į	加定科目		30年度	元年度	差額
		給与関係費		965	448	-	17		<u>572-11                                   </u>				
		物件費					╡	国国	<u>₹ 7.72</u> 車支出金	Ž			
行		維持補修費					17	都。	支出金				
政		扶助費					一政	又 公士	金及び負金を	負担金			
	政	補助費等					一型		料及び				
ス・								ν —	の他				
<u> </u>		不納欠損。貸倒引当金繰入額							収入合	計(a)	0	0	0
計		賞与•退職給与引当金繰入額	2	249	27	<b>A</b> 2	22 行		差額(a)-(		<b>▲</b> 1, 214	<b>▲</b> 475	739
算書		その他行政費用	•	- 10		<del>                                     </del>			文差額				, 00
一	'	行政費用合計(b)	1.3	214	475	<b>A</b> 7			差額(c)+(		<b>▲</b> 1, 214	<b>▲</b> 475	739
	特別費用(g)			- • • •	170				又入(f)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			700
		別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0				支差額(e	) + (h)	<b>▲</b> 1, 214	<b>▲</b> 475	739
		の開催自体を目的とし	ていない	ため、産							,		
備	_	WINDER TO CHANCO			- >   < 3/20	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,,, 0	~ 1.,	/~ III IK		, - pa im - p	, /// C   // L	0
考													
問													
		区内産業の振興に資す	る、新た	な産業振	興施	策を効率	的か	つ効	果的に	検討す	るため、必	必要に応じて	て適宜実施
		区内産業の振興に資する としてきたが、平成2					的か	つ効	果的に	検討す	るため、必	必要に応じて	て適宜実施
題							的か	つ効	果的に	検討す	るため、必	必要に応じて	で適宜実施
題点							的か	つ効	果的に	検討す	るため、必	必要に応じて	て適宜実施
題点。課							的か	つ効	果的に	検討す	るため、必	必要に応じて	て適宜実施
題点							的か	つ効	果的に	検討す	るため、必	必要に応じて	(適宜実施
題点・課題	す	るとしてきたが、平成だ					的か	· つ効	果的に	検討す	るため、必	必要に応じて	<b>送適宜実施</b>
題点・課題	す	るとしてきたが、平成2 ■ 課題の改善策	23年度以		.てい	ない。				検討す			
題点・課題	す	るとしてきたが、平成2 ・課題の改善策 令和元年度に取り	23年度以		,てい 令	ない。  和元年度	に実		<u>t</u> :	検討す	令和2年歷	度以降に取り	り組む
題点・課題	す 点 -	るとしてきたが、平成だ ・課題の改善策 令和元年度に取り 具体的な改善内	23年度以  組む 容	降開催し	.てい 令.	ない。 和元年度 対善内容お	に実	!施し	ナニ 西		令和2年原	度以降に取 <sup>り</sup> 的な改善内	リ組む 容
題点・課題	点・会	るとしてきたが、平成2 ■ 課題の改善策 令和元年度に取り 具体的な改善内 の開催自体を目的とせ	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	<b>可</b>	令和2年月 具体 乃開催自体	度以降に取り 的な改善内 を目的とせ	リ組む 容 *ず、識者
題点・課題問題	す。点の会興	■ 課題の改善策	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容お	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題	す。点の会興	るとしてきたが、平成2 ■ 課題の改善策 令和元年度に取り 具体的な改善内 の開催自体を目的とせ	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取り 的な改善内 を目的とせ	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題問題	す。点の会興	■ 課題の改善策	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題問題	す。点の会興	■ 課題の改善策	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題問題	す。点の会興	■ 課題の改善策	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題問題	す。点の会興	■ 課題の改善策	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題問題	す。点の会興	■ 課題の改善策	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題問題	す。点の会興	るとしてきたが、平成2 ■ 課題の改善策 令和元年度に取り 具体的な改善内 の開催自体を目的とせて 施策に関して得た情報	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 - 課題   問題   ①   ②	す。点の会興	るとしてきたが、平成2 ■ 課題の改善策 令和元年度に取り 具体的な改善内 の開催自体を目的とせて 施策に関して得た情報	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題問題	す。点の会興	るとしてきたが、平成2 ■ 課題の改善策 令和元年度に取り 具体的な改善内 の開催自体を目的とせて 施策に関して得た情報	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 - 課題   問題   ①   ②	す。点の会興	るとしてきたが、平成2 ■ 課題の改善策 令和元年度に取り 具体的な改善内 の開催自体を目的とせて 施策に関して得た情報	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	てい 令 会の	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	:施し び評値 るたる	<i>た</i> 晒	n 会のを3	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 課題 問題 ① ② ③ ③	す。会興必	■課題の改善策	23年度 組容 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	振想談業・金米・	ってい 令。 会の情報	ない。 和元年度 東 を検済 開 を検済 を を は の の の の の の の の の の の の の の の の の	に実 3よ で 計 す で る に に に に に に に に に に に に に	施し が評価 るたと を収ま	た 町 か、区 <b>戍</b> 集した。	ら を 合、 を 合、	令和2年月 具体  の開催自体 交えて新た 必要に応	度以降に取り 的な改善内 を目的をを検 な施開催す	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 課題 問題 ① ② ③ ③	す。会興必	るとしてきたが、平成2 ■ 課題の改善策 令和元年度に取り 具体的な改善内 の開催自体を目的とせて 施策に関して得た情報	23年度以 組む 容 ず、産業	振 懇談:	ってい 令。 会の情報	ない。 和元年度 対善内容 昇催を検討	に実および	施し が評価 るたと を収ま	<i>た</i> 晒	ら を 合、 を 合、	令和2年月 具体 の開催自体 交えて新た	度以降に取 的な改善内 を目的とせ な施策を検	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 課題 問題 ① ② ③ ③	す。会興必	■課題の改善策	23年度 組容 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	振想談業・金米・	ってい 令。 会の情報	ない。 和元年度 東 を検済 開 を検済 を を は の の の の の の の の の の の の の の の の の	に実 3よ で 計 す で る に に に に に に に に に に に に に	施し が評価 るたと を収ま	た 町 か、区 <b>戍</b> 集した。	ら を 合、 を 合、	令和2年月 具体  の開催自体 交えて新た 必要に応	度以降に取り 的な改善内 を目的をを検 な施開催す	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 - 課題 問 ① ② ③ 他区の	す。会興必	■課題の改善策	23年度 組容 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	振想談業・金米・	ってい 令。 会の情報	ない。 和元年度 東 を検済 開 を検済 を を は の の の の の の の の の の の の の の の の の	に実 3よ で 計 す で る に に に に に に に に に に に に に	施し が評価 るたと を収ま	た 町 か、区 <b>戍</b> 集した。	ら を 合、 を 合、	令和2年月 具体  の開催自体 交えて新た 必要に応	度以降に取り 的な改善内 を目的をを検 な施開催す	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 課題 問題 ① ② ③ ③	す。会興必	■課題の改善策	23年度 組容 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	振想談業・金米・	ってい 令。 会の情報	ない。 和元年度 東 を検済 開 を検済 を を は の の の の の の の の の の の の の の の の の	に実 3よ で 計 す で る に に に に に に に に に に に に に	施し が評価 るたと を収ま	た 町 か、区 <b>戍</b> 集した。	ら を 合、 を 合、	令和2年月 具体  の開催自体 交えて新た 必要に応	度以降に取り 的な改善内 を目的をを検 な施開催す	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 - 課題   問   ①   ②   ③   施状況     他区の実	す。会興必	課題の改善策	23年度 組容 で を を と に と に と	振想談業・未実	、て 令 の情報	ない。 和元年を検済情報  22	に実らすする。	施し が評価 るたと を収ま	た。	可 会で を合、	令和2年月 具体  の開催自体 交え必要に応	度以降に取り 的な改善内 をを施開催す	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 - 課題   問   ①   ②   ③   施状況   況	す。会興必	課題の改善策	23年度 組容 で を を と に と に と	振想談業・未実	、て 令 の情報	ない。 和元年を検済情報  22	に実らすする。	施し が評価 るたと を収ま	た。	可 会で を合、	令和2年月 具体  の開催自体 交えて新た 必要に応	度以降に取り 的な改善内 をを施開催す	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題 問 ① ② ③ 他区の実 議会	す。会興必・平	課題の改善策	23年度 組容 で を を と に と に と	振想談業・未実	、て 令 の情報	ない。 和元年を検済情報  22	に実らすする。	施し が評価 るたと を収ま	た。	可 会で を合、	令和2年月 具体  の開催自体 交え必要に応	度以降に取り 的な改善内 をを施開催す	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点・課題 問 ① ② ③ 他区の実 議会	す。会興必・平	課題の改善策	23年度 組容 で を を と に と に と	振想談業・未実	、て 令 の情報	ない。 和元年を検済情報  22	に実らすする。	施し が評価 るたと を収ま	た。	可 会で を合、	令和2年月 具体  の開催自体 交え必要に応	度以降に取り 的な改善内 をを施開催す	リ組む 容 ず、識者 おする場
題点 - 課題   問   ①   ②   ③   施状況   況	す。会興必・平・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	課題の改善策	23年度 組容 で を を と に と に と	振想談業・未実	、て 令 の情報	ない。 和元年を検済情報  22	に実らすする。	施し が評価 るたと を収ま	た。	可 会で を合、	令和2年月 具体  の開催自体 交え必要に応	度以降に取り 的な改善内 をを施開催す	リ組む 容 ず、識者 おする場

事務署	事美	業コード		06-02-0	2					✓ 🔼 協働			財務	〇人事	
事務	事章	業名		工業団体	本連合会社	補助事業			果名 <mark>産</mark> 者名 大	業経済部経 :野	営支援課	課長名 内線		石﨑 459	
事務事	1業		る小事	<b>業</b> 名	01-1	2-01	工業団体								
		事業コー													
事務	事主	業の種類	〇 新	·規事業	( 〇 2年	手度 O	元年度	)	○ 建	設事業		それ以外	水の糾		
開始。				加 和 平				根拠							
終期記				〇 無		令和3		法令等	ニュニ	区商工振興	事業突加	加納即金:	父 何 安 ———	· 쒜 ——————	
実施	基	隼		:令基準内			●区独	自基準	計画	区分	<mark>○</mark> 計	画	● 非	計画	
行	·政	(評価	分里			革新都市		- 11							
		体系	政 致				経済づく 備・充実								
		区内コ						-	協策を	効率的に展	望するた	め、荒川	区工	<b>坐</b> 団体連	
   目的	h			る事業に						%) <del></del>	///			<b>Д</b> НП.	
	<b>,</b> )														
		共山区	<del>7                                    </del>	団体連合	<u>~</u>										
対象:		ボハド	↓ 土 未 ।	凹冲压口	云										
等															
					会が主催	する事業	能に対し.	、経費の	一部を	補助する。					
		┃・補 助 ┃・補助阻		: 1/2 : 10万	_										
				業 経費		)4つに該	当する事	(業)							
		1 :	生産性	生の向上ま	または販品	路の拡張	を目的と	:した事詞	業						
内容	3			● 従業員				Ę							
				員の福利厚 舌動の広幸											
		4	14年12日	5割∪ハムキ	収旦1五1~1:	男り つず	未								
		平成 6年			工業団体										
			平成12年度までパソコン講習会(区のIT講習会と競合し、収益も望めないので見直									重した	。)		
		平成13年	- 度以	降	2月の第1週の金曜日に新年賀詞交歓会を開催										
経過	昌														
4	_														
		区内の	きの	づくり企	業を束ね	<u>る唯一の</u>	の団体では	あり、各	·団体の	維持 • 継続(	のために	一定のま	を援を	行うこと	
必要怕	生	は必要で		—	A- C		· —					• •-	·	1	
<b>□</b> +6		(1直営		)	(	直営の均	易合 ●	常勤	○ 非常	勤 〇 臨時	職員)				
実施方法															
73 12	`														
								指標の推	<b>#</b> 程						
		事務事業	の成児	果とする	指標名			1日1水マンル				指標に関	する	説明	
指		7- 100		<b>1</b> C /	H IS- E-	29年度	30年度	元年度	2年度  見込み	目標値(8年度)		1 H 1224	,	70 73	
	(1)	事業参加	企業数	t .		37	41	41	41	50					
1	2														
標	(J														
	3														
		事務	事業の	0分類											
	2	<del>事物</del> 2年度	<b>事</b> 未引	3年月				3	分類につ	いての説明	意見?	等			
	_	· 干I又		<u> </u>	Σ	工業	司体連合	会は区内	のモノ	づくり企業	を東ねる	唯一のほ	団体で	あり. そ	
		かいた士		contract	_	の維持	- 継続の	ための一	定の支	援は、区内					
	i	継続		継糸	売		継続して					•			

									(単位	NOZ <u>2:千円)</u>
	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>		26年度				年度	30年度	元年度	2年度
予算			100			00	100	100	100	100
	額(2年度は見込み) - 事項名(2年度は見込	ユハ	26年度			31 <del>華</del> 20	19 年度	20 30年度	<u>22</u> 元年度	100 2年度
実績	構成団体数	<i>()</i>	20千段	4	4	文 23 4	4	4	九千戌	
の	賀詞交歓会参加企業数		4	46 4	14	44	37	41	41	50
推										
移										
予算	<ul><li>決算の内訳</li></ul>									
fr.hr-	平成30年度(決算)		/r/r	令和元年度			/r/r		<u>F度(予算)</u>	A 400 (
節 <sub>負担金補</sub>		金額 (千円)	節 負担金補助等	<u>主な</u> 助成金	<b>事</b> 垻	金額 (千円)	節 <sub>負担金補助等</sub>		な事項	金額(千円)
貝担亚洲	- 切队並	20	貝担亚州切守	<b>则</b>			貝担亚州助平	り以立		100
									( ) ) ( )	
	掛中利日	20年中	F   = #	· 由 】 辛。	酒 <b>I</b>	サウシ		30年座		<u>注:千円)</u> 美類
	勘定科目 ■給与関係費	30年度				<u>勘定科</u> [ 也方税	1	30年度 0	元年度 0	差額
	物件費	1, 4	0	0	0 . [3	国庫支出:	金	0	0	0
行	維持補修費		0	0	0 行 老	7 下支出金		0	0	C
山 政	行 扶助費		0	0	0 収 分	1担金及び		0	0	0
	政補助費等		20	22		用料及び	手数料	0	0	0
\ \ \	費減価償却費		0	0		その他	\=! ( )	0	0	0
計	用 不納欠損 貸倒引当金繰入額 賞与 退職給与引当金繰入額	2	0 74	0 80 <b>•</b>	0 行政 <sup>4</sup>	「政収入台 『支美額(a) ■		<u>0</u> <b>1</b> , 842	0 ▲ 1.446	396
算	その他行政費用	3	0	0		収支差額		1, 042	0	390
書	行政費用合計(b)	1, 8	Ŭ	· ·	396 通常4			<b>▲</b> 1,842	<b>▲</b> 1, 446	396
	特別費用(g)	., -	0	0		収入(f)		0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		収支差額(	e)+(h)	<b>▲</b> 1,842	<b>▲</b> 1, 446	396
備	荒川区工業団体連合会をき	支援する	ための補	助費等が主	な経費で	ある。				
考										
問	発足時の構成団体の6団	体のうち	、平成1	9年度に1団	体が脱会	。また、	平成224	∓度には1	団体が他団	体に吸収
題	合併されたため、現在は4	団体とな	いている	る。製造業を	とはじめと	した区に	内中小企	業の廃業	等に伴い事	業所数が
点	減少しているため、今後:	も加盟団	体の参加	企業数の減	少が懸念	される。				
課題										
	上一田町の北羊佐									
问想.	点・課題の改善策									
	令和元年度に取り			令和元年					度以降に取り	
	具体的な改善内				および評				的な改善内容	
	引き続き、都や関係機関								等と連携し	て、最新
1	して、最新の情報を収集! 体へ提供していく。	し、愽戍		ヒ収集し、st 団連への参加			ポ  の作	報を収集	していく。	
	ILL AND CO.V.		Hh-T-L	uÆ VV≫/.	µር ØTT (	J U 1_0				
	会員の交流の場を引き	高き担州:	古 产業/	う野における	く 昆 番 西 -		71. 太法	の担の担	供とセミナ	
	ることで、連合会として			である事業を					スは有用情	
2	る。			色した。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	, ,			行っていく	
2										
3										
梅他	(実施 6	区	未実施	包 16	区	不	明	0	区)	
施状況 他区の実	実施区:中央区、港区、	品川区、	大田区、	練馬区、江	戸川区					
況の										
_										
況議										
〜 会 悪 <i>既</i>										
要質 旨問										
世界										

No<sub>1</sub> 戦略プラン <mark>○ 協働 ● 業務 ○</mark> 部課名 <mark>産業経済部経営支援課</mark> 課長名 事務事業コード 06-02-03 〇 財務 〇人事 石﨑 事務事業名 荒川区ものづくりセンサス 担当者名 小嶋 459 内線 事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(2年度) 事務事業の種類 〇 新規事業 ( ○ 2年度 〇 元年度 ) 〇建設事業 ● それ以外の継続事業 ○ 昭和 ● 平成 ○ 令和 15 年度 根拠 開始年度 ○有●無 終期設定 年度 法令等 ○ 法令基準内 実施基準 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ○計画 ● 非計画 分野 産業革新都市 行政評価 活力ある地域経済づくり 政策 事業体系 施策 01 産業基盤の整備・充実 区内の中小製造業等の経営状況や経営環境、区への要望等に関するアンケート調査を実施し、経営実態 や特性を把握し、今後の区の産業振興施策の策定■実施に活用する。 目的 区内の製造業、卸売業、貨物運送業 対象者 等 平成29年度の実施内容 〇実施機関 荒川区中小企業経営協会 ○実施期間 6月15日~10月10日 ○調査員 中小企業診断士 各事業所を訪問し、調査票に沿って、アンケート形式で聞き取り。 単なる調査票の配布・集計ではなく、各事業所を巡回し、調査票の聞き取りを 〇調査方法 内容 ○特徴 通じて、把握した経営課題への助言を行うとともに、内容に応じた区の支援事業 を紹介するなど、課題解決の一助となるよう実施する。 平成15年度調査:区内製造事業所3,745事業所のうち、1,300事業所を抽出。 平成21年度調査:区内の工業系(建築業、製造業、運輸業、他に分類されないサービス業)5,460事業所 |のうち、1,300事業所を抽出。 平成25年度調査:区が有する企業情報データベースに製造業として登録されている事業所2,496事業所の うち、営業中の1,898事業所を調査対象とした。 平成29年度調査:区が有する企業情報データベースに製造業、卸売業、道路貨物運送業として登録され 経過 ている事業所に加え、総務省所管の経済センサス基礎調査の調査票情報を活用し、当初母数2,815事業所 (内調査対象1.830事業所)を調査。 区内製造業等の経営実態を把握し、今後の施策に活かすために、定期的に本調査の実施する意義は高 必要性 (2一部委託 ) ( 直営の場合 ○ 常勤 O 非常勤 O 臨時職員 ) 実施 方法 指標の推移 事務事業の成果とする指標名 指標に関する説明 指 2年度 目標値 29年度 30年度 元年度 見込み (8年度) 72.9 1 回収率(%) 85 2 標 3 事務事業の分類 分類についての説明・意見等 2年度 3年度 区内企業に寄り添った支援を行うには、調査結果を活用し、実態に基づ いた施策立案が重要であるため、推進する。なお、調査は4年間隔程度で、 休止 完了 推進 次回は令和3年度に実施予定である。

											(畄4	No2 立: 千円)
予算	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>		26年度		27年度	28	3年度	图 29年	度	30年度	元年度	2年度
予算额					-				270		_	
	額(2年度は見込み) 事項名(2年度は見込 <i>る</i>	žı \	26年度	-	<u>-</u> 27年度	20	3年度		093	30年度	<mark> </mark>	
実     績	事項句(2年度は兄 <u>父</u> の 調査対象	7)	20十13		27年皮	20	) 牛 ほ	-	- <del>反</del> . 830	30平皮	九十戌	4十尺
	回収数								, 334			
推												
移	1 Mr 1											
予算	・決算の内訳 平成30年度(決算)			△和	- 一年 年	( : 九	李 /			△€□06	F度 (予算)	
節		金額(千円)	節	ገን የሀ	元年度 主な事		<b>子</b> /	金額(千円)	節		F及(ア <u>昇)</u> な事項	金額(千円)
	実施しない		21-	実施	しない					実施した		
		201 =								201 -		立:千円)
	勘定科目	30年度	元 <sup>년</sup> 0	F度 0	差額	0		<u>勘定科目</u> 左超		30年度	元年度	差額
	給与関係費 物件費		V	U		U		<u>方税</u> 庫支出金				
行	維持補修費					-	丁都	<u>库久田亚</u> 支出金				
政	行 扶助費					— Ц	分分 分	担金及び負				
	政 補助費等					_[7	使	用料及び手	数料			
	費 減価償却費 用 不納欠損・貸倒引当金繰入額					$\dashv$		の他 政収入合詞	÷ (a)	0	0	0
計算	賞与 退職給与引当金繰入額		0	0		0 f	_	支差額(a)-(l		0	0	0
昇   建	その他行政費用							収支差額				
	行政費用合計(b)		0	0		_		支差額(c)+(d	i)=(e)	0	0	0
	特別費用(g)		0	0				<u>収入(f)</u>	. /b\	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h) 4年に一度の実施のため、		v	<u>し</u> ら会	和2年度			₹支差額(e) 産施 L. かし		0	0	U
備考		1 /20 0	1 12.10	J  3 ·	18- 172	0	. 10.7		O			
問題点。課題	・今後の施策展開に向けて ・調査先の理解が必要であ 極的にPRを行っていく。								ま等を	通じ、実施	面について見	出き続き積
問題,	L 点 ▪ 課題の改善策											
	令和元年度に取り約	<b>用す</b> :		<b>介</b>	和元年度	に事	施工	. t-		令和2年E	と	リ組す:
	具体的な改善内容				善内容都						的な改善内	
	中小企業者の生産性向上							のための			の生産性向	
(1)	設備投資に関する補助金及 継促進のためのネットワー 等を実施する。			進のた	こめのネッ			び事業承クの構築		設備投資に PRする。	関する補助	金をさら
2												
3												
況実	黒区 (29年度)、大田区 (26: 立区 (29年度)、江戸川区 (	年度)、世 13年度)	田谷区	(27年 (27年	度)、杉	田区			L東区			
	平成30年度6月会議 荒川   - 					〈産	業の	活性化に	つい	C		

事務	事第			06-02-	-04				戦	格プラン	ノ ● 協働	〇業	務 〇	財務	〇人事
事務	事弟	<b></b> 【名		モノづ 業	うくり·	クラス	スター形	成促進事	部記	果名 産	業経済部経 f山				石崎 457
		を構成す。 事業コ <del>ー</del>				01-0	8-01	モノづ	くりクラ	スター肝	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	<u></u>			
車級国	丰当	*の種類	○ 新	担車業		○ 2台	F 使 C	元年度	)	○ 積	 ■設事業		それ以外	えの絆	<b>结車業</b>
開始							和 18		根拠	U XE	议学术		(1000)	トロン神座	<b>似</b>
終期				〇無	1 /2	<u> </u>	令和3		法令等						
実施				令基準	内	〇 都:		●区独		計画	区分	● <b>計</b>	-画	〇非	計画
			分里				革新都市							0 71	
		:評価 :体系	政領	<b>〔</b>				経済づく	( 1)						
手	*未		施領					創出の3							
目的	5		区版	産業ク	ラスタ	<b>—</b> J	の形成る	をとおし	て、「新	事業や	の顔の見え ベンチャ <del>ー</del> ( とする。				
対象:	者	区内モ 	:ノづ	くりに	関わる	うすべ	ての事	業者							
内容		た 推 1 2 3 4 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	区。	産業ク の策定 る る マ 研 ン サンナ・	ラ とト会一の	· 一」 「化構 性が を を を で が が で が で が で が で が に で が に で り に り に り に り に り に り に り に り に り に	の形成を想という。 想 よる先行		MACC (Mo		の顔の見え ri Arakawa				
経過	<u> </u>	平成18年平成19年平成20年平成20年平成22年平成23年平成23年中 中域29年	5月 54月 54月 54月 54月 54月 52月	MACC= MACC= MACC= 事業相 異業利 MACC= MACC	1ーーは進交ーロー・デデー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デー・デ	イイイ法活イェネネネを動ネク	- タの14 - タの14 - タの14 美援タの14 まりまり - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10	名配置 名名 日本	置(2名体 置(3名体 • MACC: 置(4名体 流会実施	制) 制) コ <b>ー</b> ディ 制)	u域への位置 ネータによ ワーク」構	る直営	こ変更、∶	効率化	を図る。
必要怕	生	ラスター	-J ത	形成を	とおし	て、	意欲のる	ある企業	への積極	的な支持	援が必要で	ある。			
C+- 14		( <mark>2一部</mark>	委託		)	(	直営の	場合 C	常勤	○ 非常	勤 〇 臨時	職員)			
実施   方法															
刀法	Ż.														
		事務事業	の成点	果とする	る指標	名			指標の推				指標に関	lするii	∌8月
指		T 100 T A		, к.С. у .	W 10 1%	П	29年度	30年度	元年度	2年度 見込み	目標値 (8年度)				
	1	新製品・	新技術	の開発	件数		2	2	1	5	10	MACCプロ 件数	リジェクト	参加企	業の開発等
標	2														
	3														
			事業σ	)分類						- 11群人	いての説明	●音目	<b>等</b>		
	2	年度		34	丰度				•						
重	点印	的に推進		重点的	りに推っ	 進	公金の	領の見え	るネット	ワーク	モノづくり 」構築を軸 要であり、	とした	「荒川区版	反産業 <sup>・</sup>	

										(単化	NOZ 立:千円)
予算	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>		26年度	₹ ;	27年度	28年度	夏 29年	年度	30年度	元年度	2年度
予算	額		22, 25		22, 567	24, 44		, 798	22, 643	23, 062	26, 029
決算	額(2年度は見込み)		21, 50	)2	21, 160	22, 51	6 21,	, 244	20, 985	21, 637	26, 029
実	事項名(2年度は見込	み)	26年度	Ŧ ,	27年度	28年度	<b>夏</b> 29年	年度	30年度	元年度	2年度
績	MACCプロジェクト参加企業	業数		95	94	1	00	104	104	104	104
の											
推											
移											
予算	• 決算の内訳										
	平成30年度(決算)			令和	元年度_					年度 (予算)	
節		金額(千円)	節		主な事		金額(千円)	節		Eな事項	金額(千円)
報酬	MACCコーテ、ィネータ報酬		報酬		コーテ゛ィネータ			報酬		ディネータ報酬	19, 222
共済					コーテ゛ィネータ	共済費				ディネータ共済፮	
	費 講師謝礼等		報償費						講師謝礼		484
旅費	職員旅費		旅費	職員		1生11 土		旅費	職員旅		2, 256
需用			需用費		品、印刷			需用費		、印刷製本	389
	費 郵送料 ● 手数料等				料・手数					· 手数料等	231
安託	料 れ゚ンフレット作成委託	49	安武科	ハラハ	レット作成績	女武	514	女式科	<u>*  ハーノノレット</u>	ト作成委託他 (単ん	
	勘定科目	30年度	F	 丰度	差額		勘定科目	1	30年度	( <u>甲</u> 1   元年度	立:千円) 差額
	■	22.6		<u>干及</u> 1, 551			<del>圆疋科□</del> 方税		0年度		左領 ()
	物件費	1, 0		1, 331 1, 705		12 団	刀 祝 庫支出金	È	0	-	0
行	維持補修費	1, 0	0	0		0 行 都	支出金		0		0
政	行扶助費		0	0			<del>スロ业</del> 担金及び負	負担金	0		0
	政補助費等	1	61	173			用料及び		0		0
ス	費減価償却費		0	0			の他		0		0
ト計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0		0 行	政収入合	計(a)	0	0	0
算	賞与 退職給与引当金繰入額	7	748	107	▲ 6	<b>41</b> 行政収:		(b) = (c)	<b>▲</b> 24, 628	<b>▲</b> 23, 536	1, 092
書	その他行政費用		0	0		0 金融	収支差額	į (d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	24, 6	528 2	3, 536	<b>▲</b> 1, 0	92 通常収3		(d) = (e)	<b>▲</b> 24, 628	<b>▲</b> 23, 536	1, 092
	特別費用(g)		0	0		0 特別」			0	-	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0						<b>▲</b> 23, 536	1, 092
備	主な支出は、MACCコー									<b>寿の内訳は、</b>	MACC通信
考	原稿執筆料、フォーラム語	薄帥 及ひ	ハネリス	・ト登)	<b>豊料、セ</b>	ミナー語	師詡礼	となる	0		
BB	これまで構築してきた	「顔の見	えるネッ	· トワ-	-クェの	幅を更に	- 広げ :	連携協	定を締結Ⅰ	ている各様	整型 大学
問	等ともより密接に情報交換	象を行う	。また、	<b>今ま</b>	で以上に	積極的に	- 区外企:	業等と	の連携機会	うて もつ 1 会を構築する	ることで.
題点	企業の新たな収益に繋が										
課											
題											
問題	<u> </u>										
III) KZS.											
	令和元年度に取り				和元年度					度以降に取り	
	具体的な改善内				善内容は					的な改善内	
	2年度を見据えたプロジェ				据えたプ					えたプロジ	
1	向性を検討し、コーディ		専  性を	検討し	た結果、	,コーデ	ィネータ	』 方向		しを図り、	
	門的知見をいかした伴走	型支援を			見をいた	かした伴	走型支援			別知見をい	
	<b>ీ</b>			進でき						でに推進する	•
	各種事業、補助金等の情報				補助金					髯収集や新	
	製品開発・人材育成・経				人材育原			£   発	- 人材育成	た 経営改善	産学連
2	学連携・販路拡大等を柱に	こ企業支			路拡大等		企業支援			事業承継	等を柱に
	を促進する。		促進	に弾み	ょをつけた	<u>د.</u>		企業	業支援を促	<u>:</u> 進する。	
3											
3											
<b>##</b>	(実施 6	区	未実	施	16	区	不明	月	0	区)	
施状の	実施区:墨田•葛飾•足]	-									
137	人心已·坐山 句叫 化。	_ 口术	μщΉ	~							
沿の											
況実											
況実		的配置 €	)強化に・	ついて							
況実 況議		.的配置 <i>0</i>	強化に	ついて	<del>-</del>						
況 混合		的配置σ	)強化に	ついて	<del>-</del>						
況 況 (要)議会質		.的配置 <i>0</i>	強化に	ついて	-						
況   況   況   3   3   3		的配置の	強化に	ついて	<del>.</del>						

-t- 7/2 :	<del>+ 4</del>	<u> </u>		100 00 (	\r			<u>ω</u> ν.	n47 >	▲ 1力 ほし	<u> </u>	7kt 0	미보고	NOI
事務:	争身	<u> 美コード</u>		06-02-0	Jb					✓ 協働			財務	〇 人事
事務	事第	<b></b>		産学連	携推進事	業				業経済部経	呂文援課			崎
							<del></del>		者名 釺	不		内線	4:	57
事務事	業	を構成する	る小事	業名	01-	-08-02	産字連!	隽推進事	<b></b>					
		事業コー												
± 7/1	<del>- 1</del>	とってエリエ	0 tr	10 <del></del> 114	(0.0	o		,				L	1 - Abb A-	
		美の種類			( 0 2		元年度		<u>〇</u> 组	設事業		それ以外	外の継続	<del>事</del> 業
開始:					☑成	令和 18	年度	根拠	産学	連携研究開		業補助・	金交付要	細化
終期				無			年度	法令等	/王 ]	X=175 401 70171		· 木 Im 4).	<b>"</b>	ANN IC
実施:	基準	<u></u>	〇法	令基準内	<b>り 〇</b> 1	<b>邻基準内</b>	●区独	自基準	計画	区分	●計	画	O 非計i	画
4	- π <i>h</i> -	:評価	分里	<b>ም</b> Ⅱ	I 産業	羊革新都市	Ī							
		体系	政領	包 0	5 活力	」ある地域	経済づく	( 4)						
=	*未	14年代	施領	<b>€</b> 0:	2 創業	・新事業	創出のす	え援						
		大学等			表託!	こ必要な網	译費の <b>一</b>	部を補助	するこ	とにより、産	学連携(	こよる新	製品、新	技術開
目白	þ	発を促進 進を図る	<b>はする</b> 。	。また、						内中小製造				
対象 等				者ほか										
内容	ZA.	(2)地域川 れる試試 (3)試試 (4)企連携 (5)地域	中産区で研研課協会の介護は、	<ul><li>業性域連話を表別</li><li>大研業協力</li><li>大研業協用利援の</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li>機関</li><li></li><li>機関</li><li>機関</li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li< th=""><th>学究の定支用事教型や補活締事た 機題 でいき 機題</th><th>記機関等と 注業 にまた教育 にまか教育 ででいる。 ででいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</th><th>域課題の 機関及び 費用の一 術指導や 業</th><th>)解決に 研究機関 一部を補助 ・学術相記</th><th>繋がるも に対し 助 炎等に要</th><th>行う費用の ので、成果 、研究に要 でする費用を でしている。</th><th>見が区民ヤ する費用 支援</th><th><sup>5</sup>区内中 を補助</th><th></th><th>還元さ</th></li<></ul>	学究の定支用事教型や補活締事た 機題 でいき 機題	記機関等と 注業 にまた教育 にまか教育 ででいる。 ででいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	域課題の 機関及び 費用の一 術指導や 業	)解決に 研究機関 一部を補助 ・学術相記	繋がるも に対し 助 炎等に要	行う費用の ので、成果 、研究に要 でする費用を でしている。	見が区民ヤ する費用 支援	<sup>5</sup> 区内中 を補助		還元さ
経道	때	平成18年平成20年平成20年平成21年平成22年平成22年平成24年平成26年平成28年	王 連 地 試 各 地 連 企 連 地	ノ携域験事域携業携域づ協課研業産協課協金く定題究内業定題定融い。	りおいる。 はないないは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、はいまでは、いいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	立を支持が変素である。 を受けるできた。 をできた。 をできたい。 をできたいい。 をできたい。 をできたい。 をできたい。 をできたいいいいい。 をできたい。 をできたいいいいい。 をできたいいいいいい。 をできたいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	業が開き 住気 (電決) (電力) (電力) (電力) (電力) (電力) (電力) (電力) (電力	門(施 に夏定、業学現 係都も洋始 るいまま ほうきん ほうきん きんしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう はいいい はいいい はいいいん はいいいん はいいいん はいいいん はいいん にいいん はいいん は	び山形 或産業活 査委託 大学法 援対及び	選事業)開始 大学工学部 大学工学部 大学工学部 実施 企業 (表人)) に追加) 東京都立産 は、大学研	) 前助事業) 課題相談 業技術研	支援事業 究センタ	<b>z</b> —)	集を強
必要′	生	化し、大る新製品	学等 開発	が有する	専門知	識の活用が めには、	が重要で 全学連携	ある。ま 研究開発	た、資補助は	金力に乏し 不可欠であ	い区内中 る。			
中#	<u>_</u>	( <mark>2一部</mark>	委託	)		(直営の	場合 〇	常勤	〇 非常	勤 〇 臨時	職員 )			
実施														
/3 /2	`													
指		事務事業	の成績	果とする	指標名	20左座	20左座	指標の推	養 2年度	┃目標値	-	指標に関	する説明	Ą
,,,	_				Stef		30年度	元年度	見込み	(8年度)				
	(1)	産学連携	研究開	発補助件	数	3	2	2	2	5				
標	2	企業課題 (企業課		援事業利 支援補助		1	0	0	1	2	支援利用	l社数(≠	利用回数	)
	3	試験研究	機関活	用支援補	助件数	5	7	10	6	10	利用回数			
		事務	事業の	O分類						ハナの器皿		<u>———</u> <del>=</del>		
	2	年度		3年	度			2	が親して	いての説明	」 ■ 思兄ョ	Ŧ		
重		的に推進		重点的		する専	門知識を	活用した	産学共	トワ <b>ー</b> ク」 同による新 に推進する	製品・新			

No2
-----

							(里1	<u> </u>
予:	算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予:	算額	10, 220	10, 620	18, 209	16, 466	16, 477	16, 573	16, 527
決	算額(2年度は見込み)	4, 397	4, 319	12, 750	13, 875	10, 854	11, 998	16, 527
身	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
絹		1	1	3	3	2	2	2
0.	企業課題相談支援事業利用社数	0	2	2	1	0	0	1
推		10	8	2	5	7	10	6
科	地域産業活性化補助申請件数	8	5	4	7	3	5	5

予算・決算の内訳

	平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
委託料	地域金融機関連携型課題解決支援事業等	7, 745	需用費	認定式消耗品	10	報償費	パートナー報告会講師謝礼	139
負担金補助等	産学連携研究開発補助金等	2, 943	役務費	研修室Wi-Fi通信料	198	需用費	認定式消耗品	21
			委託料	地域金融機関連携型課題解決支援事業等	7, 850	役務費	研修室Wi-Fi通信料	197
			使用料等	認定式会場使用料	19	委託料	地域金融機関連携型課題解決支援事業等	8, 235
			負担金補助等	産学連携研究開発補助金等	3, 921	使用料等	認定式会場使用料	35
						負担金補助等	産学連携研究開発補助金等	7, 900

(単位:千円)

	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	給与関係費	5, 791	4, 033	<b>▲</b> 1, 758	地方税	0	0	0
,_	物件費	7, 911	8, 077	166	∠ 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	和支出金 政	3, 603	3, 934	331
政	行 扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
	政補助費等	2, 943	3, 921	978	ス 使用料及び手数料 λ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	0	0	0
î	費減価償却費	0	0	0	へその他	0	0	0
計	用 不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 603	3, 934	331
質	賞与•退職給与引当金繰入額	1, 496	240	<b>1</b> , 256	行政収支差額(a)-(b)=(c)	<b>1</b> 4, 538	<b>▲</b> 12, 337	2, 201
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	18, 141	16, 271	<b>▲</b> 1,870	通常収支差額(c)+(d)=(e)	<b>1</b> 4, 538	<b>1</b> 2, 337	2, 201
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	<b>1</b> 4, 538	<b>▲</b> 12, 337	2, 201

地域金融機関連携型課題解決支援事業の業務委託費と、区内企業の産学連携を支援するための補助費等が主 な経費である。元年度の補助費の増は、産学連携研究開発補助金や地域産業活性化研究補助金の実績増によ 考

る。行政収入は、都からの補助金である。 (1) 産学連携等による新製品・新技術開発への取り組みが広まる中、更なる産学連携の推進を図るため、区内 いたてたいすによる利表品・利なMIFI用充への取り組みか広まる中、更なる産学連携の推進を図るため、区内企業の意向・実態等及び大学の知見等を十分に把握し、効果的なマッチングを行っていく必要がある。 (2) 区内企業が求めるシーズ(大学等が持つ技術、アイデア、ノウハウ等)に応えられるよう、その拡充を図る必要がある。

問 点

### 問題占 課題の改善等

问起	点・課題の改善束	
	令和元年度に取り組む 具体的な改善内容	令和元年度に実施した
1	大学や研究機関等との連携により、 産学連携の有用性を区内企業へのPR を行う。	連携協定を締結している大学等と連 引き続き、大学や研究機関との連携して、産学連携をテーマとした中 携し、産学連携の有用性を区内企 水企業者向けのフォーラムを開催 し、産学連携の効用を周知した。
2	山形大学と更に連携を深め、講座内容等の充実を図る。	受講生が理解しやすい内容となるよ う、山形大学と綿密な連携を取り、 講座を実施した。 講座を実施した。 講座を実施した。 関等を見極める力を付ける講座を 実施していく。
3		
梅他	(実施 13 区	未実施 9 区 不明 0 区)

況議 平成20年1定 「MACCプロジェクト」を中心とした区内企業の産学連携による新製品・新技術開発の取り組 みと今後の展望について

〜 会 要旨 状

事務	事章	業コード		06-02-0	06				戦	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	√ 協働	〇業	· 務 ○	財務 〇人事		
						出プロ	コジェク	ト推進事	-		業経済部経済			石崎		
事務	争多	耒名		業						者名 新			内線	457		
市政市	- <del>**</del>	を構成す	て小車さ	<b>学</b> 夕		01-0	8-03	地域産	業創出プ	ロジェク	/ ト推進事業	Ě				
		を構成り <sup>、</sup> [事業コ <del>ー</del>														
						- 01										
		業の種類						度 ○ 元年度 ) ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業								
開始				<b>旬 ●</b> 平	′灰	O 分	和 25									
終期			〇有			O +vn	+ :-	年度   法令等								
実施	垦 Z	<b>毕</b>		令基準四					日基準	計画	<b>区分</b>	〇計	曲	● 非計画		
行	政	な評価	分野 政策	_			革新都市		<b>'</b> LI							
事	業	体系	施策				ある地域経済づくり ・新事業創出の支援									
		新ビミ		-			<mark>(・新事業創出の支援</mark> 業の活性化を図るため、近隣自治体等とのネットワーク構築や新ビジネスの									
		発掘・支						ט פ ובו יט	/_ 0/ 1/2	.194 🗀 /⊔ 1	₩ 47 C 02-1-	<i>,</i> ,	ノー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一利にフィバの		
目的	þ	/ / /	- 122 C 12	R IEH JI	- JE X	_ / 0	. 0									
114	+/	区内中小企業・関係支援機関等														
	<u>家</u> 名   · · · · · · · · · · · · · · · · · ·															
₹	<del>等</del>															
	1 区と大学による会議体組織(産学連携ネットワーク)の運営 近隣7区(足立区・葛飾区・板橋区・台東区・墨田区・北区・豊島区)とともにネットワークを形成し、各区															
							沽用をは	図るとと	もに、支	.援ノウ/	ハウの共有を	などによ	り、産与	単連携の効果		
		的 効率					テフトの	四雄(「	始 旦 •	<b>空には 3行</b> 寸	大賞」と隔4	年で态石	一門供)			
   内容	,													~を公募し優秀		
IM名 	ì										と所に関する と者を発掘・		<i></i>	でム分し反方		
													スプラン	ノコンテストを		
														_		
行う。コンテスト受賞者は、事務所等賃料補助の対象とし、受賞者の区内創業を促す。 																
			屋	全学連携	・ 통ネ、	ットワ	一ク関連	重会議等	の開催(語	計4回)						
	荒川区ビジネスプランコンテストの開催 平成26・27年度 産学連携ネットワーク関連会議等の開催(H26計10回)(H27計6回)															
											†10回)(H27	7計6回)				
	_	平成27年							こっくか		4色)の中位	- ** ** '	±#+ →			
経過	<u> </u>	平成28年									対象) の実施 雪機大学・			トワーク 大学等) 開催		
		平成29年	三度 答	5 俄又加 第3回芸	ᄪᅑ	ビジン	ヘチ・ロ ネス プラ	かんチーンコンテ	・ストの	于「未示 開催	电极八十	エロハー	一匹蚁	八十五月用底		
		平成30年									2ミナーを	開催				
		令和元年						トを開催								
			E	ごジネス	スプラ	ランコ	ンテス	卜受賞者	を対象に	賃料補助	助金を創設					
		区内事業	*者数#	が減少化	面向し	こある	なか. [	国が掲げ	る開業率	の F 昇 (	こ向けて、方	意欲的な	個人や事	業者の発掘・		
  必要	4													用待でき、必要		
20.52.1	_	性が高し		,							- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			.,,		
		(2一部	<b>季</b> 詳	)		(	古骨の	₽△ ○	告制	○ 非告	勤 〇 臨時	融昌 /				
実が	<u>t</u>								・ ・ ・ 委託に			似只 /				
方法		一 ボルビ	ムレンイ	トヘノ、	, , , .	コン)	V LIC	J い C は	、安武に	・く天心。						
ļ.,																
									指標の推	<b></b>						
		事務事業	の成果	とする	指標	票名		1			I □ 1= /+		指標に関	する説明		
指							29年度	30年度	元年度	2年度	目標値					
										見込み	(8年度)					
	1	ネットワ	一ク参加	加機関数	Į.		8	8	8	8	8					
標	2	ビジネス	プラン:	コンテス	、卜応	。募数	43		42		50	※隔年事	業			
	6															
	3	)														
		事務	事業の	分類						八米エニー	いての====	· · · · · ·	#			
	2	2年度		3年	度		分類についての説明・意見等									
							産業の	の創成と	活性化σ	ために	は、ビジネ	スプラン	コンテス	ストの実施や近		
<del>*   *   *   *   *   *     *            </del>					産業の創成と活性化のためには、ビジネスプランコンテストの実施や近 隣区とのネットワークを構築し、支援環境を整備することが極めて重要で											
重点的に推進 重点的に推進					進			推進する								

										(単位	NOZ ∶: 千円)
	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>		26年度		27年度	28年月			30年度	元年度	2年度
予算			26	_	4, 123	85		, 188	3, 070	4, 368	5, 535
-	額(2年度は見込み)	- \	00 = =	0	3, 840	36		, 856	2, 781	3, 098	5, 535
実	事項名(2年度は見込ん		26年度	ž i	27年度	28年度	支 292		30年度	元年度	2年度
績	ビジネスコンテスト応募者			_	34		_	43	-	42	- 40
の ##	コンテストに向けた創業支援	对家有致							30	18	40
推移											
	<u> </u>										
」/ 异	<u>-                                    </u>		1	<b>今</b> 和	元年度	(決質)			会和2年	F度(予算)	
節		金額(千円)	節	13.41	主な事		金額(千円)	節		r及(ナチ/ な事項	金額(千円)
報償		40	報償費	コン	<u>エンナ</u> テスト賞		750	需用費			20
委託		2, 742	委託料		テスト実		2, 298	委託料	アントレプし	- ンナーセミナー委託	3, 015
			補助及び交付金	コンテ	スト副賞∂	)賃料補助	50	補助及び交付金	コンテスト	ト副賞の賃料補助	助 2,500
										(3)(1)	
	바스되다	<u> </u>	=   - 4	上庄	士 #F		世合むこ		20左호		:千円)
	勘定科目	30年度		丰度 4 022	差額		勘定科目 :方税	1	30年度	元年度 0	差額
	給与関係費 物件費	5, 7 2, 7		4, 033 2, 298	<b>▲</b> 1, 7		<u>万祝</u>  庫支出会	<u> </u>	0	0	0
行	一 <u>物件質</u>   維持補修費	Ζ, Ι	0	<u>2, 296</u> 0	4	0 行 都	支出金	<u>u</u>	1, 269	1, 548	279
政	行扶助費		0	0			<u>  又山 亚</u>  担金及び:	負担金	1, 209	1, 546	0
	政補助費等		40	800	7	<u> </u>	用料及び		0	0	0
ス	費 減価償却費		0	0	,		の他	7 32.11	0	0	0
計	用 不納欠損 貸倒引当金繰入額		0	0		0 行	政収入合	計(a)	1, 269	1, 548	279
算	賞与•退職給与引当金繰入額	1, 4	96	240	<b>▲</b> 1, 2	56 行政収	支差額(a)-	(b)=(c)	▲ 8,800	<b>▲</b> 5, 823	2, 977
書	その他行政費用		0	0		0 金融	収支差額	(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)		69	7, 371	<b>▲</b> 2, 6		支差額(c)+	(d) = (e)	<b>▲</b> 8, 800	<b>▲</b> 5, 823	2, 977
	特別費用(g)		0	0			収入(f)		0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0			又支差額(€		<b>▲</b> 8, 800		2, 977
備	物件費は、セミナーやは	ニシネス	ファンコ	ンナ	スト等の	連宮委託	七費が王	な支出で	こある。た	T政収入は、	都からの
考	補助金である。										
問	(1) セミナー、コンテス	トの参加	]者を増っ	やすた	め、相談	炎会等の	事前告知	1を兼ね	たイベン	ト実施が必要	Ę
題	(2) 区内での創業促進と										
点	(3) セミナー出席者、コ	ンテスト	・応募者へ	への継	続的な創	削業に係	る情報提	提供やフ	ォローア	ップの実施	
•											
課											
題											
問題	点▪課題の改善策										
	令和元年度に取り	細す:		<b>介</b>	和元年度	に実施し	. <i>t</i> -		<b>会和2年</b> 周	度以降に取り	組まい
	具体的な改善内容				善内容は					的な改善内容	
	協定を締結する機関との過		田 他白					を協定		る機関との	
	し、ネットワークに参加す				-11-7-11-1	, , , ,	シンジル			業者への効果	
1	体を再構築する	, with		-				援を			
	-										
	 ビジネスプランコンテス	トの開催	ドジ	ネスニ	プランコ:	ンテスト	受賞者を		創業につ	ながるよう、	アント
	その後のアフターフォロー				神補助金					ミナーやビ	
2	区内創業、産業の活性化	こつなが			爰を行った			ラン		ト受賞者への	のアフ
	仕組みを構築							ター	フォロー	を実施	
								$\neg$			
3											
1. 他	(実施 10	区	未実	施	12	区	不見	月	0	区)	
施状の	ビジネスプランコンテス	_							-		ш
状の実		- 大池	户. 人口	100	· 1 Æ 1	/T/T/	11 中野	46 - 空	·ш /С	ヘボ・ナル	щ
ボ実											
況議											
流 ( 会											
要質											
要旨											
一大											

事務	事:	業コード		06-02	-07						○協働			財務	〇人事
事務	事:	業名		起業家	マ支援		•		担当	者名 新	業経済部経 <mark>"</mark> 山	営支援課	課長名 内線		石﨑 457
		業を構成す 軍事業コー				01-0	9-01	起業家	支援育成	事業					
事務:	事:	業の種類	〇 新	規事業	į (	〇 2年	E度 〇								続事業
開始	年	度		和				3 9 年度 根拠 芒川区東 <u>黎</u> 所等賃料支援東業補助全交付票							
終期				〇 無			令和3		法令等	וויו	<del>本一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一</del>			<b>刃亚又</b>	门安啊
実施	基:	準		令基準				●区独	自基準	計画	区分	● 計	·画	〇非	計画
		女評価 と体系	分里 政策	· f	05	活力を		経済づく							
	• 7		施領					創出の支							
目的	5	力しなか									削計画を、. 推進し産業€				
	ני	とする。													
対象等	-	原則、	区内	で創業	しよう	うとす	る者								
内容	○産業競争力強化法に基づく「荒川区創業支援事業計画」を策定し、荒川区中小企業経営協会、城北信用金庫、山形大学工学部、東京商工会議所荒川支部及び日本政策金融公庫上野支店・千住支店と連携して創業支援を実施。 《主な支援メニュー》・専門相談(窓口、訪問、相談会等)※庁舎での窓口相談は週5日体制(月~金)・創業支援セミナー(基礎コース、専門分野に特化したコースを開講 ※専門家が講師を勤める)・融資利率優遇 ※城北信用金庫の創業融資(制度融資)にあっ旋した場合、利用者の金利負担なし○事務所等賃料補助事業 (2年間補助実施。補助金額上限は1年目:5万円/月、2年目:3万円/月)※創業支援計画開始後、専門相談員等と連携して補助金受給者へのフォローを充実														
経過	<u>a</u>		■度度度以力度 ■度度降強 ■ 1	女創創産、化起業業用に家	起業チャラションを選択を選択を発する。 はまたでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	おきないは、一貫が、一貫が、一貫が、一貫をは、一貫を開いる。	スプロスプロス 及置 という という という という という ままれる ままれる はいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	ニアコー 業支援セ 開講 (23 く荒川区 - 、事務i テい、26:	-スを休」 2ミナー第 3年度に係 2創業支持 所等賃料 年3月201 助金を活	止 新設、事 木止した 援事業計  補助を終 日に第1	一スの3コースの3コースの5日間である。 新のの実にできる。 一次のでは、 一次のでは、 一次のできる。 一のできる。 一ので。 一ので。 一のでを。 一のでを。 一のでを。 一のでを。 一のでを。 一のでを。 一のでを、 一のでを。 一のでを 一のでを 一のでを 一ので 一のでを 一のでを	4補助開始 開催形態で 施。(平月 をけた。)	始 を改めて↓ 成26年1月	に施っ	
必要	生										削業支援は、 要性は高い。		業の活性	É化、)	雇用及び
		( <mark>2一部</mark>	委託		)	(	直営のt	場合 ○	常勤	○ 非堂	勤 〇 臨時	職員 )			
実施方法					•						いら相談員・		派遣を受	とけ実	施。
		事務事業	の成点	単とす	る指標	<b>三夕</b>			指標の推	接移			指標に関	する』	<b>中田</b>
指		子切子木	. 07 194 2	* - 7	מוםנט	к-ш	29年度	30年度	元年度	2年度 見込み	目標値 (8年度)		16   J.   C   J.	7 0 1	70-91
	1	<mark>受講者の</mark>	開業者	数(人	)		8	2	4	5	18	*スター	トアップラ	受講者	
標	標 ② 受講者の開業率 (%)						50	17	26	25	30	*スター	トアップラ	受講者	
③ <mark>受講者数(人)</mark>							16	12	15	20	60	*スター	トアップラ	受講者	
	事務事業の分類						分類についての説明・意見等								
2年度 3年度					創業支援は、創業期にある事業者の成長にとって不可欠なものであり、										
重点的に推進 重点的に推進 重点的に推進 重点的に推進 重点的に推進 重点的に推進 重点的に推進 重点的に推進する。						て重要で									

No2	

							(甲1	<u> </u>
予:		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予:	算額	12, 566	13, 495	16, 297	16, 860	16, 771	15, 031	15, 890
決	算額(2年度は見込み)	6, 854	11, 015	11, 055	11, 644	11, 520	12, 396	15, 890
身	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
頛	受講生数(実数)	27	30	22	16	12	15	20
σ.		4	6	7	8	2	4	5
推		8	9	4	7	8	5	10
彩								

予算・決算の内訳

	平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師・審査員・相談員謝礼	3, 839	報償費	講師・審査員・相談員謝礼	3, 844	報償費	講師 審査員 相談員謝礼	4, 649
役務費	講師 審査員 相談員謝礼	1, 117	需用費	チラシ印刷	64	旅費	訪問調査旅費	24
委託料	起業家交流会チラシ作成委託	75	役務費	講師・審査員・相談員謝礼	1, 134	需用費	印刷製本費等	373
負担金補助及び交付金	事務所等賃料補助	6, 400	委託料	起業家交流会開催委託	495	役務費	講師・審査員・相談員謝礼	992
			使用料等	会場使用料	95	委託料	起業家交流会開催委託	699
			負担金補助及び交付金	事務所等賃料補助	6, 764	使用料等	会場使用料	143
						負担金補助及び交付金	事務所等賃料補助	9, 010

(単位:千円)

	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	給与関係費	5, 308	1, 793	<b>▲</b> 3, 515	地方税	0	0	0
	物件費	1, 281	1, 788	507	<sub>在</sub> 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
コス	政補助費等	10, 239	10, 608	369	λ 使用料及び手数料	0	0	0
^	費減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
計	用 不納欠損 • 貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
質	賞与•退職給与引当金繰入額	1, 372	107	<b>▲</b> 1, 265	行政収支差額(a)-(b)=(c)	<b>1</b> 8, 200	<b>1</b> 4, 296	3, 904
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	18, 200	14, 296	<b>▲</b> 3, 904	通常収支差額(c)+(d)=(e)	<b>1</b> 8, 200	<b>1</b> 4, 296	3, 904
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	<b>▲</b> 18, 200	<b>▲</b> 14, 296	3, 904

■物件費は、起業相談員やセミナー講師等への謝礼(役務費)が多くを占めている。 補助費等は、事務所等賃料補助及び起業相談員やセミナー講師等への謝礼(報償費)が多くを占める。 考

(1) 創業支援事業の利用者増を図るため、引き続き制度を積極的に推進していく 問

(2)民間主体の創業支援事業者や荒川中小企業経営協会と連携し、創業に向けた機運醸成を図る

(3) 創業者を増やすため、創業支援セミナーや創業相談窓口の利用を推進する

題

点

#### 問題点・課題の改善策

L	111/02/	W M2000日大		
I		令和元年度に取り組む 具体的な改善内容	令和元年度に実施した 改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む 具体的な改善内容
	1	創業支援事業者と連携してセミナー 参加者の増加を図り、フォローとし て荒川中小企業経営協会主催の創業 サロン等を活用していく	創業支援セミナー参加者が、創業サロンにて相談するというケースが多く、フォローに繋がった	創業についてインブットする場を セミナーで、アウトプットする場 を創業相談窓口等で支援していく
		創業支援施設の開設にむけ、支援メニューや民間事業者との新たな連携をしていく	事業者選定において、開催予定のセミナーの内容等について提案を受けた。なお、事業者は2年度4月に決定した	事業者決定以降、入居者等に向けた創業に係る有益な支援を事業者と勘案し、実行していく
		参加型ワークを取り入れるなど、引き続きプログラムの改善を図り、参加者の満足度の向上につなげる	参加者同士がコミュニケーションで きるセミナーを実施した	スタートアップコースについて は、新型コロナ感染拡大防止のた め、オンラインで実施する。
ſ	他	(実施 22 区	未実施 0 区 不明	0 区)

況議平成15年2定 荒川区を「創業しやすいまち」にして、全国から起業家、特に女性の起業家を呼び寄せて産業 |沈天天| 「八流」では、元川丘と「劇未しいりいまち」にして、全国から起業家、特に女性の起業家を呼びる会話性化を図るべき。
要質 平成20年2定 区内での創業事例を成功・失敗要因を含めて把握し、今後の支援策に生かすこと。
目間 平成24年1定 厳しい経済環境の中、起業支援の機能強化を図るべき。

平成24年3定 シニア世代の培った経験等を生かした起業・創業の支援に注力すべき。

														No1	
事務	事美	業コード		06-02-0	)8				戦略プラン ○ 協f 部課名 産業経済部				財務	○人事	
事務	事美	<b></b>		中小企業	業融資事業	業			<sub>果名</sub> 産 者名 五	業経済部経 土富	宮支援課	課長名 内線		石﨑 467	
		/. I++ 15 I		)	01-0	1-02	-02 利子補給								
		を構成す 事業コー			01-0	1-03	-03 信用保証料補助								
			·				融資事業	→ 1. m. r		/+ <del>+</del> - 114					
事務。 開始 <sup>2</sup>		業の種類 E			( <b>○</b> 2年 成		1 26 年度 担加								
終期記				〇無	· /火 <u> </u>		1 20 千度   根拠 令和3 年度   法令等   荒川区中小企業融資要綱								
実施				令基準内	○都		〇区独		計画	区分	〇計	·画	● 非計	計画	
行	硒	:評価	分里			革新都市									
		体系	政策		,,,,,,		経済づく	( 1)							
		区の融資	を あっ		1	経営革新 る区内		の事業	きに 対し	、区が利用	その一部	及7、信日	保証場	単の全額	
目的		又は一部 支援する 配置した	Wを補る。また相談	助するこ た、経営 窓口を開	とにより な、税務、 引設し、事	)、融資( 金融及	借受に伴 び創業等	<sup>≟</sup> う負担輔 ●の専門第	怪減を図 記識を持	、 □2 代1  り、事業総 :つ相談員	経営の安	定と経営	基盤の	の強化を	
対象 等	者	〇融資及	及び経	資制度 <i>の</i> 営改善、	)借受者 創業等に	□取り組む	む相談希	望者							
内容	4/1	○信用係 ・融資が ・融資が ・経営の代	の種類 発証種 制 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動	別に補助 、金融相 、事業承	力率を設け 目談(税理 ほ継等相談	ナ、融資( 里士) : : 炎(中小:	借受者に 火曜日の 企業診断	:信用保記) (午後1時 (計士) : J	証料の全 から4時 目~金曜	:利子の差を 額又は1/2 まで !日の午前9 !紙等の印刷	を補助 時30分か	いら午後	5時まで	C	
経過	(2D	〇緊急係 〇東日本 〇生活資	保証料 目談業証 保証に 会 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	資システ 係る認定 災復興緊 資	昭(市 田(一 田昭和 ミ 平原 を を と で で で で で で で で で で で で で で で で で	-部対象の 126年度 163年度 は20年10 に係る認 は23年5月 は25年4月	開外) 開外) 開外) 開入 開入 開入 開から 開から 関から 関から 関から 関から 関から 関から 関から 関かる 関が 関かる 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が 関が	類始、 <sup>3</sup> 成4年、 な4年、 ら平成2 ら実施 施	平成5年月 12年、1 3年3月3	まで補助、 度から商工 9年、25年 31日まで r和2年2月か	相談と 及び30 <sup>を</sup>	虫資相談₹ Fに新規材	を統合		
必要怕	生	区内中小 図る。	<b>\企</b> 業	の事業資	<b>登金の調道</b>	≣に係る:	負担を軽	を減する:	ことで、	事業経営の	D安定化	及び経営	基盤の	の強化を	
実施 方法			甫給】		ごとに利子	その補給		「し、金融	融機関と	勤 <mark>○</mark> 臨時 照合した後 記料補助対	é、直接				
指		事務事業	の成身	果とする	指標名	29年度	30年度	指標の推 元年度	ŧ移 2年度 見込み	目標値(8年度)		指標に関	する訳	说明	
	1	融資実行	件数			773	885	882	1, 800	900		、新型コ 大幅に増		イルス対応 E	
標	標②融資相談件数					343	189	174	200	430					
3															
			事業の			分類についての説明・意見等									
2年度 3年度					区内中小企業者が金融機関の融資を利用する際、区が利子の一部や信										
重	点的	的に推進		重点的I	こ推進	用保証	料の全額	又は一部	邯を補助	融資を利用する制度は 化を図るた	は、借受	に伴う負	担を軸	圣減し、	

/ >>/ /	_	<b>—</b> \
(単位	-	щ١
		J /

							(+1	4 .     ]/
予算	・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算	額	325, 206	304, 623	269, 104	268, 363	374, 490	372, 522	390, 898
決算	額(2年度は見込み)	201, 278	199, 984	194, 313	189, 393	234, 265	226, 287	390, 898
実	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
績	利子補給額(千円)	111, 790	113, 098	115, 274	113, 890	116, 473	125, 360	145, 664
の	信用保証料補助額(千円)	82, 557	79, 955	72, 231	68, 945	106, 700	94, 845	236, 965
推	信用保証料補助件数	754	709	749	702	809	728	1, 800
移	融資相談件数	353	414	335	343	189	174	200

予算・決算の内訳

	平成30年度(決算)			令和元年度(決算)		令和2年度(予算)				
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)		
極婦	融資相談員報酬	2, 769	報酬	融資相談員報酬	2, 771	糧酬	融資相談員報酬	2, 932		
共済費	社会保険料	231	共済費	社会保険料	143	共済費	社会保険	500		
報償費	相談及び企業診断謝礼	2, 605	報償費	相談及び企業診断謝礼	2, 546	報償費	相談及び企業診断謝礼	3, 538		
需用費	消耗品、印刷製本	87	需用費	消耗品、印刷製本	232	需要費	消耗品・印刷製本	443		
委託料	システム保守	5, 403	委託料	システム保守	393	委託料	システム保守	496		
負担金補助等	利子補給	116, 473	負担金補助等	利子補給	125, 360	負担金補助等	利子補給	145, 664		
負担金補助等	信用保証料補助	106, 700	負担金補助等	信用保証料補助	94, 845	負担金補助等	信用保証料補助	236, 965		

(単位:千円)

	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	給与関係費	39, 192	15, 461	<b>2</b> 3, 731	地方税	0	0	0
<i>z</i> –	物件費	5, 489	624	<b>4</b> , 865	<sub>年</sub> 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	和支出金 政	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金収	0	0	0
コス	政補助費等	225, 777	222, 749	<b>▲</b> 3, 028	λ 使用料及び手数料	0	0	0
^	費減価償却費	0	0	0	へその他	9, 869	7, 632	<b>▲</b> 2, 237
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9, 869	7, 632	<b>▲</b> 2, 237
	賞与・退職給与引当金繰入額	9, 353	746	<b>A</b> 8, 607	行政収支差額(a)-(b)=(c)	<b>△</b> 269, 942	<b>▲</b> 231, 948	37, 994
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	279, 811	239, 580	<b>4</b> 0, 231	通常収支差額(c)+(d)=(e)	<b>△</b> 269, 942	<b>▲</b> 231, 948	37, 994
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	35	0	<b>▲</b> 35
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	35	0	<b>▲</b> 35	当期収支差額(e)+(h)	<b>▲</b> 269, 907	<b>▲</b> 231, 948	37, 959

物件費の減少は、融資システムの更新が完了したためである。補助費の構成は、信用保証料の補助金及び 利子補給金である。行政収入は、繰上償還に伴う信用保証料補助金の返還分である。

令和元年度の融資実績は、30年度に比べ件数で4件の減少の881件、実行金額で2億8,374万円減少の50億3,619万円であった。実行件数については、昨年と比べ減少したが、あっ旋件数については、昨年を上回っ た。主な要因は、新型コロナウイルス対応融資(小規模特別資金融資)の増加である。今後も新型コロナ ウイルス対策に注視していく。

(件数:30年度 37件 元年度 124件(87件増) 金額:30年度 1億5,285万円 元年度 5億6,484万円(4億1,199万円増)

′ 状

問題	点・課題の改善策		
	令和元年度に取り組む 具体的な改善内容	令和元年度に実施した 改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む 具体的な改善内容
1		の検討を行い、環境課と連携した融	環境保全対策融資の利用について は、エコフォワード宣言を行って いただき、環境に配慮した設備導 入を推進していく。
2			
3			
他区の実	(実施 16 区 【信用保証料補助】未実施6区(文京 (「平成27年度東京都区市町村制度融	未実施 6 区 不明 京区、大田区、世田谷区、中野区、杉 独資実績表」による)	0 区) 並区、板橋区)
要質	平成24年3定 融資制度の課題につし  平成26年1定 区内企業と創業へのま  平成27年度2月会議 資金繰りへのま	いて 支援の強化について	

事務事	業:	コード		06-0	02-09				戦	略プラン	/   ○ 協働	〇 第	務〇	財務	○ 人事
事務事				中小	・企業	融資原資	<b>資預託</b>		部記		業経済部経				石崎 467
		構成すん			-	01-0	1-01	中小企	業融資原		1 /24		1 3420		
		業コ <b>ー</b>													
		り種類					₣度 〇			〇建	設事業	C	それ以外	外の継	続事業
開始年						女 🔾 🥎 🥎	和 36		根拠	荒川	区中小企業	融資要網	韶		
終期認			●有			O den	<u> </u>		法令等					- JL:	
実施基	上华		〇法				基準内		<b>日基準</b>	計画	<u> 区分</u>	O if	一曲	● 非計	计画
	政評		分里 政策	_	<u>Ⅲ</u> 05		革新都市 ある地域		, r1						
事	業体	系	施領		03		のる地域 経営革新		. <i>9</i>						
	_	由小企							すスたか	117 投。	金融機関に	対して副	資の呼7	バカk 上 I	で百咨
目的		預託し	,, E	れを	もって	て融資の	実行率を	上げる。	0						
対象都等		(内訳)	(銀行	亍) 7鉅	限行16	店舗 • 9	900万円	9、(信用	月金庫)5(	言金26店	幾関 • 49店 舗 • 8億6, 1,000万円			急円	
内容		で 預各預ペ預 日本	末、金 幹配機法フ間か   年度付各、事分関   完   ら   度〕	け金原行方の 全 翌 ] 融高線則分法年 実 年 中資	写機引を 度 施 3 小賢見以にしぬ ぞ 年 年 25   本標	<ul><li>一預託。</li><li>ででする</li><li>でする</li><li>でする</li><li>ではずる</li><li>ではずる</li><li>ではずる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li><li>できる</li></ul>	の支店等 ・残高に向 7年度以降 額融貸付	に預託し なじて按: 発普通預: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、、区外 <sup>3</sup> 分 金から決 E1,500万残	支店分に ・済用預: 「円) ・額の1/8	初の制度隔 ついては 金(無利息) のに変更 の し、最終的	区内支店 <sup>会</sup> に変更	等のうち	幹事行	
経過		(平成18 (平成29	3年度	〕預; 〕生;	託金額活資金	頁を3分€ 会融資を	の1に減客 ·実施	頁			金融機関の				と性 な
必要性	اع ا										託を継続す			300.3	
<b>+</b> +		(1直営			)	(	直営の均	易合 ●	常勤	○ 非常	勤 〇 臨時	職員)			
実施															
方法															
	_ <u>_</u>	務事業	o et i	<b>∃</b> L -	<del></del>	・抽々			指標の推	<b>推移</b>			北海(一段	1 → 2 =	400
指	7	份争未	:0.7 万义 ラ	# ⊂ 9	9	11余石	29年度	30年度	元年度	2年度 見込み	目標値 (8年度)		指標に関	19 O D	C193
(	① 融	資実行	件数				773	885	881	1800	900	)			
標	2														
	3														
		事務	事業の	0分类	頁					八米五・一一一	····································	D . 辛日·	*# <del>*</del>		
	2年	度			3年度				2	が親につ	いての説明	∄"息見	र्ग		
	継				継続	-	く環境に	は、厳し	い状況で	<b>゙</b> ある。	を受け、依 区内中小企 託を継続的	業の事業	<b>美資金調</b>		

	(里1	立:十円 <i>)</i>	
度	元年度	2年度	
000	1,000,000	1, 000, 000	
000	1,000,000	1, 000, 000	
度	元年度	2年度	
O E	EO E	70.0	

上五	「八井領サツルタ	20千皮	21千皮	20千皮	とり十万	30千皮	九十戌	2十尺
予算		1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000
決算	額(2年度は見込み)	1,000,000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1,000,000	1, 000, 000
実	事項名 (2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
績	年度内新規あっ旋額(億)	50. 6	53. 7	51. 4	46. 6	62. 5	59. 5	70. 0
の	年度内新規実行数	771	785	825	773	885	881	1800
推	年度内新規実行額(億)	40. 9	46. 8	43. 7	41. 5	53. 2	50. 3	60.0
移	年度末貸付残高 (億)	99. 9	103. 6	102. 5	97. 9	105. 5	110. 3	115. 0

┃ 26年申 | 27年申 | 20年申 | 20年申 | 20年

予算・決算の内訳

マ告 : 油管短竿の推移

	平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額(千円)
貸付金	中小企業融資原資	1, 000, 000	貸付金	中小企業融資原資	1,000,000	貸付金	中小企業融資原資	1, 000, 000

(単位:千円)

	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	給与関係費	2, 413	6, 274	3, 861	地方税	0	0	0
	物件費	0	0	0	<sub>.</sub> 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	が 都支出金 政	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
<u> </u>	政補助費等	0	0	0	ス 使用料及び手数料	0	0	0
î	費減価償却費	0	0	0	へその他	0	0	0
計	用 不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
質	賞与 退職給与引当金繰入額	624	373	<b>▲</b> 251	行政収支差額(a)-(b)=(c)	<b>▲</b> 3, 037	<b>▲</b> 6, 647	<b>▲</b> 3, 610
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	3, 037	6, 647	3, 610	通常収支差額(c)+(d)=(e)	<b>▲</b> 3, 037	<b>▲</b> 6, 647	<b>▲</b> 3, 610
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	<b>▲</b> 3, 037	<b>▲</b> 6, 647	<b>▲</b> 3, 610

主に給与関係費が行政費用の多くを占める。預託金は、その性質上、物件費等は発生しない。 ・預託金は、金融機関の貸付残高に応じて、配分を行っている(預託原資10億円)

預託制度は23区中13区が廃止しているが、平成19年10月の信用保証制度の改正による責任共有制度(信用保 問 証協会80%と金融機関20%の融資実行に係る保証割合の共有)の実施や、現在の不透明な経済状況を鑑みる 題 と、金融機関による貸出先の選別及びリスク相当分の貸出金利への転化等の懸念が考えられるため、金融機関 点

に対する融資の呼び水として、預託は継続する必要がある。 令和元年度より、預託金の取扱いを事務の効率化を図るため、預託金を口座振込にて預託し、預託金の返還 を納付書にて行うよう改めた。

#### 問題点・課題の改善策

考

		令和元年 具体的	度に取り な改善内			う和元年度に 改善内容お				年度以降に 体的な改善	
	1	預託金の預入を 託金の返還を納付 うに改めた。(『 引を改めた)	寸書にて	区還するよ		預入及び返 容易になっ		易となり	引き続き、 を行って <b>に</b>		いての検討
	2										
	3										
ſ,	施区	(実施	9	区	未実施	13	区	不明	0	区)	
1	点 区	・頚手について									

・預託について

状況実 実施:9区(千代田区・中央区・港区・新宿区・台東区・江東区・大田区・北区・葛飾区) ※27年度東京都区市町村制度融資実績表による。

要旨) 状

事務事	業コー	ド	C	06-02-1	1					ン   〇 協		<b>〇</b> 第		財務 〇人	
事務事	業名		1	企業経営	含•技術			担当	者名 木	<mark>€業経済部</mark> 彡本 · 小岬		支援課	課長名 内線	石﨑正剛 459	
	業を構成 算事業コ				01-0	05-01	企業経営	営等相談	事業						
	業の種				( ) 24	∓度 ○	元任度	1	O ₹	建設事業			<b>スカ</b> い	へ	
開始年					成 〇 令			根拠	<u>U y</u>	<u> </u>			てれ以	10松初争未	
終期設	定		有(			令和3		法令等							
実施基	<u>達</u>		) 法令 分野	基準内		基準内 革新都市		自基準	計画	区分		O if	画	● 非計画	
	政評価		政策	_		<del>単初郁川</del> ある地域		[ LJ							
争:	業体系 ————		施策	03		経営革新	の支援								
目的	などの	)経営	含相談	を行う		、区の産	<b>主業施策</b>	の紹介、						企業のITイ <sup>-</sup> ムのデータ↓	
対象者等	š Zp	7企業	等												
	1 行 (官	行 記話	目談員 所製品 窓口	開発及  • 企業	びモノづ 巡回)	。 くりのま	支援、企	業の I T	化支援	、区内の	創業	≰▫開業	等の支持		
内容	する を を う う	マ小介 の際の を業施 を を を で で で に た に た に た り で り で り で り た り し に り り に り た り り に り り り り り り り り り り り	E業者 2手続 経済部 明間: 日時:	、NP0活 を支援 3会議室 令和2年	ま人等が[ するため に開設す E6月1日;	国の持続 )、中小1 <sup>-</sup> る。( <sup>5</sup> から令和	化給付金 企業診断: 予算16,5 3年1月3	さや雇用語 士、税理 76千円) 1日まで	調整助原 計、社		の感 務士	染拡大   等の専	防止協力 評門家が常	金等を申請 注駐する窓口	
経過	令和2	7年度 1年度 4年度 年度	1+2 1+2 1+2	産係「会合型ニージャーの	配置替 <i>え</i> 小とせて せロナウ コロナウ	)維持管机 (計算) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	里及び企 に と い 事 来 タ ー 、 染 症 に 関 、 と に に し に り に り り に り り に り に り に り に り に	業のIT 在の3名付 で実ア トアッ 引する中/	本制へ。 でいた オフィ 小企業 <sup>等</sup>	「日暮里 スの終了 等相談窓口	経営に伴 設	常相談会 当 は置(当	ミ」を当記 1暮里経営 該年度限		
必要性	は、真	門失	口識を											筆に行 <b>う</b> ために : が重要である	
実施	(2-	部委	託	)	(	直営の均	場合 O	常勤	○ 非常	s勤 <mark>〇</mark> 臨	時期	( 員			
方法															
	車級車	業の	1 成 用	とする	比博夕			指標の推	養移				<b>比捶</b> /- 即	する説明	
指	サガサ	未0.	/火木	C 9 60	旧作口	29年度	30年度	元年度	2年度 見込 <i>み</i>				日かし	9 <b>©</b> 50.97	
(	① <mark>巡回企</mark>	業数				1509	1508	1395	140	0 14	100	延べ巡回	回企業数		
標	2														
	3														
		務事	業の? T		±			9	分類につ	ついての説	说明	• 意見 <sup>-</sup>	等		
***************************************	2年度 推進			3年/ 推述		の解決、		区内企業 盤の強化	(への巡 この一助	回相談や	情朝	最提供に	は、区内1	企業の経営課題 D活性化に資う	

													( )	No2
予質	• 注	 快算額等の推移		26年度	ŧ I	27年度	2	8年度	· 294	∓度	3	0年度	( <u>甲</u> )	立:千円) 2年度
予算		(分配すり)正19		12, 37		12, 298		2, 47		395		12, 161	11, 919	17, 333
		(2年度は見込み)		12, 05		11, 546		2, 03		620		11, 573	11, 565	17, 333
実		事項名(2年度は見込	み)	26年度	Ŧ	27年度	28	8年度		F度		0年度	元年度	2年度
績	巡	回企業数		1, 0	)73	1, 207		12	93	1509		1508	1395	1, 400
の														
推														
移	L_													
予算	Э	央算の内訳 - 正式20左左(決策)		1	٨٢٠	一左左	/ 2th 4	<del>525-</del> \				<b>△</b> 1π0 t	(マケ)	
節		平成30年度(決算) 主な事項	金額(千円)	節	171	l元年度 主な事:		异 <i>)</i>	金額(千円)	節			F度(予算) ∶な事項	金額(千円)
報酬		企業相談員報酬	10, 202		企業	<del>エクチ</del> 相談員報	-		10, 207				<u>で事項</u> 炎員報酬	9, 796
		社会保険料		共済費			. 11/11						炎員期末手	
旅費		企業相談員費用弁償	19	旅費		相談員費	用乡	<b>辛僧</b>		共催		社会保障		1. 399
		消耗品	9	需要費	消耗			1 120		報償			相談アドバイサ	
		施策ガイド作成委託	189			ガイド作	成氢	<b>季託</b>				企業相認	炎員費用弁何	賞 602
										需用領	費	消耗品		160
												施策ガイ	イド作成委託	迁 250
														立:千円)
	L.	勘定科目	30年度		<u> </u>	差額	10		助定科目		3	0年度	元年度	差額。
		給与関係費	11, 8		1, 852		13		方税			0	0	0
行		物件費	2	217	161		0		庫支出金	<u> </u>		0	0	0
政	<u></u>	維持補修費 扶助費		0	0				支出金 <sup>日金及び1</sup>	当中人		0	0	0
				0	0		<u>ال</u>	1V	□並及び 用料及び=			0	0	0
ス		減価償却費		0	0		0	^ —	の他	丁双个		0	0	0
	角	不納欠損。貸倒引当金繰入額		0	0		ŏ		<b></b>	計(a)		0	0	0
計算		賞与 退職給与引当金繰入額	1	25	27		98 1		支差額(a)-(		lack		<b>▲</b> 12, 040	141
土		その他行政費用		0	0		_		又支差額			0	0	0
		行政費用合計(b)	12, 1	81 1:	2, 040	▲ 1	41 i	通常収支	支差額(c)+(	(d) = (e)	lack	12, 181	<b>▲</b> 12, 040	141
		別費用(g)		0	0				<b>以入(f)</b>			0	0	0
		別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		0	当期収	支差額(e	) + (h)		12, 181	<b>▲</b> 12, 040	141
備	物′	件費の主なものは、施賃	<b>策ガイド</b> ・	作成委託	であ	る。								
考														
88		区内中小企業の現況や約	译堂者等	の意見・	要望	を産業振	胆片	事策に	反映さ.	せるた	- XD	. 企業村	日談員が巡り	可相談によ
問題		得た景況感や企業情報等												
点	か	ら経営、税務等多岐に重												
-	増.	えてきている。												
課														
題														
問題	点	・課題の改善策												
	Ι		20 + \			和二左座	1- 4	□ <del> </del>	+.			> <b>₹</b> п 0 Æ 5	 度以降に取	(1 40 + 5
		令和元年度に取り 具体的な改善内				和元年度 対善内容は					٦		<sup>良以降に取</sup> 的な改善内	
				# 57 th						± 4-11	<b>'/</b> 4			
		内事業者への巡回相談、 ほか、経営課題を抱える				皆への巡[ 圣営課題?							タベ <del>ー</del> ス確 問していな	
1	高	はか、柱呂詠題を祀んで 度専門家等に繋げる。	の事本日			まち味過ぎ			尹未117				一タベース	
	''	21112011-201		112,72	11 12	3, 13, 1 – 212.	, ,_	. 0			かる			
	$\vdash$			-						+				
2	l													
	Т									+				
3	l													
	l													
. 4h		(実施 <u>16</u>	区	未実	施	6	ı	区	不明	Я		0	区)	
施状に	洪	区、新宿区、文京区、台	•					•		-		-		香区 結甲
	/ 6	区、利伯区、 <b>又示区、</b> 1 、足立区、葛飾区、江戸		型田 (C)、	<b>江</b> 米	<b>心、</b> 日杰	<b>卢、</b>	八山	10, E	шъс		豆坸岒、	<b>北</b> 上	同区、褓局
況実	<u>ات</u>	、人工产、构即产、人)	/*I #==											
況議	Н													
	l													
〜 会														
へ 会 要質														
会質問状														

事務事	事業コード		06-0	02-12				戦	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	✓ 協働	h 〇 美	美務 ○	財務	○人事
	<del>- 本一</del> 事業名					上共済等	加入助成	部記	果名 産	業経済部経				石崎
争務	争未石		事業	ŧ					者名 大			内線		459
<b>車</b>	<b>事業を構成す</b>	る小事	業名		01-0	05-02	中小企	業倒産防	止共済等	<u> ទ加入助成</u>	事業			
	算事業コー			-										
古沙口	ちゃ のほお	±r	.+n ==	· <del>***</del>	( O 0¢	- <del>-</del> -	二左由	\	O 7#	- 二十 **		7 40 121	- A - O - O - O - O - O - O - O - O - O	/± == **
	事業の種類					F度 ○ ·和 18		<i>)</i> 【根拠		設事業 金交付要糾	四/由小众	* 世紀 本田	<u> トリ                                   </u>	に かった ひゅうしょう かんしょう かんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう
開始年終期記			O #		ע ט די	<u>和 10</u> 令和3		法令等		並 文刊 安和 中小企業 近				机人则
実施基		〇法			<b>○</b> ±7					区分				土面
大心之	至午	分		<u>华内</u>		基準内 革新都市		日至华	可凹	区刀	Oi	凹	● 非計	11 🕮 💮
	i 政評価	政策	_	05		<del>星初旬川</del> ある地域		, ri						
事	業体系	施金	_	03		める地域 経営革新		· 9						
	国が:							成するこ	上で制	<b>まへの加入</b>	を促し	区内山	\企業(	の経党其
	般の強				目的とす		111111111111111111111111111111111111111	190 7 TO C		文・・・・ハルノ、	. e IK O ,	E Paris de la constante de la	· II — X •	7作 古 坐
目的							する「中	小企業倒	産防止:	共済制度」	「小規模	莫企業共活	<b>新力度</b> 1	
	• (独)	勤労	者退	職金ま	+済機構	が運営す	する「中	小企業退	職金共	斉制度」				
114	- IZ rb i	中小企												
対象	首 一:													
等														
										こ、掛金の		加成する。		
	[助成額	[]各月	の掛	金の2	分の1(	(月額上)	艮2万円)	[助成期	]間]契約	]から6か月				
			۰۰ طلد		<b>.</b>			<u>шк</u> д. 1		۸ <u>۵</u>	ni	,		
										金の一部を		<b>5</b> 。		
		[]谷月	の掛	金の2	分のI(	月額上降	艮ノカ円)	L切及	.期間」 癸	!約から6か	· 月			
内容	ு [ய	小小学	2日 10年	<u> </u>	女生() 存 ,	1 - 女にナ_ 1	- 22 ** 昌	た hn ス l	七个学	を対象に、	出仝の-	_ 如 太 册 c	t <del>オ</del> ヱ	
	「野転線	小止未	返戦日か	立 共 ル	『削皮』 - 日の掛	〜初/に    全相当を	〜伙未貝 酒の2公 <i>0</i>	を加入し	・た正未	ど刈 <i>家に、</i> 員1人につき	おみなのこ	一部を助用	k 9 ବ	
	「助成期						質 ひノと ノ」 ひ	ノ ( 土 PJX		良 「八」こ フィ	= 4731 17			
	[29] 190,79	ע נופוו	η <b>3</b> 73	-512/3	, ,,									
	平成18:	生産	EZ.	ተልሄ	半の油砂	(広) 幸 七 17	+ .L TL 7	◇ 类 ♂ /=	·田士の「	<b>与 Lノー 次</b> 士	フナール	[ thu lo Z		± 17+ . L
	平成10	干渂				囲座で    する掛金			ונטנגנוו	句上に資す	a /= ⟨v) \	一中小刀	三来1到2	生沙正
	平成23:	午世							正に伴い	ハ、区にお	1.1でま.お	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	1 座 姻 2	5日姻
	T 130,20	十尺			ら2万円			ᅅᄝᄖᄖ	ш-т	)·, \(\Begin{array}{c} \Begin{array}{c}	10.013	1 11 11/1/17/19	X/文的 (	2.万顿
	平成25	年度					ごスセン	タ <b>ー</b> の東	京城北	動労者サー	ビスセン	ノターへの	)合併(	こ伴
経過										助成制度を				
η <u>τ</u> λε	平成27:	年度	区	内小规	見模企業	者の事業	<b>業廃止後</b>	の生活安	定や再	建を図るた			<b>€する</b> †	こめ、
			Γ	小規模	莫企業共	済制度」	に対す	る掛金助	」成制度:	を開始				
										内企業の連				
必要性										阦以降の急		₹後退へ0	)対応。	として、
	平成20:	年12月	から	平成2	2年3月 ह	までの間	、時限的	りに同様の	の助成制	度を実施	した。)			
	(1直宫	Š		)	(	直営の地	場合 ●	常勤	〇 非常	勤 〇 臨時	排職員 )			
実施	<u> </u>	-		,	`	. ш ш •••	<b>и</b> п	112,223	O 21 112	743 C PHH	1-1-9050			
方法	<u> </u>													
								指標の推	推移					
11-	事務事業	きの成:	果とっ	する指	標名				0左座	口抽法	4	指標に関	する説	胡
指						29年度	30年度	元年度	2年度   見込み	目標値				
									兄込み	(8年度)	4n 7 ±43	<b>と / ISC ch :市 :</b>	** =C *b /	20.4
	① 倒産防山	共済加	1入率	(%)		19. 2	19.8	20. 9	21.0	28.		数/区内事業 経済センサス		28年~
ŀ												数/区内事		20年~
標	② 退職金井	済加入	×率(	%)		11.8	11.7	11. 7	12.0	12.		双/ ┗ M 争: ∶経済センサス		204~
											tn λ <del>2</del> ż	数/区内事		28年~
	③ 小規模企	2業共済	和入	率(%	<b>5</b> )	34. 1	35. 6	39. 0	39.0	43.		::経済センサス		20-
	事	事業の	の分巻	<b></b>										
	2年度	) <del></del>	· / / J 大	···· 3年度	F			3	分類につ	いての説	明·意見	等		
	4十戌			リ十月		TE≢↓	井ご牛 よミコム	니다라스	・サッケッ	当甘泉ナゴ	シルナファ	1 幸 六 土 、	Z +- W	<b>#</b> # +
							再 回か 強	い区内征	まい経'	営基盤を強	ສ1L 9 ଶ =	₱耒 じめぐ	s 1=∅).	、推進す
	推進			推進		る。								
						1								

											(単(	No2 立:千円)
予算	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>		26年度	Ę	27年度	28年	F度	29호	F度	30年度	元年度	2年度
予算	額		1, 90	0	2, 800	5,	600	6,	520	6, 520	6, 520	6, 520
	額(2年度は見込み)		1, 32		2, 390		270		376	5, 125	3, 748	6, 520
実	事項名(2年度は見込		26年度		27年度	28年		29호		30年度	元年度	2年度
績	補助金利用企業数(倒産防」			16	28		20 0		22 2	18	17	30 5
の   推	補助金利用企業数(退職等 補助金利用企業数(小規模			1	3 2		67		44	62	31	65
移		<del>天六</del> /月 /					07		44	02	01	03
	<u> </u>											
, ,,	平成30年度(決算)			令和	元年度	(決算)	)			令和2年	F度(予算)	
節		金額(千円)	節		主な事	項		(千円)	節	主	:な事項	金額(千円)
負担金補助	助成金	5, 125	負担金補助等	助成	金		3,	748	負担金補助	⇒ 助成金		6, 520
							-					
							_					
							-					
							+					
											(単化	立:千円)
	勘定科目	30年度	元	丰度	差額			官科目		30年度	元年度	差額
	給与関係費	96		896	<b>A</b>		地方和			0	0	0
行	物件費		0	0			I I .	支出金	<u>:</u>	0	0	0
山政	維持補修費		0	0		T/T	都支出		z 10 A	0	0	0
	行 扶助費 政 補助費等	5, 12	0	0 3, 748		77 収	分担金 使用料			0	0	0
ス	費 減価償却費	J, 12	0	0, 740	<b>A</b> 1, 3	<del>''</del>	その化		一致入个十	0	0	0
	用 不納欠損 貸倒引当金繰入額		0	0			行政机		tt (a)	0	0	0
計算	賞与・退職給与引当金繰入額	24	-	53		96 行政				<b>▲</b> 6, 339	•	1, 642
土	その他行政費用		0	0		0 金	融収3	差額	(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	6, 33	39	4, 697	<b>▲</b> 1, 6				d)=(e)	<b>▲</b> 6, 339	<b>4</b> , 697	1, 642
	特別費用(g)		0	0			別収ノ			0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	- T. I I I	0	0			明収支			▲ 6, 339	,	1, 642
備	小規模企業共済掛金補助の 今後も一定程度の費用負担 ・			<b>、昨</b>	年度から	减少的	<b>則</b> 回。	一万、	当該	事業の認知	度も高まっ	っており、
考	7後も一定性反の負用貝1 	ロル・ト/空ぐ	:1000									
問	「中小企業倒産防止共活											
題	平成20年12月から平成22年	₹3月まで	緊急施策	策とし	て中小1	L業倒	産防⊥	L共済	掛金	<b>紧急助成事</b>	業(補助率3	/4、月額
点	上限8万円)を実施したこと											
- -m	連鎖倒産を防止する観点が 制度及び掛金助成制度を原	いり 今 刊乃 ヨ 知 し ・	ひょう ひんりょう ひょうしょう ひょうしょ しょうしょ しょうしょ しょう しょう しょう しょう しょう しょう	的じまの	のり、fi ス心亜が	されて	5 中 小	(茂(博=	寺の関	徐俄関とは	B 捞 し、 1到 2	E协业共済
課題		n M C、 M	八灰地	- C 12	OK)	∞ດາດ∘						
問題	点・課題の改善策											
	令和元年度に取り	<u>組む</u>		令:	和元年度	に実施	色した			令和2年度	と以降に取り	り組む
	具体的な改善内				善内容						的な改善内	
	(独)中小企業基盤整備	機構や加力	金融	機関、	青色申台	告会か	らの	紹介を	引	き続き窓口	となる機関	との連携
	手続きを行う金融機関、	<b>青色申告</b> 会	受け				"		を	強化すると	ともに、様	々なチャ
(1)	等の協力を得て、より一月	層制度の周	1								、一層の制	度周知を
	知を図っていく。								図	っていく。		
<b>②</b>												
3												
施区	(実施 2	区	未実		20	区		不明	1	0	区)	
状区	「中小企業倒産防止共済制											
歴状の実	・大田区:月額掛金に応し											7)
	・葛飾区:従業員ごとの持	1金総額に	_3分の1	を乗	して得た	頟を台	計し	た額。	年額	50万円を降	戍伎	
況議												
へ 会 西 毎												
要質旨												
世界												
	l .											

事務事	業コード		06-02-	-13				戦	略プラ	ンし	協働	O #	業務 (	財務	O 人事
事務事			工場建	替促	進事業	<b>美</b>		部		産業経済		_	課長名		石崎 459
	業を構成す				01-0	5-03	工場建	替促進事	業						
	* * * *				O 24	<b>F 庄 〇</b>	二左庇	`	0.7	<b>中記古</b> 台	<del>  </del>		て わ い	H O W	(生古 **
事 伤 争	事業の種類 E度		和●				元年度 年度	<i>)</i> 根拠		建設事業			それ以		
終期認			〇無			<u>1日 0</u> 年度に終了		法令等	荒川	区工場	引建替	え家賃	補助金交	付要綱	1
実施基			令基準				●区独		計画	区分		Oi	<b>計画</b>	●非	計画
<i>4</i> =	政評価	分里		Ш .		革新都市									
	以 計 業 体系	政策					経済づく	( 1)							
		施多				经営革新		414 1 - 4 I I	— 7th	++ - 40	100 L 2	5.任世	- 10 1- 17	7 中任	O +0+
目的	補助する												L場に係ん DまちをI		の一部を 。
対象で等	区内で	ぎ工場	を建替	える際	計に、	民間賃貸	賞工場を	利用する	中小企	:業の製	.造業和	<b>š</b> 。			
内容	- 神 - 神 - 神	助率 助額	1/3	3 額10万	5円限		D一部を 円未満切		0 0						
経過		≅9月	制度開設 (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係)	<b>文正</b> :		書類の簡 保有して		<u>ため、</u> エ	場建替	に伴い	民間	<b>賃貸工</b> 均	易を賃借す	する区	内中小企
必要性	業の経費	負担	を軽減	するこ	とに	より、真	事業の継	続性の確	保と区	内での	定着	足進に一	一定の効果	果があ	る。
中佐	( <mark>1直営</mark>	•		)	(	直営の均	場合 ●	常勤	○ 非常	常勤 〇	臨時	職員 )			
実施方法															
73 /4															
	事務事業	の成り	里とす。	ろ指煙	夕			指標の排					指標に関	まる	
指	子切于不	. 07 1903	AC 7	O 16 18	. П	29年度	30年度	元年度	2年度 見込み		票値 =度)		16157-15	±10. €1	ו לפי טלו
	① <mark>荒川区内</mark>	の製造	業事業	者数		1711	1711	1711	171	1	1800	経済セ	ンサス(H2	8)	
標	2														
(	3														
		事業0	り分類						分類につ	ついての	の説明	■意見	等		
	2年度		34	年度			- IF -							L=	
	継続		刹	迷続		区内の	の工場定	者のため	つに必要	<b>ゃである</b>	ため、	、継続「	して実施 <sup>·</sup>	する。	

hb			00			- 1 00 -		o <del></del>		No2 立:千円)
予算 予算	▪決算額等の推移 <sup>顕</sup>		26年度 708	27年度 1,000	28年月		度 3 311	0年度 1,728	元年度 602	2年度 646
	<sup>吸</sup> 額(2年度は見込み)		0	1, 000			264	1, 728	002	646
実	事項名(2年度は見込	み)	26年度	27年度	28年月	度 29年	度 3	0年度	元年度	2年度
績	助成件数		0	1	2	2	1	2	0	
の 推										
移										
	- ・決算の内訳									
	平成30年度(決算)		수.	和元年度					F度(予算)	
節		金額(千円)	節 +*	<u>主な事</u>	項	金額 (千円)	節	主	とな事項	金額(千円
負担金補助	補助金	1, 728 <sub>負担</sub>	金補助等相	助金		0 #	担金補助等			646
						<u> </u>			(畄)	<u> </u> 立:千円)
	勘定科目	30年度	元年度	差 差額	<u> </u>	勘定科目	3	0年度	元年度	差額
	給与関係費	483				方稅		0 + 12	73   12	<b>产</b> 研
<b>%</b> =	物件費	0			0 _ 匤	庫支出金		0		
行	維持補修費	0				3支出金	10.0	0		
_	行 扶助費 政 補助費等	1, 728		<b>▲</b> 1,	O ID D	担金及び負用料及び手		0		
	費 減価償却費	1, 720				の他	双个十	0		
ト計	用 不納欠損・貸倒引当金繰入額	0				政収入合計	(a)	0	0	
算	賞与•退職給与引当金繰入額	125		0		支差額(a)-(b)		2, 336	0	2, 33
書	その他行政費用	0 000				収支差額(		0 000	0	0.00
	行政費用合計(b) 特別費用(g)	2, 336	_	0 🔺 2,		支差額(c)+(d) <b>収入(f</b> )	)=(e)	2, 336	0	2, 33
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0		0		収入(I) V支差額(e)-	+ (h)	2, 336	0	2, 33
	補助費等は、工場建替を促			-					·	2, 00
考 問題点・	工場建替補助制度の利用する製造業が増えている。 賃借工場が区内や隣接する	また、建	替期間中	の賃借工場	易は区内に	こ限定して	いない	ものの、		
課 題 問題;	点・課題の改善策									
	令和元年度に取り 具体的な改善内			令和元年原 改善内容			f		度以降に取り 的な改善内	
	企業相談員による企業支持			炎員による					よる企業支	
1	の配布の他、電話での問しは、資料送付等迅速な対応			こよる周知 せには、資 ,					「の他、工場 る事業者に	
2										
3										
施他	(実施 1	区	未実施	21	区	不明		0	区)	
施状況 他区の実										
況議										
要質 問状										

														NO I
事務	事	業コード		06-02-14	4					/ ● 協働			財務	○人事
事務	事	業名		あらかれ	o経営塾					業経済部経常	<b>営支援課</b>			<u>石崎</u>
	•					0.00	1+ > 4/4		者名 島	<u>;</u> 🖽		内線		459
		業を構成する			01-0	6-02	めらかれ	り経営塾	建呂貫					
及び予	<b>F</b> [	算事業コー	ド (2年	丰度)										
事務	事	業の種類	〇新	規事業	( 〇 2年	₣度 〇	元年度	)	〇建	設事業	•	それ以外	外の継	続事業
開始。	年	度		和・平				根拠		н				1.0
終期	设	定	● 有	(〇) 無		令和3	年度	法令等						
実施	基	準	-	令基準内			●区独	自基準	計画	区分	●計	画	〇非	計画
行	ŦŒ	改評価	分里			革新都市		, , ,						
		業体系	政策				経済づく	( )						
			施多			経営革新 わマネミ		- 北十太平	(担する)	ことにより、	白牡の	<b>奴</b> 当 理 !	西の田	井井 レ 毎辺
										ことにより、 実践を通じ <sup>-</sup>				/////////////////////////////////////
目的	勺	の革新			プロストート・コ	. 1 / L TAIR!	ቪክ ንጥቷ 🗀 ፣	口当いか		大以で辿し	C, II.	/J   1-1 -L -	- NT I	
				産業界を	担う人材	の育成と	上企業間:	連携の促	進を図	る。				
- 14年	<b>=</b>	区内巾		業の経営										
対象等			-			••••		-						
च				_										
		【経営塾			- <del>**</del>	· /=+ <del></del> 0	· · ·	<b>⊸</b> '⇔ '		± = 2% ± \				
		1 実	施回数							ず果発表) ゝ業♀回 耙 産ヽ				
		2 募	集人数		训指導(栓 土程度	呂甲制市	「一寺の	作成をエ	.眠にに	業3回程度)				
		3 会			工程及 【経済部码	<b>汧修室等</b>								
   内容	2		催等					<b>页</b> 政法人「	中小企業	基盤整備機	構			
P 3 L	7	5 名	誉塾長	· 二神	申恭一氏	(早稲田	大学名誉	教授)	※平成30	年度から名				
		6 講								診断士等	· <del></del>			
		7 7	の他	也 平月	戊27年度に	ま、Ⅰ荒	川区・中	1小機構	業務連	携10周年成	.功事例』	長」を作	成。	
			_											
		平成17年		ビジネス							_	_ 		 · -L
		平成18年								及び実践のが				
		平成25年		小企業新· 経営革新						」の承認取行 を開始	寺を日扣	9 内谷 0	- U C	美肔。
		平成27年								で開始。 流会を導入。				
経過	唱			第1回の講				·	//sc = 5 c	//Lax C 1, 2 1.0				
4.T.~	<u></u>						-							
		AUG - 6- 33								ネジメント値				
必要怕	性			と競争刀			1回時に	、企業的	連携の1	促進を図り、	、将米の	区内座	き芥を	担つ人材
実施	<del>/</del> _	( <mark>1直営</mark>		)			場合 ●			勤 〇 臨時				
<del>夫</del>										(17年6月に			を交∤	つす)の支
73,12	_	援を受け	け、ま	た、カリ	キュフム	の策正、	実施力:	法等につ	いては、	、講師陣とi	里携 して	実施。		
	Γ							七年のは	+ <b>T</b> 9					
		<b>車</b>	の成!	果とする‡	<b>烂</b>			指標の推	主 <b>抄</b>		ſ	指標に関	オスョ	** AB
指		争协学术	ر کورا کر تا	米C9つコ	旧标10	29年度	30年度	元年度	2年度		1	旧伝に大	19 W =	.元 ウコ
	L					とり十段	00十度	九十八	見込み	(8年度)				
	(1	経営革新	計画新	f規承認企業	業	1	1	1	3	3				
	Ü	) <u></u>	H1	179073 - 14-0.	~									
標	2	その他の	事業計	画策定企業	業				7	7				
757	H													
	3	3)												
		事務	事業(	の分類										
			デスト	3年月	苷			3	分類につ	いての説明	●意見等	手		
		2十尺	_	<u> </u>	支	र कार	企業の終	学某年1-	向けた	計画等の策	ウカ温じ	7 🔽	九企業	の経営其
						殴の強化	上来の柱	西半利に 産業界を	-1917 た	計画寺の泉 <i>.</i> 材の育成、.	足を通し 人脈の形	成を図る	り止未	け重要で
重	点	的に推進		重点的に	こ推進		め、重点			M 00 H 100 C	/ \/ \/ \/ \/ \/ \/ \/ \/ \/ \/ \/ \/ \/	7% C E 1	<i>y</i>	16主义(
						0,0,0,0	~ ~ ~	H 31 - 1 IL X	- / 00					

予算額	703 1, 706 506 1, 706										26年度		移	や算額等の推	算• 🧎	予算
京京顧	7031,7065061,706度2年度										17		- 17	() () () ()	<i>,</i> ,	
要 事項名 (2年度は見込み) 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 元年度	5061,706度2年度		1, 703	U3	- 1, 7	)3	- 1, /(	32	2, 5	1	1, 61				算額	
接 受講者数													込み)	(2年度は見る		-
横震   一日   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	9 10									支	26年度	み)				_
推   下京・決算の内配		9	10	7		11		10		6				講者数		
予算・決算の内部																
平成30年度 (決算)																
中成30年度 (決算)   令和2年度 (決算)   令和2年度 (予算   全職 (千円) 新   主な事項   主な事項   主な事項   計画的   主な事項   計画的   主な事項   計画的   十二年度   计可的																
簡 主な事項 無額 (本田 (平田)															算・沒	予算
報信費 講師謝礼 857 報信費 講師謝礼 13 報償費 講師謝礼 4 無用費 講師謝礼 4 1. 489 役務費 講師謝礼 472 役務費 講師謝礼 1. 489 役務費 計戶報費 1. 493 1. 318 行										令和						
需要費 講師削礼 472 役務費 講師削礼 1,489 役務費 計画設計 1,489 位 1,								よ事場		=# 6T			<b>事</b> 項			
投務費   講師謝礼	104 38							<del></del>								
勘定科目   30年度   元年度   差額   勘定科目   30年度   元年度   統与関係費   2、413   3、137   724   地方税   0   0   0   0   0   0   0   0   0	1, 564					1 /		र्ग								
勘定科目   30年度   元年度   差額   勘定科目   30年度   元年度   和   大元   大元   大元   大元   大元   大元   大元	1, 304	<u>։</u>	마바마마하기	(加良	79 1	1, 4			17] TL	마바마	(加貝	4/2 ]		마井 마나 37 TC	力貝	12.13
勘定科目   30年度   元年度   差額   勘定科目   30年度   元年度   和   大元   大元   大元   大元   大元   大元   大元																
勘定科目   30年度   元年度   差額   勘定科目   30年度   元年度   和   大元   大元   大元   大元   大元   大元   大元																
勘定科目   30年度   元年度   差額   勘定科目   30年度   元年度   和   大元   大元   大元   大元   大元   大元   大元																
勘定科目   30年度   元年度   差額   勘定科目   30年度   元年度   和   大元   大元   大元   大元   大元   大元   大元	(単位:千円)	(単				•				•						
物件費			30年度		科目	勘定		£額	身	年度	元年	30年度	4目	勘定科		
行政	0 (								_			2, 41				
では、大田豊	0 (							1, 01								<b>6</b> =
政 補助費等	0 (													維持補修費	_	
大	0 (			世金	び負	担金及					•			<b>扶助費</b>	. [17	
〒一京・選聯総与引当金線入額   0   0   0   1   1   1   1   1   1   1	•			<b>数料</b>	び手		入使	<b>▲</b> 84	4		_				.	
19		-		(-)	. ^=										`I⊞	
その他行政費用																
行政費用合計(b)				-(c) <b>1</b>					_							
特別費用(g) 0 0 0 時別収入(f) 0 0 0 日 0 日 0 日 0 日 0 日 0 日 0 日 0 日 0	,	•													f	書
特別収支差額(f)-(g)=(h) 0 0 0 当期収支差額(e)+(h) ▲ 4,369 ▲ 4,829	0 0			(0)					_		_		пі (Б)		特	
### (一個	829 🔺 460			(h) <b>/</b>									f) - (g) = (h)			
世界 では、経営課題解決のために自社の経営課題を見つめ直し経営戦略を策定することができるよう、一層魅力的なは、	たため、物件								支払	いて、	ハにつ	への支払い				/±
・参加企業が、自社の経営課題を見つめ直し経営戦略を策定することができるよう、一層魅力的なは、															豊	
題 ム等の設定、講義・演習内容を行うことが必要となる。 ・参加企業を集めるため、企業経営の革新(最終的には経営革新計画認証取得)に加え、様々な経営に ・事業計画の策定に対する関心が高まるよう、効果的な周知を図ることが重要である。 ・事業実施から参加企業も約120社を数え、経営革新計画認証取得企業も増加していることから、計 変実施や参加企業間の連携強化を促進するため、参加企業への継続的な支援が必要となる。  問題点・課題の改善策  令和元年度に取り組む 具体的な改善内容  経営革新計画取得企業を増やすとと もに、経営課題解決のために自社の 経営計画を策定し行動する企業の支援を行う。  本経営・満習の取得を目指す企業が例年より 多かった。  本経営・満習の取得を目指す企業が例年より 多かった。  本経営・満習の取得を目指す企業が例年より 多かった。  本経営・満述の取得を目指す企業が例年より 多かった。  本経営・満述の取得を増やし支援する。	=	<b>-</b>							117 1175 -					/> 1 A Alle ( S	<b>'</b>	-7-3
・参加企業を集めるため、企業経営の革新(最終的には経営革新計画認証取得)に加え、様々な経営にた事業計画の策定に対する関心が高まるよう、効果的な周知を図ることが重要である。 ・事業実施から参加企業も約120社を数え、経営革新計画認証取得企業も増加していることから、計算を実施や参加企業間の連携強化を促進するため、参加企業への継続的な支援が必要となる。  問題点・課題の改善策  令和元年度に取り組む 具体的な改善内容  経営革新計画取得企業を増やすとと 経営革新に意欲的な企業の参加を促 もに、経営課題解決のために自社の経営計画を策定し行動する企業の支援を目指す企業が例年より 援を行う。  ・参加企業を集めるため、企業経営の革新(最終的には経営革新計画認証取得)に加え、様々な経営に、対していることが重要である。  や 第1年に、 中華の政・会社に、 中華の大学の表表を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	りなカリキュラ	曽魅力的な!	つ、一層	きるよ	かて	5 <u> </u>	定す	略を第	宮戦地	し経	つめ値	宮課題を見	、目社の経り	参加企業が、 第の記字 ■	, ,	
・事業計画の策定に対する関心が高まるよう、効果的な周知を図ることが重要である。 ・事業実施から参加企業も約120社を数え、経営革新計画認証取得企業も増加していることから、計 類 な実施や参加企業間の連携強化を促進するため、参加企業への継続的な支援が必要となる。  問題点・課題の改善策  令和元年度に取り組む 具体的な改善内容  経営革新計画取得企業を増やすとと 経営革新に意欲的な企業の参加を促 もに、経営課題解決のために自社の 経営計画を策定し行動する企業の支援を行う。  の取得を目指す企業が例年より 多かった。  本記を関することが重要である。  令和2年度以降に取 具体的な改善内容  会対では、経営革新に意欲的な企業の参加を促 した結果、令和元年度は、経営革新 義を体験講座にすることに対する心理的ハードル 塾者を増やし支援する。	8骨運題に広じ	羊力な経営	tnn > ta	7/4/1-	刃言正日	計画	计二字								- ≤	,—
# ま業実施から参加企業も約120社を数え、経営革新計画認証取得企業も増加していることから、計な実施や参加企業間の連携強化を促進するため、参加企業への継続的な支援が必要となる。    問題点・課題の改善策	主当休園に心し	※べる柱台!														点
な実施や参加企業間の連携強化を促進するため、参加企業への継続的な支援が必要となる。 問題点・課題の改善策	、計画の着実	とから、計														鲤
問題点・課題の改善策															¥ -	
令和元年度に取り組む 具体的な改善内容 経営革新計画取得企業を増やすとと もに、経営課題解決のために自社の 経営計画を策定し行動する企業の支援を行う。 令和元年度に実施した 改善内容および評価 経営革新に意欲的な企業の参加を促 した結果、令和元年度は、経営革新 義を体験講座にすること に対する心理的ハードル 塾者を増やし支援する。													<i>- h-</i>	無時の北美	35 L	BB B
具体的な改善内容 改善内容および評価 具体的な改善内容 改善内容および評価 具体的な改善内容 改善内容および評価 具体的な改善内容 会															退 京	门足
経営革新計画取得企業を増やすとと もに、経営課題解決のために自社の 経営計画を策定し行動する企業の支 援を行う。 経営革新 計画の取得を目指す企業が例年より 多かった。 や和元年度と同様、第1 義を体験講座にすること に対する心理的ハードル 塾者を増やし支援する。																
1 もに、経営課題解決のために自社の といい といい といい といい といい といい といい といい といい とい	善内容	的な改善内	具体													
1 もに、経営課題解決のために自社の といい といい といい といい といい といい といい といい といい とい																
援を行う。  「はおりまするによりとは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	ことで、入塾	にすること	体験講座	義を	革新	経営	度は、	1元年	令和	結果、	した	めに自社の	題解決のたる	こ、経営課題	ŧ	<b>3</b>
					より	例年	企業が	指す				る企業の支	定し行動す		小土	
	్ ఉ	文援する。	を増やし	型者						った。	多か			を行う。	援	
																(2)
															,	(2)
		·	_			_						·				
															0	3
ta to   (実施		区)	0		不明		区	0	20	施	未実	区	2	(実施	他	提什
他 (実施 2 区 未実施 20 区 不明 0 区)    K 区												事業を実施	田区が類似	足立区、墨田	区	
														. —	の	況 0
															夫	
															義	況訓
															会	~ \$
															==	JEE
															筫	安員
															問	目目

事務等	事第	マード		06-02-	-15							●協働		〇業		財務	
事務	事業	<b></b>		日暮里	経営セ	ミナー	一事業			課名		<mark>業経済部紀</mark> 田	圣営	支援課	課長名 内線		石﨑 459
		を構成す			0	1-06-	-03	日暮里紅	経営セミ	ナー	事業						
		事業コー															
		美の種類						元年度		C	建:	設事業			それ以	外の約	迷続事業
開始		-			平成 <mark>〇</mark>	令和			根拠								
終期記				<u>〇無</u>	- O		<u> 令和3</u>		法令等			<del>-</del> //		<u> </u>	_	0 1	
実施	<b>基</b> 符	<u> </u>		令基準			·準内 新都市	●区独	日基準_	計		区分	_	● 計	. 画	O 3	計画
		:評価	分里 政策					経済づく	, rı								
事	業	体系	施領					の支援	. ,								
目的	þ		業支	援の専	門機関で	である	独立行	<b>亍政法人</b>									-会場で定 )強化を図
対象等		区内タ	トの中	小企業	等												
内容	TATE	で定期的【日暮里	りに 科 経時 会 テ 定	同開催 セ期場 マ 員	する。図 一 (令和 年4回 ホテノ 7月17 11月1 50名和	区和実プレー 3程の大学のでは、日本のでは、日	<ul><li>は場使月</li><li>にはままり</li><li>ではままり</li><li>ではまままます</li><li>ではまままままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	月料を負責)】 9月、1 9月、1 生産性向 「人材獲	担し、中 1月、1月 幕里) 他 1上」、 得・育原	中小機 月)午 5 9月18 以 以	構は 後60 日 1月2	-環として は、謝礼等 時30分~。 (水) 中山 22日 (水) 退品製造技	手の 午後 L、	他の経 後8時30 「自社 <sup>章</sup>	費を負	担する	·を、区内 )。
経過	刷	18年 23年 27年	E 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 € 度 € € € € €	ああ工荒	かわ経 かかわ学・  区・中	営塾 営塾 を開 ・小機	の 運営中 始 業務	機構サラ	≦業振興 - ライト 引年記念	講演の	等の D実		の <b>実</b>	施		強化	
必要怕	生	区内公	≧業が.	、身近	な場で	専門機	護関の 引	事業を有	効活用で	<b>ごきる</b>	ŧσ	つであり、	必:	要性は	高い。		
<b>+</b> ++	_ ]	(1直営			)	( 直	直営の均	易合 ●	常勤	〇非	常勤	動 〇 臨日	寺職	員 )			
実施   方法																	
/ / / /	•																
									指標の排	隹移							
指		事務事業	の成績	果とする	る指標名		29年度	30年度	元年度	2年		目標値(8年度)			指標に関	員する	説明
	1	セミナー	参加企	:業数(.	人)		70	135	65	5	80	14	10 年	F間受請	青者数(工	場見学	会を含む)
標	2	満足度(	%)				100	99. 1	93. 4	ļ	95	10	)O 7	アンケー	- ト結果[	満足度	:]
	3																
		事務	事業の	)分類						ハギエ・		1 0="	nD	± /	-/-		
	2	年度			丰度					ガ類に	-5	いての説	明 •	息見	守		
		推進			<b>推</b>		ことって					最をタイ⊿ 近なものと					<b>区内企業</b> ぎあるた

											(単化	No2 立:千円)
予算	- 決算額等の推移		26年度	Ŧ	27年度	2	8年度	294	丰度	30年度	元年度	2年度
予算額			50		424		50		502	404	341	410
	類(2年度は見込み)	7 \	27		203		29	_	294	295	257	410
実	事項名(2年度は見込	み)	26年度		27年度	_	8年度		F度 CC	30年度	元年度	2年度
	セミナー参加企業数		I	14	119			88	65	120	59	70
の     推	工場見学会			10	11			10	5	15	6	10
移												
	- 決算の内訳					<u> </u>						
J' <del>77</del>	平成30年度(決算)			<b>介</b> 和	]元年度	(決:	質)			佘和2年	F度 (予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	T	主な事		<del>)  </del>	金額(千円)	節		な事項	金額(千円)
需用	費 消耗品等	5	需用費	消耗	品等			4	需用費	削耗品等	÷	14
	費 セミナー用看板作成	24			ナー用看	板化	作成	24	役務費	し セミナー	用看板作用	戊 25
使用料	等 会場使用料	266	使用料等	会場	使用料			230	使用料等	等 会場使月	月料	371
											( <del>) )</del> (	 
	勘定科目	30年度	- T = 4	年度	差額			勘定科目		30年度	( <u></u> 里1 元年度	立:千円) 差額
		2, 4		午及 2. 241		_		<u>助此件日</u> 方税	_	0年度	九千尺 ()	左領 ()
	物件費		95	257				<del>万仇</del> 庫支出金	<b>&gt;</b>	0	0	0
行	維持補修費		0	0		0		<u>件へ出る</u> 支出金	_	0	0	0
政	行 扶助費		0	0		0	以 公	担金及び1	負担金	0	0	0
-	政補助費等		0	0		0		用料及び		0	0	0
	費減価償却費		0	0		0	へ そ	の他		0	0	0
計	用 不納欠損 貸倒引当金繰入額		0	0		0		政収入合		0	0	0
算	賞与 退職給与引当金繰入額	6	24	133				支差額(a)-		<b>▲</b> 3, 332	<b>▲</b> 2, 631	701
書	その他行政費用		0	0		_		<b>収支差額</b>		0	0	0
	行政費用合計(b)	3, 3	_	2, 631				支差額(c)+	(d) = (e)	<b>▲</b> 3, 332	<b>▲</b> 2, 631	701
	特別費用(g) 特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0				<b>収入(f)</b> (支差額(e	\ . /I=\	0 ▲ 3,332	<b>△</b> 2, 631	701
借	中小機構が講師費用、荒J 度第2回は依頼していた講		場使用料	を負	担してお	り、	年度	による:	大きな	金額の変重	カはないが、	
問題点。課題	・参加企業のアンケート終う、荒川区モノづくりせいなる。また、中小機構や原い今後も引き続き、中小株	ンサスや 周辺区と:	中小企業 連携して	白書	等から企 事業の周	:業=  知る	ニース を行う	、を的確 必要が	に把握 ある。	した上での	テーマ選択	
問題,	点・課題の改善策											
	令和元年度に取り	<u>組む</u>		令	和元年度	に	実施し	た		令和2年月	と以降に取り	り組む
	具体的な改善内	容		į.	女善内容 お	およ	び評値	価		具体	的な改善内	容
	魅力的なカリキュラムを柞	黄築 し、	<b>割参加</b> :	者アン	ンケート(	の結	果は	例年同村	兼 企主	業二一ズに	適した時事	的なテー
	知方法を工夫することで、	例年以.	上良好								るとともに	
	に募集を行い、受講者に	とって実	り  テー	マ選に	とが行えて	てい	いる。				行い、魅力	的なセミ
	ある講義を提供する。								ナ-	ーを構築す	<b>న</b> 。	
2												
3												
#h	(実施 0	区	未実	旃	22		区	不明	Я	0	区)	
施状況 他区の実	( ) ( ) ( )	_	71 X	,,,,			_	1.7		-		
状の												
流実												
況議												
流 (要旨) 一、要旨)												
世狀												

事務署	事 <b>;</b>	業コード		06-02-1	16					✓ 協働			財務	O 人事
事務署	事	業名		高度特別	定分野専門			担当	者名 砂		営支援課	課長名 内線		石﨑 457
事務事	業	を構成する	る小事	業名	01-0	5-04	高度特定	2分野専	門家派遣	<b>畫事業</b>				
及び予	- 算	事業コー	ド (2年	F度)										
事務	事	業の種類	〇新	規事業	( O 2 <sup>4</sup>	∓度 ○	元年度	)	〇建	設事業	С	それ以外	1の継	続事業
開始。			〇昭	和 ● 平	成 〇 令	和 22		根拠	芒田	区高度特定	<b>公野車</b> 門	1安派浩雪	= 学生	佐亜網
終期記				〇 無		令和3		法令等					# 木大	心女啊
実施	基	隼		令基準内			● 区独	自基準	計画	区分	● 計	·画	〇非	計画
行	西	ζ評価	分里 政策			革新都市	経済づく	L1						
事	業	体系	施領			のる地域 経営革新		9						
		区内中						課題のう	ち、企	業相談員・.	産学連携	推進員・	創業:	支援相談
目的	4	員等が単	独で	は対応か	「困難な、	高度で専	<b>∮門的知</b>	哉を必要	とする	果題を迅速に	こ解決す	るため、	各分野	野の専門
	ני	家を派遣	iし、	問題解決	とに取り組	lむ。そ∤	<b>いにより</b> .	. 区内産	業の更複	なる発展を	図ること	を目的と	:する。	>
			l. A	** +> **										
対象:	者	ᅵᅛᄱᄺ	小企	業者等										
等														
		1 派遣:	対応を	)野										
										<b>権、IT関</b> 詞				
				グ、エネ	ルギー管	理、許認	忍可申請、	、人事▪	労務、	ビジネス支持	援(販路	開拓/商	5業 • ⁻	サービス
		業支援)	寺											
   内容	3	2 派遣	時間											
P34=	7			体又は倉	業を予定	こしている	る個人に	つき、同	一年度に	内に10時間を	まで(荒)	区ビジ	ネスブ	゚ランコン
		テスト受	賞者	において	は受賞案	件に限り	)加算有)							
		3 利用	<b>火台</b> +F											
					での派遣先	・が特別の	マ域外の:	場合 支	摆企業7	が実費相当の	の交诵書	を負担す	-る.	
		******												组化性
		平成21年		平成ZI平 制度を記		ノくりクラ	, スター;	杉队促進	争来」「	に係る調査	安託に か	いて専門	]	<b>來</b> 派追
		平成22年			、□ 久旭 2分野専門	家派遣事	事業開始							
		平成25年	度		家の増員			名)						
		平成26年			者拡大()					に許認可申	请、地□	或活性化	を追加	l
経過	9	亚成27年			引家増員 引家減員				34名→4	13名)				
					家増員									
		平成29年	度 :	登録専門	家増員	8名(28年	F度47名-	→55名)						
		平成30年			員増員									
		平成31年			員増員	- `								
										爰が必要とフ				
必要怕	生				創業文様 かつ専門				.] <sub>2</sub> C	て「専門医」	」たる品		) 野男	門家を店
実施	<del>-</del>	( <mark>1直営</mark>		)	(	直営のサ	易合  ●	常勤	〇 非常	勤 〇 臨時	職員 )			
方法														
								指標の推	移					
11-		事務事業	の成績	果とする	指標名					口抽法		指標に関	する説	说明
指						29年度	30年度	元年度	2年度  見込み	┃ 目標値 (8年度)				
	_					212		222						
	(I)	派遣実施	持間			219	227	232	320	350				
1777	2	)												
標	٩													
	3	)												
		事務	事業の	)分類										
	2	字 2年度	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	3年	度			5	分類につ	いての説明	• 意見	等		
		- 1 /2		<u> </u>		専門領	1識を有	する専門	家の讯	速かつ継続	的な派遣	支援は	区内	産業の発
		14.4		10			要な事業				,	-~ IX IG \		//
		推進		推	進	1								

No2

											(単代	No2 江: 千円)
予算	• ½	央算額等の推移		26年度		27年度	28年		9年度	30年度	元年度	2年度
予算		/0左左仕日 <b>3</b> 3 3 3		1, 86		3, 180	3, 4		2, 530	3, 111	3, 991	3, 680
<b>天星</b>	骐	(2年度は見込み) 事項名(2年度は見込	<b>4</b> )	1,86 26年月		1, 725 27年度	1,7 28年)		<mark>2, 519</mark> 9年度	2,738 30年度	2,668 元年度	3, 680 2年度
<del>天</del>	派	造時間 造時間	(F)		62	<del>27年度</del> 150		153	·3年度 219	227	232	320
$\hat{\sigma}$												
推												
移文質	_,	央算の内訳										
17 异	- 77	<del>ス昇の内訳</del> 平成30年度(決算)			令和	元年度	(決算)			令和2年	F度(予算)	
節		主な事項	金額(千円)	節		主な事	項	金額(千月		主	な事項	金額(千円)
		専門家謝礼	2, 519	報償費		家謝礼	<i>1</i>	2, 66		費 専門家語	射礼	3, 680
役務	_	専門家謝礼 専門家紹介冊子作成委託	92 128	その他の委託料	导门系	家紹介冊子	作队安計	<u> </u>	0			
		于  1水川八川 1   F/火文比	120									
											(畄代	<u>l</u> 江:千円)
		勘定科目	30年度	元:	年度	差額		勘定科	目	30年度	元年度	差額
		給与関係費	1, 9		1, 344	<b>▲</b> 5		方税	. ^	0		0
行		物件費	2	20	0			庫支出		0	0	0
政	缍	維持補修費 扶助費		0	0		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	『支出金 ・担金及	₹ び負担金	0	0	0
	政	補助費等	2, 5	-	2, 668		UV ·		び手数料	0	0	0
ス	-	減価償却費		0	0			の他		0	0	0
計	用	不納欠損。貸倒引当金繰入額 賞与。退職給与引当金繰入額	1	0 99	0 80				合計(a) )-(b)=(c)	0 ▲ 5, 168		0 1, 076
算		その他行政費用	4	0	08			収支差額(a		0, 108	4, 092	1, 076
書		行政費用合計(b)	5, 1	•	4, 092				)+(d)=(e)	<b>▲</b> 5, 168	ů	1, 076
		別費用(g)		0	0			収入(f	•	0	0	0
		別収支差額(f)-(g)=(h)	ヒ山でも	0 z	0		0 当期	<b>収支差額</b>	į(e)+(h)	▲ 5, 168	<b>▲</b> 4, 092	1, 076
備		専門家への謝金が主なる	ZIII C'M	ଚ								
考										_		
問		専門的な支援を必要とし ニーズに応じて新たに										
題点		— ハロル C C 初 た C E	16世 し/こ	<del>寸</del> 门 3本	( NX LET )	#1]14 <sup>-</sup> 10]	未 7	L / .	/J ± f / ~ @	. മനാഴ്യം		
-												
課												
題	_											
問題	点	■課題の改善策										
		令和元年度に取り				和元年度					度以降に取り	
	-	具体的な改善内容		-t ()		(善内容は					的な改善内容	_
		営支援課で新たに販路開業振興で商業・サービス				ある販路原 ゴス業分野					:企業ニ <b>ー</b> ズ !される為、	
1		援をスタートさせる。	へ未力まれ		出来だ		E) (1) (2)	Z [] .			門家を配置	
									<	0		
		適な専門家を派遣するな									:業ニ <b>ー</b> ズの	適切な把
2		員等とともに適切に二- う。	-ズ把握:	を  ズに	適し <i>†</i> :	と専門家る	を派遣し	ている	5。  握	に努めてい	· < 。	
	1 J	<b>7</b> °										
	引	き続きホームページやは	メールマ・	が直接	問いる	わせを「	,\ <i>t- t-</i>	ニレキ	3名 引	き続き ホ	ニームページ	やメール
	ジ	ン等PRツールを活用す	するとと	もく、					そて マ	ガジン等P	R手法を活	用すると
3		セミナー等の場で積極的	りに周知:	をしいる	0						·一等の場で	積極的に
	• •	っていく							周	知を行って	いく。	
施区		,	区	未実		1	区		下明	0	区)	
14th III	-	実施区のうち・独自に専	<b>与門家派</b>	貴事業を マニー	展開	する区 1	3区(中	サッチ	宿墨	田・江東・	品川・大田	世田
況実	台田	・杉並・板橋・練馬・第・大学・大学・大学・大学・登島・台湾	る助 円線 も 北 り	时,从户 足立,自	・ハリ)   黒) •	<ul><li>都公社</li><li>未実施(</li></ul>	か美施 渋谷)	9 る界	门家派道	事業の補助	カクを打つ凶 ≀	2000年代
況議	Ë	心 八小 豆田 口2	. 40 /	<u></u>	1115/	- 1. 人/IE(	<i>//</i>					
〜 会												
要質												
旨問												
1/\												

								- wh	0		I - Id-ter				No1
事務	事業コー	ド	06-	-02-17							〇協働			財務	O 大岐
事務:	事業名		経:	営革新	等支援事	<b>事業</b>			果名 者名		経済部経'	呂又抜詸	課長名 内線		石﨑 459
	- 111, 4- 144 -15	1 1	viv		01-0	6-01	経営革業			/\ zr			17 3 110)K		400
	F業を構成 F算事業コ						12 11 11	1 1 2 2 1/2	7-714						
	21 2 214 .		·- · / / /												
	事業の種				( 〇 2年		元年度	)	0	建設	事業		それ以	外の継	続事業
開始:					贞 ○ 令			根拠	荒川荒川	川区紀	经営革新	等支援	事業補助	金交付	要綱
終期			有 〇 法令基			令和3年 基準内		法令等	=+ i	画区分	<u></u>	● 計	- 画	〇非	計画
			分野	工		革新都市	● △独	日本年	[8]	当 亿 /	/J	ū	凹	U 3F	可凹
	政評価		ひ策	05		ある地域	経済づく	IJ							
身	業体系		施策	03		圣営革新									
目由	L) [	区内企													ことによ 産業の振
対象 等	<b>百</b>   ` `	事業	者(た	だし、	新製品	開発⋯区	区内製造	業者、催	事出居	<b>美補</b> 助	カ⋯荒川 <sup>*</sup>	マイスタ	一他)		
内容	( ) 新産 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	製業ら(ド基ミス)・産認報等年一革	権証セ出と等新には受計	掃補リ助国料 開加助・↑ 開加 開加 開加 開加 開加 開加 開加 開加 開加 開加 開加 開加 開加	··[補助型 ··[補献助型 ··[補 223] ··[本] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[*] ··[*] ··[*] ··[*] ··[*] ··[*] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[**] ··[	率]2分の 率]4分の 01(BC 2分の1 回目以降 功率]2分 た場合の	1 (※3分 1 [限度報 P)、500 (※3分の 降は限度報 の1[補助 )特例	トの2)[『 額]50万 [ 001(エネ 02) [補 額を20万 ]限度額]	艮度額 円[補助 ル限 サー リント リント リント リント リント リント リント リント リント リント	]15万 力経費 -)のご 額]30 る。自	5円(※25	5万円) 00(品質で 計でででである。 14ででである。 14ででである。 15ででである。 15ででする。 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	管理)、1 朝間]29 ]) * た7	14000 (i 年間 だし、i	
経道	平成2 平成2 平成2 平成2	年年年479年年年 1度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度	見工Ⅰ経マセⅠⅠ見機	市所の革ケナ10の市要有認等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	新出権証等ィ等証証出支技展取取支ン受取取展術術補得得援グ講得得補展開助支支事調料支支助共	事援援業査、援援改同業事事に補催にに訂出に業業統助事、、:展	司要	定((助年助ののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	制制制含の	実施大学	近 長綱とす そ2回目 路開拓支	以降の限 援事業 <sub>-</sub>	へ移行	<del>,</del>	
必要位					品·新技 争力強化								は略を支持	援する	事業であ
実施方法	新		新技術		( 支援事業 決定判断		等の審	査につい			<mark>○</mark> 臨時 ff究機関		業技術	研究セ	ンター)
指	事務事	業の	成果と	する指	旨標名			指標の推	養 2年度	F I	目標値		指標に関	₫する፤	兑明
18	幸に制して	<b>.</b>	い思え	원 - 차 구	├る取り	29年度	30年度	元年度	見込む	み (	(8年度)	29年度第	2能調本		
	──組み意	欲 (%	6)			45. 1	45. 1		45.	1	50. 0	※次回に	は令和3年	度	
標	<sup>火</sup> 状況	(%)			への相談	31. 9	31. 9	31. 9	31.	9	35. 0	29年度第 ※次回に	ミ態調査 は令和3年	度	
	意欲	(%)			り組み	45. 7	45. 7	45. 7	45.	7	50. 0	29年度第 ※次回に	ミ態調査 は令和3年	 度	
		務事	業の分						分類に	つい	ての説明	■ 意見	等		
重	2年度 点的に推	進	重	3年度 点的に		ることだ		を通じて れ、区内	、区区	内企業	美の経営	基盤の強	化と経		が図られ であるた

													<b>( 24 )</b>	No2		
予算	· 爿	 快算額等の推移		26年	度	27年度	1 2	28年度	<b>E</b> 29:	年度	30	 0年度	( <u>₽</u> 1 ┃ 元年度	立:千円) 2年度		
予算	額			26, 2	32	37, 570		41, 49	6 32	, 789	3	3, 071	33, 232	33, 013		
	額	(2年度は見込み)	7. \	21, 3		29, 350		32, 05		, 861		4, 267	29, 129	33, 013		
実   績	新	事項名(2年度は見込 製品開発補助件数	<i>み)</i>	26年	<u>度</u> 8	27年度 10	-	28年度	ξ Z9:	年度 8	3(	)年度 7	元年度 8	2年度		
					10	17	_		7	17		13	20	1		
推		SO補助件数			1	3			3	2		4	1			
移		本市補助件数			69	51			53	60		69	58	(		
予算	· 注	と算の内訳 (油質)			<u> </u>	一左左	/ 2 <del>+</del>	<b>∕-</b>				<b>△</b> 4π0 <i>h</i>	- 広 (マケ)			
節	1	平成30年度(決算) 主な事項	金額(千円)	節	1	]元年度 主な事		(异 <i>)</i>	金額(千円)	節			∓度(予算) Eな事項	金額(千円		
		技術審査委託料	41		技術	審査委託			73				<u>- 後事項</u> 查委託料	440		
負担金補		補助金	24, 226	負担金補助					29, 056	負担金補助		補助金		32, 573		
											-					
														立:千円)		
	L,	勘定科目	30年度		年度	差額			勘定科目		30	0年度	元年度	差額		
		給与関係費 物件費	2, 4	41	4, 033 73		32	園	<u>方税</u> 庫支出釒	<u>&gt;</u>		0	0			
行		物件貨 維持補修費		0	13		Λ	行 郵	<u> </u>	Ľ		0	0			
政		扶助費		0	(		0		担金及び	負担金		0	0			
コス	政	補助費等	24, 2		29, 056			入 使	用料及び			0	0			
		減価償却費		0	(		0		の他	=1 ( )		0	0			
計	Ж	不納欠損。貸倒引当金繰入額 賞与。退職給与引当金繰入額	6	0 624	240	4	0		政収入合		•	27 204	0 <b>▲</b> 33, 402	<b>▲</b> 6, 09		
算書		その他行政費用	U	0	240				V左號(a) 収支差額		_	27, 304	0	<b>A</b> 0, 03		
昔		行政費用合計(b)	27, 3	304	33, 402	6, 0		通常収		<b>A</b>	27, 304	<b>▲</b> 33, 402	<b>▲</b> 6, 09			
		別費用(g)		0	(				収入(f)			0	0			
		別収支差額(f)-(g)=(h)	7 88 20 4+	0	<u> </u>							<u>27, 304</u>	▲ 33, 402	<b>▲</b> 6, 09		
備	佣」	助費等の増額は、新製品	品用発網.	明の1	午当た	り補助器	(U)	唱によ	くるもの	でめる	) <sub>0</sub>					
考																
問		経済環境や新興国を中心														
題		況下にある。その中で、 ることは、非常に重要 <sup>-</sup>		1人)兀汉(	ひ止未	<i></i> ^	. [ _ ]	メリルいし	ノ /こ作用 以	削及し	-91	o ∟ ⊂ I·	- より <b>区</b> 内1	ヒ未で又加		
点	• ;	経営環境に応じ、当該補	補助対象	を改正	しなが	ら、より	多	くのゴ	と業が参	加でき	·る。	よう、≝	当該制度の原	闘知を行		
課	Ļ١.	、制度の利用促進を図る	ることが	必要で	ある。											
題																
問題	点 •	課題の改善策														
		令和元年度に取り	組む		令	和元年度	[[:	実施し	た		令	和2年月	度以降に取	り組む		
		具体的な改善内		改善内容および評価							具体的な改善内容					
		事業者の経営革新をさ											革新をさら			
(1)			最適化を!	実 期に係る要件の緩和等を行った。							できるよう、記入要領の整理、申請要件の緩和等の検討を行ってい					
	心	する。									安竹 。	一い板札	守い快討を	1150		
	_									+	J					
2																
	L															
3																
•																
4.1		/ 中华 0	-		1 +/ <del>-</del>	0.0		-	7	 		0	<b></b>			
施状況		(実施 <mark>0</mark>	区	未実	・他	22		区	不明	Н		0	区)			
状の																
光実																
況議	平	成26年度予特 セミナ・	一研修受	講補助の	の周知	の方法に	つ	いて								
〜 会																
要質 旨問																
更向 状																
, N																

事務事	丰	ロード		06-02-1	8			戦	略プラ	ン	●協働				〇人事
事務事	丰業	<b></b>		近隣区	モノづくし			担当	者名:	大野	•	<b>営支援課</b>	課長名 内線		石﨑 459
事務事	業	を構成する	る小事	<del></del> 業名	01-0	6-04	近隣区	Eノづく	り連携	事業	ŧ				
		事業コー													
事務事	5 第	美の種類	〇 新	規事業	( 〇 2年	F度 O	元年度	)	0	建設	事業		それ以外	への継	続事業
開始年					成 〇 令			根拠							
終期認		_		〇無		令和3年		法令等				進1〜段9	る肠圧i	<b>小</b>	≦肠疋)
実施基	ţ.汽	<u>E</u>		令基準内		基準内		自基準	計画	画区:	分	〇計	画	●非	計画
行	政	:評価	分里			革新都市									
		体系	政策			ある地域									
		台車	施第			・ <mark>新事業</mark> ヌ連進に			たほか	I +-	**************************************	の創出し	- 坩紡	しお生	の地域咨
					る師の415 性化を図		ひんか	いけけに	と心が	U /_	地以压木		二 1又 149、	人们可	・の地場貝
目的	)	/////////////////////////////////////	10,-,	生未以后	111100	۱٬۵۰۰						・ヤレンジ大賞」の実施 を開始 21年度まで) ましている			
													援課 課長名 石崎 459 (459 (459 (459 (459 (459 (459 (459		
対象を	tz.	荒川区	5、台	東区、葛	飾区、足	立区の4	区内の企	業							
刈 多 1 等															
• •			7 <del></del>	7. 44= <del>44.</del> 7	7 50 +2 +2	· 446 (T) / L /r	t- +vn r		= 1	111	*** <del>*</del> • •	۸ + =n. ee			_
		ト基本構想、プロジェクト実施計画(平成17~19年度)を策定し、4区内のものづくり企業支援事業として開  始。													
			ξ: Γ <i>ι</i>	4区合同)	産業人会記	義」の開	催(8月	•2月)、	「伝	統的	工芸品チ	ャレンシ	ジ大賞」	の実施	į
			Τ.	$ASK \pi$	マームペー	・ジの開記	殳、メー.	ルマガジ	ンの酢	2信を	を実施				
内容	!	○18年度			り大賞」										
		○21年度							交流会	₹] 8	を開始(2	21年度ま	で)		
					支援プロ 〔交流会〕				マー:	た艮	月1七				
									<i>)</i> — J	Œ 1 <del>3</del>	#1 <b>%</b> D				
		○27年度:「自主交流グループ活動支援事業」を開始													
		平成16年	E6 日	4区に上	り都にブ	゚ロジェク	7 ト室提2	室 給討	委員会	≥関係	崔(5回)				
					、ヶ <sub>田バー</sub> ン Kプロジ:			木、 "スロコ	女只力	וו נדלו 🗷	医(いち)				
		平成20年4月 実施期間の3年間延長(22年度)、以降、2年間の延長を継続している													
		平成21年4月   足立区が参加し、5区連携活性化事業に拡大   全和2年4月   新たな連携の数組みを構築し、東京エムSKトレズリニューマリ													
·- ·-		令和2年4月 新たな連携の枠組みを構築し、東京TASKとしてリニューアル													
経過	1														
			≥業等	との交流	促進は、	新製品	新技術	開発に取	り組む	う新力	こな契機。	となるも	のであり	)、必	要性は高
必要性	ŧ	い。													
実施		( <mark>1直営</mark>		)	(	直営の均	易合 ●	常勤	O 非常	常勤	〇 臨時	職員 )			
方法															
/3/24	•														
								指標の推	<b>壬</b> 2						
		事務事業	の成点	果とする	指標名			コロリホッノコロ				. :	指標に関	する፤	<b>兑明</b>
指		T 100 T 10		KC	10 1/4 11	29年度	30年度	元年度	2年度		目標値			, 01	,G-21
-		/#: III ==	<del>1</del> 11 1/ \	T 4 0 16	#U = 88.3%				見込∂	4	(8年度)	4 to 4		— Г <i>э</i> э	<b>*</b> 18+
(	1	事業参加:			製品開発	93. 1	83. 3	92. 7	92.	7	90. 0	参加石がたした	ンケート  答した割	で 「思  合	、我かめつ
F	_	テルシが.	正水切	777.20	,					+		72, 01	10/20	П	
標	2														
,	3														
	૭														
			事業σ	)分類					- 1 種子	つい	ての説明	Ⅰ■音目領	É		
	2	年度		3年	度				) 灰(C	J 0 ·	C 07 DL 9	1 AES 215 7	7		
												技術開発	の端緒と	:なる	事業であ
	‡	推進		推遍	准	り重要~	であるこ	とから、	推進す	する。					
	,	EÆ		100.7	_										

											(単化	No2 立: 千円)
予算	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>		26年度	2	27年度	28:	年度	29호	F度	30年度	元年度	2年度
予算			2, 000	)	2, 000		, 000		000	2, 000	2, 000	2, 000
決算額	額(2年度は見込み)		1, 791	_	1, 884		, 921		882	1, 887	1, 616	2, 000
実	事項名(2年度は見込		26年度		27年度	28:	年度		F度	30年度	元年度	2年度
積	TASKホームページ開設・メル		実	他	実施		実施		実施	実施	実施	実施
の     推	下町のスグレもの(製品提供 TASK交流会(参加者数			- 32	83		32		15		53	42
移	TASK文派会(参加有数			06	101		81		54	61	46	42
	<u> </u>	分	- 10	, o j	101		01		<u> </u>	01	70	70
1. 34	平成30年度(決算)			令和:	元年度	決算	[)		令和2年	F度 (予算)		
節		金額(千円)	節		主な事			額(千円)	節		な事項	金額(千円)
負担金補助	ы≒ 負担金	1, 887	負担金補助等 :	負担st	金		1	, 616	負担金補助	⊭ 負担金		2, 000
			-				-					
			-				+					
											(単化	 立:千円)
	勘定科目	30年度	元年	度	差額		勘	定科目		30年度	元年度	差額
	給与関係費	2, 89	5 3	, 585		90	地方			0	0	0
<u>ء</u> ـ	物件費		0	0		0 行		支出金	<u>?</u>	0	0	0
行     政	維持補修費		0	0		UID H	,  郁又			0	0	0
_	行 扶助費	1 00	0	0	4 0	0収		金及び負		0	0	0
ス	政補助費等	1, 88	0	, 616 0	<b>A</b> 2	<del>/ </del>  入	使用権	料及び引	- 数料	0	0	0
<u> </u>	用 不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0		0		<u>吧</u> 収入合	±+ (a)	0	0	0
計	賞与 退職給与引当金繰入額	74	•	213	<b>A</b> 5	•		<b>終</b> 額(a)−(		<b>▲</b> 5, 530		116
算書	その他行政費用		0	0				支差額		0	0	0
	行政費用合計(b)	5, 53	5 5	, 414	<b>A</b> 1			藝(c)+(		<b>▲</b> 5, 530	<b>▲</b> 5, 414	116
	特別費用(g)		0	0			別収.			0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		0 当	期収支	差額(e	) + (h)	<b>▲</b> 5, 530	<b>▲</b> 5, 414	116
備	┃ 4区連携プロジェクトの	負担金が	主な経費	であ	る。							
考												
問	「TASKものづくりた											
題	な展開として「TASK3											
点	なデザイナーによる製品原											
	化する傾向があることかり 荒川区においては、企業記											
一本	「元川区においては、正来記しく。	川口の人格か	三寸り, つ;	机装口	旧刑尤に	みり.	忌めい	<i>7 0</i> 07 €0 =	尹未日	で付足し、	1月1型ロリレラ	KNIC CO.
題												
問題,	点 • 課題の改善策 I	6E -		^ -			16.,			A 7-0 /	<del></del>	L AD L
	令和元年度に取り 具体的な改善内容 である。				ロ元年度 善内容ま						度以降に取 的な改善内	
	事業者とデザイナーの。				取組内容				<u> </u>		デザイナー	
1	なマッチング方法を検討す	する。			得意分野			向を甚	b 野·	や熱意が生	かせるマッ	チングを
$\odot$			楽して	こマッ	チングる	と行っ	った。				事業者の課	選解決に
							X - X			なげる。		
	■ デザイン相談会では、 ************************************				一と事業						に担当デザ	
2	┃相談時間を十分に取れる。 ┃態を検討する。	ょつ美施制			取り組む 間をとる					のる寺、事 解決に努め	業者のデサ ス	1ノ誄趄
	思て快削りる。		及り和	口。火吋	[]B] Z C 7	υσ.	<i>)</i>   C	1-0	100,	サベルカの	<b>' ∂</b> ∘	
									+			
3												
施区	(実施 6	区	未実施	±	16	×	[	不明	]	0	区)	
- T	11100.似何色、礼色(以)	間事業者に	よる自	主運営	営に移行	)						
況実	東京TASK:台東区、荒川区	区、足立区	、葛飾	区	•							
美												

況 (要旨)

事務	事業コ <b>ー</b> ド		06-02-	19					✓ 協働				人事	
事務	事業名		荒川区		新技術大	賞		果名 <mark>産</mark> 者名 小	業経済部経 嶋	営支援課	課長名 内線	石﨑 459		
事務事	事業を構成す	る小事	業名	01	-06-06	荒川区新	所製品 ■	新技術人	賞					
及び予	5算事業コー	・ド (24	拝度)											
	事業の種類				2年度 〇			〇建	設事業	•	それ以タ	の継続事業	¥	
開始				z成 <mark>〇</mark>	令和 24		根拠	荒川	区新製品・	新技術大	當実施要	2細		
終期記			<b>○</b> 無	h 0	令和3		法令等							
実施		分野	令基準内		都基準内 K革新都市		日基华	計画	区方	〇計	囲	● 非計画		
	<b>可政評価</b>	政策		-	りある地域		. IJ							
手	¥ 本系	施領	<b>〔</b>		業 新事業									
												技術大賞」		
目的					内中小企業 繋げること			の開発す	気連の醸成・	を凶るこ	とを通じ	て、「モノ	つ	
	1 90)	当めら	ט בלאיני.	加兴、	茶いること	_ & H m	<b>८</b> १ ७							
44	业 区内	中小企	業(また	はグル	ープ)									
対象等														
		) <del>(=                                      </del>	N CT + C - C	nto .										
			)実施内 区内中		が開発した	新技術 •	新製品	(市場販	売・発表し	.て3年以	内)			
		1 表彰対象:区内中小企業が開発した新技術・新製品(市場販売・発表して3年以内)  2 参加対象:区内に本社を有する中小企業(又は中小企業グループ)												
					審査委員会									
١									・東京大学? の結果を踏ま					
内容					棚を選定し表彰状及				<b>刀和米で</b> 館	まん込女	かけづ。			
					) 賞金1	00万円								
			賞金				賞金			a				
	4 受買	4 受賞企業のフォロー:受賞企業の販路拡大に向け、受賞内容を紹介したパンフレットを作成する ほか、関係機関との連携による販路拡大支援などのサポートを行う。												
	- 504					対対 この:	建捞によ	の拠路は	仏人又抜 (4)	とのりか	_ r &1J	<b>り</b> 。		
			事業開始 第2回巻			術士堂								
	平成26年度 第2回荒川区新製品·新技術大賞 平成28年度 第3回荒川区新製品·新技術大賞													
		平成30年度 第4回荒川区新製品・新技術大賞												
	令和2年	度	第5回荒川区新製品・新技術大賞											
経過	<u> </u>													
	+ 市・	<del>茶</del> 1十	[ [ [ [ ]	李卡爾	に実生す?	z – L L.	女 ラ こ わ	心面小	サル古い					
  必要		木は、	四の四四四	E 未 派 兴	に寄与する	y	かんりれ	、必安1	エIみ同り。					
20.20.1	_													
	( <mark>2—</mark>	『委託	)		(直営の均	易合 〇	常勤	〇非常	勤 〇 臨時	職員)				
実施	<u>t</u>													
方法 	7													
							指標の推	£ £9.						
	事務事業	≝の成−	果とする	指標名		_	1日1示りが				指標に関			
指	T 122 T 2	K = 7 150.	<i>x</i> ⊂ <i>y</i> 0	10 13. 11	29年度	30年度	元年度	2年度	目標値	'		) WHO.		
	文に集川口	世後の	開発に対	to a To L	1			見込み		- 本川マエ	ノベノロ	<b>わい.サフ (</b> 亚	7 <del>⊏1</del> : 20	
	① 組み意欲		用光に刈	१५ ७ म	45.1	45. 1	45. 1	45. 1	48. 0	年度)	7 2 5	ピンリス(干	- 成29	
	2													
標														
	3													
	事利	事業(	D分類					1 1 1 to 1			_			
	2年度		3年	度			2	分類につ	いての説明	●意見等	Ė			
					本事	業は、新	製品の開	発機運	を醸成する	だけでな	く、様々	な経営革新	fを	
重	点的に推進	É	休止	皇マ	進めてし	ハくうえ	で、有効	がある。	ことから、			設計をしな		
里	がロコー仕方	=	wm.	ו טר	ら、隔分	年にて重	点的に推	E進する。	•					

											(単・	NOZ 位:千円)			
予算	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>		26年度	F :	27年度	2	8年度	F 29	年度	30年度		2年度			
予算			3, 01		- 1 1/2		3, 25			3, 358		3, 401			
	 額(2年度は見込み)		2, 58		_		2, 67		_	2, 684		3, 401			
実	事項名(2年度は見込	<b>み</b> )	26年度		27年度	2	8年度		年度	30年度		2年度			
	応募件数			19	1 2			19	- 1 /2			20			
の	70-37-11 30			-				-		•		20			
推															
移															
	<u> </u>			_								l			
) <del>) )</del>	平成30年度(決算)			<b>介和</b>	元年度	(決	質)		1	<b>介和</b> :	2年度(予算)				
節		金額(千円)	節	1- 1-	主な事		71 /	金額 (千円)	節	1-16		金額(千円)			
報償		125		実施	しない				報償費	審査委員		·) 246			
	賞賜金	2, 100								賞賜金	Ž	2, 150			
需用	費飲料賄い	2							需用費	1 印刷集	具本費等	87			
	消耗品費	4							役務費	審查委員	員謝礼(法人払し	v) 123			
	印刷製本費	56								表彰記	<b>じ</b> 看板設置	6			
役務:	費審査委員謝礼(法人払い)	62							委託米	非 パンフ	レット等作成	費 653			
委託	料 パンフレット等作成費	335							使用料及び賃付	₩ 表彰式	は 会場使用料	136			
												位:千円)			
	勘定科目	30年度	元年	F度	差額			勘定科目		30年度		差額			
	給与関係費	4, 3		0				方税			0	0			
<u>,-</u>	物件費	4	59		<b>▲</b> 4			庫支出:	金		0	0			
行	維持補修費		0				行都	支出金			0	0			
政「	行 扶助費		0			U		担金及び			度 元年度   19   19   19   19   19   19   19   1	0			
コス	政補助費等	2, 2			<b>▲</b> 2, 2	225	^	用料及び	手数料			0			
^	費減価償却費		0			0		の他			-	0			
計	用 不納欠損。貸倒引当金繰入額		0			0		政収入台			-	0			
算	賞与•退職給与引当金繰入額	1, 1	22	0	<b>▲</b> 1, 1	22	行政収:	支差額(a)-	(p) = (c)	<b>▲</b> 8, 14	19 0	8, 149			
書	その他行政費用		0					収支差額			•	0			
_	行政費用合計(b)	8, 1	49	0	<b>▲</b> 8, 1			支差額(c)+	· (d) = (e)	<b>▲</b> 8, 14	19 0	8, 149			
	特別費用(g)		0					<b>収入(f)</b>			-	0			
	特別収支差額(f)-(g)=(h) 令和元年度は実施していっ		0	0		0	当期収	(支差額(	e)+(h)	<b>▲</b> 8, 14	19 0	8, 149			
考 問題点 : 課	令和2年度に実施する第 がら積極的にPRを行っ <sup>-</sup>				の応募者	数。	となる	ぶよう、	金融機	関等の関	係諸機関の	<b>協力を得な</b>			
題	 点・課題の改善策														
	I	<b>2</b> П <b>4</b> .		^ -	to = + -	1		т.		A 7-01		( ) &D ±.			
	令和元年度に取り 具体的な改善内 <sup>3</sup>			令和元年度に実施した 改善内容および評価							令和2年度以降に取り組む 具体的な改善内容				
	大規模展示会にてパネルタ	やパンフ	大規		会にてん				金融	融機関等	の関係諸機関	の協力を			
	レットを設置するなど、				设置する										
1	製品の積極的にPRする。			を積極	亟的に P	Rί	た。								
2															
3															
9															
<b>业他</b>	(実施 2	区	未実	拖	20		区	不	明	0	区)				
施状の	板橋区、大田区														
次の	1次1同位、八山位														
状の況実															
況議															
へ 会 悪 <i>医</i>															
要問															
頁問															
1/															

事務	事美	業コード		06-02-	20					○協働		務〇	財務	〇人事
事務	事美	業名		企業情	報化支援			担当	者名 鈴	<mark>業経済部経</mark> 木	営支援課	課長名 内線		石﨑 457
		を構成する			01-	-07-01	企業情報	化支援	事業					
及びう	•算	事業コー	ド (2年	F度)										
	•	業の種類	_			û年度 ○		)		設事業		それ以外		
開始	- "	_		和●当	<u> </u>	<u>令和 12</u> 令和3		根拠 法令等		区経営革新 区高度特定				
実施				令基準	4 O i	事 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利			計画				<b>●</b> 非	
4-	- IFO	(評価	分里	F 1	I 産業	<b>革新都市</b>								
		体系	政策 施策			」ある地域 経営革新		Ŋ						
		インター						急速に進	展してし	いる中、企業	業活動に	とって‡	I C	Tの活用
   目的	5	は不可久	くとな	っている						ノ組みを支				
	ני	ことを目	的と	する。										
		区内事	業者											
対象等	者		- X L											
77		/1/ 古 坐:	老台口	LICT	エ田トラ	· 土	/ <del>//</del>							
						:ナーの開 自社ホー <i>』</i>		等をマー	ケティン	<b>ングや経営</b>	基盤強化	に活用す	- る	
				チャーす						, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
		(2) 車業	能向に	+信却+	キュロラ	・ィセミナ	一の関係	•						
内容	₹								るセキュ	ュリティ対領	策の方法	をレクチ	·+-	する。
' '	•	(2) D D	€4 i∓i ⊈	∥ <i>//</i> ← →± □+	古 ※ /47	当 <b>甘☆</b> ←	⊢t≅ <del>+ *</del> +	ᆂᇝᄉ						
						営革新等3 ため、動画			放映する	る動画を製作	作する場	合、製作	■費用の	ກ
		1/2(陸	度額	10万円)	を補助す	る。					. ,		2000	
									2年6月~	~17年3月)				
						ディネータ ■支援事業			を制定し	、IT講習	今への	参加費助	成を開	始
		',,,,,,,,,,	弄	训区産	業団体[					し、自主的				
<b>.</b> ΔΔ .1	=	   平成20年		成を開始 S業IT堆		<del>}</del>								
経過	9						IT講習	会への	参加費補	助(セミナ	· <b>一 ·</b> 研作	多受講支	援事業	補
		立 出 22 年				対応)事業		- د بل ۱	<b>-</b> ΣΠ	修受講支援	中光洋	h 会 六 A i	亜 郷 1-	· 纮 🏊 \
										廖文碑又版 は24年度を			安神に	・和ロノ
										のセキュリ			開始	
										J、これま <sup>-</sup>				
必要怕	生	きたとこ  していく				会経済情勢	めの変化!	に対応し	て、より	/支援効果の	の高いI	CT活用	支援第	策を検討
						/ <b>=</b> # 0.1	800	214 #L	O 11-24-	#L O [[= n+1	T+h = \			
実施	<del>l</del> j	( <mark>2一部</mark>				( 直宮の)				勤 <mark>○</mark> 臨時〕 - 禾託	職員 )			
方法	Ë	l ' ' '	C/D	/TI C / _ /\!	1.670到	1 - XH 3E 0 7 0	0.0 6 -	) 连占	<b>尹</b> 木石!	- 女 110				
		<u> </u>						15.1E 0.14	L T.D.					
		事務事業	の成り	里レオス	<b>- </b>			指標の推	E移 			指標に関	する≣	2000年
指		于加于木	071907	~ C 7 ° a	ון אויםני	29年度	30年度	元年度	2年度 見込み	目標値 (8年度)		] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	7 O.D.	10-51
	_	集合ICT語	i 本 ■ 「	CT活用+	· = + —									
	1	(人:1回		0170713	. ~ /	13	13	15	15	15				
標	2	PR動画	製作補	i助事業(	件)	9	3	4	10	10				
,,,,,	3	)												
			事業の	D分類										
	2		<del>7 * 0</del>	3年	.度			3	分類につ	いての説明	●意見等	等		
										は業績向上				
		推進		推	進					ある。IC ニィキ会内				
		~				会経済情勢に合わせ、セキュリティを含めた周知啓発を推進する。								0

												(畄)	No2 立: 千円)	
予算	• <b></b>			26年度	F	27年度	- 2	28年度	F 294	∓度 ┃	30年度	元年度	<u>4.〒ロ)</u> 2年度	
予算	_	(3) (3) (4) (4)		1, 86		1, 868		1, 86	8 2,	086	2, 254	2, 276	2, 283	
決算	額	(2年度は見込み)		1, 34	3	1, 044		1, 24		614	1, 377	1, 480	2, 283	
実		事項名(2年度は見込		26年度	E.	27年度	4	28年度		F度	30年度	元年度	2年度	
績	_	合ICT講座・ICT活用セミュ			7	7			6	7	7	7	7	
の   推		(バーセキュリティセミナー参加	]者(人)		6	3			6	9	34	21	30 10	
推   移	F	R動画製作補助(件)			0	3			0	9	3	4	10	
-	- 3i	快算の内訳												
7 7	- "	平成30年度(決算)			令和	元年度	(決	(算)			令和2年	<b>丰度(予算)</b>		
節		主な事項	金額(千円)	節		主な事	項		金額(千円)	節		な事項	金額(千円)	
報償		講師謝礼			講師				29	報償費			69	
		消耗品等	8	需用費			علاد	7h -=	8		消耗品等		60	
委託		I T活用セミナー業務委託 セキュリティ対策普及啓発グッズ	950 180			用セミナー			990 100	委託料		セミナー業務委 ィ対策普及啓発グッ		
安記		PR動画作成補助	210			<sub>セキュリティ対策普及</sub> PR動画作成補		モクッス	353		* PR動画作		1. 000	
X 2 m 1111		11到四下水闸均	210	JC/22 1111-93 13	1 11 3/1	四 1 F / 久 ITT	14/1		000	JC/II III 110-13		F1% (m14)	1, 000	
													立:千円)	
		勘定科目	30年度		F度	差額	0.0		勘定科目		30年度	元年度	差額	
		給与関係費	1, 9		344				<u>方税</u> 庫支出金		0	0	0	
行		物件費 維持補修費	1, 1	0	1, 098 0		40 0		<u>俾文田3</u> 支出金	Ī	0	0	0	
政	絧	扶助費		0	0		0	147	又山亚 担金及び負	自拍金	0	0	0	
	政	補助費等	2	39	382		43		用料及び		0	0	0	
ス		減価償却費		0	0	0			の他		0	0	0	
計	用	不納欠損。貸倒引当金繰入額		0	0		0		政収入合		0		0	
算		賞与 退職給与引当金繰入額	4	99	80				支差額(a)-(		<b>▲</b> 3,806		902	
書		その他行政費用	0.0	0	0				収支差額		0	0	000	
	<b>州</b> 土 「	行政費用合計(b) 別費用(g)	3, 8	0 2	2, 904 0		902 通常収支差額(c) 0 特別収入(f			(d) = (e)	<b>▲</b> 3,806	<b>▲</b> 2, 904	902	
		別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0					) + (h)	<b>▲</b> 3, 806	·		
/++-			ミナー業	0   0   0   当期収支差額(e)+(h)   ▲ 3,806   2 業務委託)や区内企業のPR動画作成を支援するための補助							,			
備考	あ	る。											_ 0 1 _ 5 C C	
7	(4)	元年度の補助費の増は、	PR動画 <sup>*</sup>	制作補助	金の	実績増に	ょ	<u>る。</u>	11 hh 4		-7140	1 - 1 -	<u> </u>	
問		) 近年増加しているサイ 要。	ハー攻撃	等に対す	デ る智	対  のでせる	トコ	- リテ	イ対策を	問知す	るための	セミナ一等	の開催か	
題点		<sub>女。</sub> )P R動画製作補助の利	用者増す	・更に図る	るため	)、制度原	引知	]を積	極的に推	進する	うことが必	要。		
						, , , , , ,								
課														
題														
問題	点•	・課題の改善策												
		令和元年度に取り	 網す:		<b>介</b>	和元年度	1=	実施し	.t-		佘和2年周	要以降に取り	リ組ま:	
		具体的な改善内容				善内容						的な改善内		
	事	業者のマーケティングス	力の向上	こ 「マ・	ーケラ	ティング	51 E	らはじ	めるWeb	サ新型	ピコロナウ	イルス感染	拡大防止	
		ポロン・ する内容のセミナ <del>ー</del> を		, イトi	汝善t	2ミナー.	1 8	開催	し、マー	- <b> </b> の†	こめ、オン	ラインセミ		
1						ブ目線のV	leb	サイト	ト作成の	支┃催泵	ける。			
	L			援を										
		一ズに沿ったセミナーで				内事業者:						内事業者の		
2		内事業者がICTを活用し				ある動画						、販売力強		
	ľ	ップを図るための支援を	さ打つ。	1700	COT	2ミナ <del>ー</del> :	2 IF	刊惟し	1= 0		こめの効果 ける。	:的なセミナ	一寺を囲	
	荷女!	寂품 사료 급 在 도 스 왈 라 '	ᆂᆸᅼᅕᄙ	を 横り 気づり	<b>2</b> 29 1. ⊐	トニキェ	∆ ≓ª	ᆂᇎᅶ	111 ± +0 1			左掛加坡亡	リーセンカ	
		察署や東京商工会議所 連携を図りながら、セギ										年増加傾向 対応策の周		
3		産院を図りながら、ビー 普及啓発を実施する。				ノイハ 見状と対り						かが水ツル	24 C 中区 1916	
						と開催し					-			
Ath		(実施 1	区	未実施	布	21		区	————— 不明	B I	0	区)		
施状況		- ( 天心	_					-		,1	U	<u> </u>		
状の	^^	四川位 (中小正未及の情	拟坦温素	似化。 -	∟№∠(	いいロ、1	田以	ŋ <b></b>	J)					
沈実														
況議														
へ 会														
要質														
旨問														
○状														
_	_	·	_	_	_	_	_	· -	_	_	_			

主教主	트북			06_0	)2-23				14年	攻	1	▲お邸	<u>○</u> ⊀	+ 教 🕜	日子次	NOI
争伤可	₽a	₹ <b>□</b> □ □		00-0	)Z=Z3				部記			●協働	(A)	課長名	財務 T	<mark>○</mark> 人事 石﨑
事務事	丰美	<b></b>		荒川	マイス	スターネ	長彰事業			者名 息		生冲叫社员	五人技林	_		459
						01 1	0.01	世田ラ			<del>э</del> Ш			内線		409
事務事	業	を構成す	る小事	業名	-	01-1	0-01	元川 マイ	<u> イスター</u>	争耒						
及び予	·算	事業コー	ド (2年	羊度)	H											
市攻す	는 곡	半の話器	<u> </u>	·抽事·	**	( 0 25	F 由	二左庄	1	O 7-	‡ <b>≘</b> л. т	<b>声</b>		フ.わ.い.	H W (1)	(生事業
		<u></u> との種類						元年度		O D	= 設	事業		それ以	外の独	枕争耒
開始生						7 〇 令		年度	根拠	荒川	マイ	イスター	表彰要編	涸		
終期記				<u>〇</u> 無		O den	令和3		法令等						0 1	-1-
実施基	<u></u> 54	<u> </u>		令基				●区独	日基準	計画	区分	יני	●音	† 画	〇非	計画
行	政	評価	分里	_	<u>II</u>		革新都市									
		体系	政策	-	05			経済づく	. り							
	-11		施急		03		経営革新									
																後進の指
目的	,		にカ	を注し	いでじ	へる者を	・表彰し、	荒川区	の産業を	支える	技術	ӯ 技能の	の継承す	なびに後紀	迷者育	成を図
ДΡ:	,	る。														
対象	ķ					25年以	上従事し	している	45歳以上	の者で	、高	い技術と	と卓越し	た技能を	を持ち	、後進の指
刈寒1   等	B	導 育成	に積極	亟的な	者											
र्च																
		• 対象資	₹格を	満たす	す者で	ぎ自薦▫	他薦よる	る応募者	を候補者	として	募集	€し、選≉	考審査会	€を経て□	₹長が	決定。
														₹掲示しF		
		▪ 平成2	0年4月	目から	本庁	舎1階の	の展示コ	ーナーに	荒川ブラ	ランドと	:し	て、マイ	スター	製品を展	示し、	区内外か
		らの区役	洲来	訪者に	に荒川	マイス	ター制度	ほとマイ	スター受	賞者及	び製	見品を紹介	个。			
		[募	身	<b>ቘ</b> ] (	3月中	旬区報	で募集、	締切 8月	末、職員	員による	5取	材9月中旬	可、選考	舍畜查会	9月下	旬
内容		[表	彰三	t] 10	)月下	旬										
,,,,		[受賞	者発表	₹]区	報、	あらかれ	b産業Na	viに掲載	ξ.							
		<del></del>	- r-t		13	- 4k - L W	+/ + +/ 4	alete III.	- 24 F							
		平成 6年						間度として		_ / -	_	± ±/ ±/ -	- /+ <del></del> 1	+ 17 <del>*</del> F	7 /L\	
		平成 7年							<b>戍(荒川</b>	マイス	ター	表彰者で	で結成し	た任意国	11体)	
		平成 9年		荒儿	川マイ	スター	制度に改	女称					_1			<b>-</b> ****
		平成12年												表彰と合		
		平成21年	三度											)、②在住		
経過	j													R·保存的		作成
		平成25年												祝賀会開		
		平成27年	-度											2賀会開作		
														9算概ね1		上)
		平成29年												-) を授 <i>与</i>	<del>-</del>	
		平成30年	-	₹.	イスタ	一認定	基準の新	炭和(従・	事年数の	引きト	け(3	30年⇒25	年))			
		技術・	技能	の継え	承、後	継者育	成に向い	ナた、職	人のモチ	ベーシ	ョン	/向上の額	見点から	必要性は	ま高い	0
必要性	#	'~''		,/					/	-		— •• •		1-11		-
心安日	-															
		/ <del>1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 </del>			\	,	+** ~ !		<u> अद्य</u> #1	O 4L34	. #./	O III- n+ n	W			
実施		( <mark>1直営</mark>			)	(	直宮のサ	易合 ●	<b>吊勤</b>	〇 非常	勤	○臨時	徴員 )			
大派																
73 /五	•															
									指標の推	移						
11-		事務事業	の成	果とす	する指	標名		l	1	0左座	Т.	目標値		指標に関	する	説明
指							29年度	30年度	元年度	2年度 見込 <i>み</i>						
										兄込の	, (	8年度)	T- 00 T	,, = L	. » 4-4-	(Imila a a s
	1	メディア	出演回	]数([	回)		2	3	3		4	10			と等	(把握してい
	Ÿ												るもの)			
128	2															
標	)															
	3															
	<b>9</b>															
		事務	事業0	の分類	Į						<u> </u>		_ == -	<u></u>		
	2	年度			3年度				2	が親に、	ノしい	ての説明	■息見	चें		
	Ī				. ,2		直度7	な技術・	技能を左	する暗	Jσ	) チチベ-	ーショヽ	/向トレ	技術	・技能の
																区内産業
	#	推進			推進				るものしるため、			- \ ~ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	ヨのりん	·471 071	14 15	四門生未
							''''	いし貝り	(A) 1 - (A)	11生生9	<b>୬</b> º					

												(畄(	No2 立: 千円)
予算	• <i>i</i>	央算額等の推移		26年度	ŧ	27年度	28	年度	294	F度	30年度	元年度	2年度
予算				1, 66		1, 782		, 680		689	1, 871	1, 689	1, 992
	額	(2年度は見込み)	7. \	1, 27		1, 559		I, 306 左帝		456	1, 355	532	1, 992
実	耒	事項名(2年度は見込 彰者数(人)	· <b>か</b> )	26年度	4	27年度 2	Zŏ	<u>年度</u> 2	_	<b>∓度</b> 2	30年度	元年度	2年度
側の		<u>影句数(ハ)</u> イスター累計(人)			71	73		75		77	78	79	81
推	Ė	1117 2001 (247				, ,							
移													
予算	• <i>7</i>	央算の内訳 		ı	A ===		/ <b>L.</b> M	_ `		1	A == 0.1		
da da da		平成30年度(決算)	A# (T.III)	4242	令和	元年度			es (acm)	左左		∓度(予算) - か東语	A# /T.III)
新信		主な事項 選考委員謝礼	金額 (千円)	節 超償费	彈字	主な事 委員謝礼		霊	額(千円)	節報信息		⋸な事項 ■ 鼬 対	金額(千円)
需用		消耗品、記念品等	140			品、記念			193			記念品等	379
委託	料	PR動画作成委託等	1, 192	役務費		一俱楽部25周年記 第			6			画製作委託等	
使用料	等	会場使用料	3		PR	動画製作	委託	;等	221		等 会場使用		6
				使用料等	会場	使用料			72				
												( 畄 /:	<u> </u>
		 勘定科目	30年度	F   7-4	丰度	差額	Ŧ	其力	定科目		30年度	( <u>甲</u> 1 元年度	立:千円) 差額
		給与関係費	1, 9		<del>上反</del> 1, 793		37	地方			00平度		<u> </u>
,_		物件費	1, 3		492		43	国庫	支出金	È	0	0	0
行		維持補修費		0	0		0 7	都支	出金		0	0	0
政		扶助費		0	0		0 1/3	分担金	金及び負	担金	0	_	0
ース		補助費等		21	41		ZU 3	使用制	科及ひき	上数料	0	0	0
<b> </b>	1年	減価償却費 不納欠損 - 貸倒引当金繰入額		0	0		0	` その	<u>他</u> 収入合	≣+ (a)	0	0	0
計		賞与 退職給与引当金繰入額		.99	107		_		<u>ねハロ</u> <u></u> 額(a)-(		<b>▲</b> 3, 785	,	1, 352
算書		その他行政費用		0	0				支差額		0	0	0
		行政費用合計(b)	3, 7	'85 :	2, 433	<b>▲</b> 1, 3					<b>▲</b> 3, 785	<b>2</b> , 433	1, 352
		別費用(g)		0	0			特別収.			0	0	0
		別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0				差額(e		<b>▲</b> 3, 785	,	1, 352
備考		和元年度は伝統技術展 ブースの設営)の当課								皆課と	相互に負担	せしていたま	<b>ミ務安</b> 計實
問題点・課題	川 ス ・	I T技術の進展により マイスター制度が25 ターの発掘や当該制度 荒川マイスターの優れ ある。	年以上経: の周知を	過し、被 従来以上	表彰:に積	者の中に 極的に行	は既 う必	に現役 要があ	gを退り ある。	いてい	る方も少な	なくなく、兼	<b>f規のマイ</b>
	_	一田町のルギケ											
问起,	息 '	・課題の改善策											
		令和元年度に取り 具体的な改善内	容		강	和元年度な善内容は	こよに	グ評価 かんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい			具体	度以降に取り 的な改善内	容
		しくマイスターに認定				マを含め、 った方等が						イベントや	
1	方	的機関の実施する表彰 など従来の方々を含め Rに取り組む。				うたカ寺/ 責極的にP						ーフレット :PRに努める	
	組	合や関係団体への周知	を図るほ	組合	等をは	台めとした	こ各種	重業界	.団体へ	、 引:	き続き、関	係団体等へ	の周知を
	か	、区内を巡回する経営	相談員等	と の周:	知、糸	圣営相談員	員等。			図・	るほか、区	内を巡回す	る経営相
2		連携をし積極的に候補	の発掘を	者の	発掘に	こ努めた。						をし積極的	に候補の
	仃	っていく。								発]	屈を行って	いく。	
3													
施区		(実施 7	区	未実	施	15	₽	<u> </u>	不明	月	0	区)	
状区	墨	田区、江 <mark>東区、葛飾区</mark>	、文京区	、新宿区	、台	東区、足	立区						
施状況の実													
況議													
へ 会 要 質													
要質 旨:													
二、状													
	_												

戦略プラン <mark>〇</mark> 協働 <mark>〇 業務 〇</mark> 部課名 <mark>産業経済部経営支援課</mark> 課長名 ○人事 事務事業コード 06-02-24 ○ 業務
○ 財務 次世代へのバトンタッチ(事業承 石﨑 事務事業名 担当者名 島田 継・終了) 支援事業 459 内線 01-05-06 次世代へのバトンタッチ(事業承継・終 了)支援事業 事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(2年度) 事務事業の種類 〇 新規事業 ( ○ 2年度 〇 元年度 ) 〇 建設事業 ● それ以外の継続事業 ○ 昭和 ● 平成 ○ 令和 27 年度 根拠 開始年度 ○有●無 終期設定 年度 |法令等 ○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 実施基準 計画区分 ●計画 ○ 非計画 分野 産業革新都市 Ш 行政評価 活力ある地域経済づくり 政策 事業体系 施策 03 企業経営革新の支援 区内企業が「円滑な事業承継・終了」を迎えられるよう、支援体制を強化する。 目的 区内中小企業者等 対象者 等 平成29年度に実施した「荒川区モノづくりセンサス」において、廃業・清算予定の企業が約30%、「過 去5年内に承継済み」または「後継者に承継予定」が約30%、経営者の年齢層が60代以上の企業が70%に迫 る、という調査結果が出た。事業承継・終了について漠然と考えている経営者が多数いる中、家族・従業員・取引先・債権者等への影響を最小限にするとともに、経営者本人の生活の再構築等につなげるために は、早期に準備を行うことが重要である。 経営者が早期対応の重要性を認識し、早めに手を打つことができるよう、従前より、セミナーや小冊子 内容 の発行等による啓発を行ってきたが、令和元年度より総合的なパッケージ支援を開始。 【内容】 1 訪問相談実施(プッシュ型支援) 2 セミナー開催 (事例紹介や承継計画作り等) 3 強化月間設定 (集中的な啓発活動) 4 連絡協議会設立 (金融機関等との連携体構築) 事業開始 ハンドブック「次世代へのバトンタッチ」を作成 平成27年度 平成28年度 事業継続 ハンドブック「次世代へのバトンタッチ」改訂版を作成 平成29年度 事業継続 「荒川区モノづくりセンサス」実施に伴い冊子を増刷 令和元年度 連絡協議会を設置、訪問相談を開始、事業承継強化月間を実施 経過 積極的な創業支援と一体となって幅広いサポートを行うことにより、区内企業の体質改善を促し、ひい ては産業の活性化につながるため、実施する意義は大きい。 必要性 (3委託 ) ( 直営の場合 <mark>○</mark> 常勤 <mark>○</mark> 非常勤 <mark>○</mark> 臨時職員 ) 実施 事業承継センター株式会社へ業務委託 方法 指標の推移 事務事業の成果とする指標名 指標に関する説明 指 2年度 目標値 29年度 30年度 元年度 見込み (8年度) ① セミナー受講者(人) 10 17 87 90 120 アンケート回答者のうち、「役に 95 セミナー受講者満足度(%) 100 100 100 100 標 立った」と回答した者の割合 3 訪問相談件数(人) 19 30 45 事務事業の分類 分類についての説明・意見等 2年度 3年度 創業期から事業承継及び事業終了期まで一貫して、相談対応から各種の 補助事業等までの幅広いサポートを行うことは、区内企業の体質改善を図 重点的に推進 重点的に推進 り、産業の活性化につながるため、重点的に推進する。

	1102
単位	: 千円)
<del></del>	0 左 垚

予算	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算	額	_	733	495	195	195	6, 183	6, 183
決算	額(2年度は見込み)	-	407	200	52	72	3, 831	6, 183
実	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
績	セミナー受講者数	_	18	17	10	17	87	90
の	訪問相談件数	_	_	_	_	-	19	30
推								
移								

予算・決算の内訳

	平成30年度(決算)			令和元年度 (決算)	令和2年度(予算)			
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
	講師謝礼	72	報償費	講師謝礼	0	報償費	講師謝礼	52
需用費	消耗品等	0	需用費	消耗品等	0	需用費	消耗品等	10
			委託料	その他の委託料	3, 831	委託料	その他の委託料	6, 116
			使用料	賃借料等	0	使用料	賃借料等	5

	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	給与関係費	2, 895	1, 793	<b>1</b> , 102	地方税	0	0	0
	物件費	0	3, 831	3, 831	∠ 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	和支出金 政	0	1, 915	1, 915
政	行 扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
コス	政補助費等	72	0	<b>▲</b> 72	λ 使用料及び手数料	0	0	0
^	費減価償却費	0	0	0	へその他	0	0	0
計	用 不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	1, 915	1, 915
質	賞与 退職給与引当金繰入額	748	107	<b>▲</b> 641	行政収支差額(a)-(b)=(c)	<b>▲</b> 3, 715	<b>▲</b> 3,816	<b>▲</b> 101
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	3, 715	5, 731	2, 016	通常収支差額(c)+(d)=(e)	<b>▲</b> 3, 715	<b>▲</b> 3,816	<b>▲</b> 101
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	<b>▲</b> 3, 715	<b>▲</b> 3,816	<b>▲</b> 101

令和元年度は、事業承継の知見を有する事業者へ業務委託を実施したため、物件費が増加した。

問 点

考

・経営者の高齢化や後継者不足等により、事業活動が黒字でも廃業を検討している事業者は少なくない。早期 に事業承継に着手できるよう、セミナー等を通じて事業承継ニーズを喚起するとともに、訪問相談を積極的に 実施し、円滑な事業承継や廃業を支援していく必要がある。

事業承継は自治体の支援のみで完結する問題では無いため、金融機関等を始めとした各種支援機関と連携し 課題の解決に取り組むことが重要である。

#### 問題点・課題の改善策

1-176	W. M.G.: 34 D M	
	令和元年度に取り組む 具体的な改善内容	令和元年度に実施した
1	事業承継のPR、訪問相談、セミナー 及び地域連絡協議会の運営を委託事 業として実施することにより、総合 的な支援を行う。	事業承継のPRから実務まで一貫して 委託することで、総合的な支援をワ レストップで提供が可能となった。 により、本事業を積極的にPRする 等、令和元年度以上に事業の周知 に注力する。
2	製造業等経営力向上支援事業補助金 の事業承継に伴う設備投資における 加算措置も積極的にPRし、相乗効 果を高める。	
3		
施他	(実施 14 区	未実施 8 区 不明 0 区)

他区 大の 提)品川区(セミナー)港区(セミナー)文京区(セミナー)台東区(助成※公益財団法人)墨田区(専門家支援)品川区(セミナー・訪問相談・後継者塾)大田区(人材育成)世田谷(窓口相談※公益財団法人)豊島区 (セミナー)練馬区(セミナー)葛飾区(セミナー)江戸川区(セミナー※共催)

況議 H29年2月会議 区内企業の後継者育成・事業承継について 会 H30年6月会議 区内企業の事業承継について

要旨)

状

事務	事第	ミコード		06-02	-25				戦	略プラ		○協働	〇業	務〇	財務	〇人事
事務事業名    生産性向上指導員派遣事業   部課名   産業経済部経営支援課   課長名   石崎   担当者名   砂川   内線   457   日本   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大																
事務事	業	を構成する	る小事	業名		01-0	5-07	生産性区	<u> </u>	員派遣	事業	<u> </u>				
及び予	算	事業コー	ド (2年	∓度)												
事務	事第	きの種類	〇新	規事業	((	) 2年	度 ()	元年度	)	O	建設	事業	•	それ以外	外の継	続事業
開始华			〇昭	和●	平成(	) 令	和 27		根拠							
終期				〇 無			令和3		法令等							
実施	基準	<u>E</u>		令基準				〇区独	目基準	計画	<b>山区</b>	分	〇計	. 画	● 非	計画
		評価	分里 政領				を 新都市	経済づく	· []							
事	業	体系	施領				アランス 子営革新		. /							
		生産性向							事業者に	対し、	専門	『指導員	を派遣し	、社員全	≧員が	カイゼン
目的	5	の種を見	しつけ	る目を	養い、	生産	性向上に	に向けた	活動を定	着させ	る。					
対象等	者	生産性向	]上に	関心の	ある区	内事	業者									
		<生産性		指導員	派遣事	業の	概要>									
		1 事業		L 本坪	たぞ切	+ z	ᅜᅲᅭᄼ	、企業を	八首 し 古	でやま	去出	快定して、	<b>/</b>	白ょのま	188七年	道昌太
				エス版 遣する	- : -	. 9 W	四四甲四	、正未で	ム券し又	.1友止未	~1		工座は	[P] (V) =	FI JTB:	等貝で
		2 謝礼				11,	500円(	交通費を	含む)							
内容	3			5 1.7 .		内で 1	12回(月	1回程	度、1回:	2 時間)	を予	产定。				
		(2) 派:				州向	トのたね	5の扣診!	内突につ	ハて車	台行员	说明やヒア	マロトルゲ	た行い	1 年	問の
					に王座程表を			ノレノ作日記人	内台につ	いて争	月リ あえ	πин \ ⊂ .	, ,, ,,	Z1101	14	同りひ
								髪を実施	する。							
		平成27年					進事業開									
		【セミナ					28年1月		/00 左 <del>広</del> 0	00年中1	<b>_</b>	⇔#-				
		[7 <i>h</i> =					29年1月 28年9月		(29年度3	0年度に	木	美肔				
		1/7/					-20年9月 -29年9月									
経過	5			第3期:	29年1	0月~	~30年9月	Ī								
		平成30年														
		平成31年	- )	生産	性问工	拍导	貝派追引	●兼」と	してリニ	ューア	ル					
									育に関心	の高い	区内	事業者	こ対して	、そのタ	見を	有する指
必要怕	生	導員を派	徒し.	、支援	を行う	必要	性は高い	١,								
実施	<del>b</del>	( <mark>1直営</mark>			)	(	直営の均	場合 ●	常勤	〇 非常	勁	○ 臨時』	職員 )			
方法																
									指標の推	移						
指		事務事業	の成績	果とす	る指標	名	ᅇᄯᄨ	20左击		2年度		目標値		指標に関	する	説明
70							29年度	30年度	元年度	見込み		(8年度)				
	1	指導員派	遣企業	数					3		3	3				
	•	71 (7 ) (7 )							, and the second		+					
標	2	セミナー	参加者	数					8	2	0	20				
	(3)	7sスクー	- ル終 -	了企業数	t		3	3						年9月第3	期スク	<b>'一</b> ルで事業
	٠												終了			
	2	<del>事</del> 務· 年度	尹未り	D分類 3/	年度				3	分類につ	つい	ての説明	●意見	<del>F</del>		
	Z	十戊		J-	十戊		企業/	D生产性	向上の増	准を経	押!	」する事:	坐で ある	t-10 ±	推進す	3
							正未	7.工注注	i~i⊥∟∨⊅18	進で液	. ነጥ ሀ	ンッ ひ手:	未しめる	11_UJ、 1	ᄄᄺᆖᅥ	· <b>o</b>
	1	<b>推進</b>		抖	推進											

												(単位	No2 t: 千円)
予算•	決算額等の推移		26年度	Ŧ	27年度	2	28年月	隻	29年	度	30年度	元年度	2年度
予算額				-	1, 100		1, 84		1, 8		762	897	897
	頁(2年度は見込み)	_ \	005	-	700		1, 1		1, (		426	621	897
実	事項名(2年度は見込	み)	26年度	ŧ	27年度	Ź	28年月	艾	29年	度	30年度	元年度	2年度
	指導員派遣企業数 セミナー開催回数			-	2			2		0	0	3	
	セミナー開催回数 スクール開催回数				2 8			11		12	6		
移上	ハノ が開催四数				0					12	- 0		
予算 •	・決算の内訳		l					<u> </u>					
	平成30年度(決算)			令和	元年度	(決	:算)				令和2年	F度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節		主な事	-		金額(干		節		な事項	金額(千円
	<b>遺</b> 講師謝礼	0	役務費	指導対	付価(法人	支払	4分)	62	21   1	<b>殳務費</b>	指導対価	(法人支払分)	897
	清耗品、食糧費 講師対価(法人支払分)、看板製作・設置	0											
役務費 使用料等	等。会場使用料	293 133											
区用作	可	100											
									<u> </u>				
								1	+		1		1
													1: 千円)
	勘定科目	30年度		丰度	差額			勘定和	4目		30年度	元年度	差額
	給与関係費	1, 9		1, 344				<u> </u>	LL A		0	0	
行	物件費	4	26	621		95		庫支!			0	0	
	維持補修費		0	0		0		3支出:		to 40	0	0	
_  1	行 扶助費 政 補助費等		0	0		0		担金及 用料及			0	0	
ᄉᆝᆥ	費減価償却費		0	0		0		の他	.0.7	9X 11	0	0	
	用 不納欠損 • 貸倒引当金繰入額		0	0		0	_	政収力	合計	(a)	0	0	
計   <sup>r</sup> 算	賞与•退職給与引当金繰入額	4	.99	80	<b>A</b> 4	19		支差額(			<b>▲</b> 2, 855	<b>▲</b> 2, 045	81
主	その他行政費用		0	0		0	金融	収支差	<b>£額</b> (		0	0	
- L	行政費用合計(b)	2, 8	355	2, 045	▲ 8			支差額(		=(e)	<b>▲</b> 2, 855	<b>▲</b> 2, 045	81
	特別費用(g)		0	0		_		収入(			0	0	
	特別収支差額(f)−(g)=(h) 講師への謝礼が主な支出[		0	0		0	当期中	<b>以支差</b> 額	頁(e)-	+ (h)	<b>▲</b> 2,855	<b>▲</b> 2, 045	81
題点	7Sセミナ―及び7Sスク- ね達成できたことから事! 現場改善による生産性向_ る。	業終了と	する。										
	□ 課題の改善策												
	令和元年度に取り 具体的な改善内 <sup>3</sup>				和元年度 な善内容 お							度以降に取り 的な改善内	
	7S推進事業からリニュ し、引き続き指導員を中間 業の生産性向上に取り組む	心に参加:	企 指導		<b>€の生産</b> ∱ S等を中 る。					企業		に意欲的に 、指導員を ていく。	
2													
施状況の実	(実施 <mark>0</mark>	区	未実	施	22		区	:	不明		0	区)	
況議へ会													
要問狀													

主 狝 7	車者	業コード		06-0	02-26					当	吹づニ、	✓ 協働	〇 型	務〇	財務	○ 人事
<del>事</del> /第:	尹ラ	<del>₹</del>					経営-	力向	上支援事			業経済部経				<mark>♥</mark> 人爭 石﨑
事務	事美	業名		業	1140	坦木寸	作品ノ	ינ⊷ן כי	工义]及于		者名大		3人1及吓	内線		459
					- 1	01-	05-05		制告業等	等経営力				12 July		700
		を構成す			ŀ	- 01	00 00		衣足木	サルロノ		<del>YT</del>				
及びう	7算	事業コー	下 (2年	(茂)	ľ											
事務:	事美	業の種類	〇新	規事	業	( O 2:	年度	0	元年度	)	〇建	設事業	•	それ以外	外の継	続事業
開始	•					戊 ○ ←				根拠		区製造業等				
終期			〇有			,, ,			年度	法令等	要綱		111111	.—	7 · ×1 × 1 11	
実施			O 法 <sup>2</sup>			〇者	『其準	内	●区独		計画	区分	<ul><li>計</li></ul>	- 画	〇非	計画
JC //E			分野		Ш		革新			口坐干	пп	<u> </u>	ш		O 91	
		マ評価 こうしゅう	政策	_	05				経済づく	, ri						
事	業	体系	施策		03				の支援	· /						
		星気に								化を図る	t-10 =	投備投資等(	- 亜オス	経費の-	- 部 を	助成才
		スニン	コラガル	_ 03 .l	おおり	ムりよい	いに木	しいか	まさり 強っ	正を図る 産業の振	調につか	以帰び貝寸!	-女y a	性貝の	마존	9月1火 9
目的	勺	Jo. ⊂1	01-0-	· .	ᅏᄺ	/J U/ JE I		<u>.</u> C (	C ( P)	生未りが	(9410 )	411 O o				
		集川 '生 型	£ 45 1 − F	로士	Ζ ф.,	ᅡᄼᆇᅼ	<del> </del> +	+:1	√l\ ‡⊟ ·	古古安之	小田田田	新補助につ	ヽァゖ	<del>公 **</del> = *	<del>ル よ</del> ミつハ	タいて
対象	者	袋逗茅	ミ寺した	曳 9	る中/	1)正耒4	<b>á。/</b> ≤	:/= (	ン、 小祝	<b>悮争</b> 耒白	設/// 東	打棚 切川こづ	, cla.	<b>伙</b> 耒貝翁	ሂ አን ነ ረ ሀ	る以下
等																
		1↑# ≠₩	+ r⇔ =	几/#	也次が	at Bh. 7 5	+ <del> </del>	ᄪᆖᅼ	5 江 新 生	/ 11 IIm	<b>光</b> 去. 但:	スセムーツ	五 ナ> ≅ル 卍	:20 <del> m ·</del>	-1 F \	
										により収 3 (※3007		るために必	安仏設师	乙ロカドル	スエ)	
												<b>景境整備20</b> 2		. )		
										唯寺につ		泉児笠1佣20.	刀门以工	-)		
												タシステム	<b>基签.学</b> [	E III I	١	
	_									ソイト権(※60万円		労ンヘーム	件采すり	ハロダエ	,	
内容	¥	4 BCF										DRI FA				
										改调 寻 等 3 (※300)		7以工/				
		5小規模								1 (%300)	ים ני					
		【補助率							<b>XL</b> )							
									うの特例							
		平成26年														
												客力)を追				
		_※「±	也域活作	生化	地址	或住民生	主活等	緊急	<b>夏麦援交</b>	付金(地	方創生	た行型)」(	の交付対	象		
												忍企業等の		を新設)		
												付象 (東京		_		
经边	<u> </u>											か、以下の			<b>- 1</b>	alle.
												荒川区製造:	某等経宮	门间上为	と援事	<b>莱</b> 」
										、④特例	男件の変	<b></b>				
		令和2年							メニュー		. /±± ±□. :⁄▽ ^	*+5*	ᅷᇝᄼᆖ	/ 224 /-		7. \
			¥	扩型	<b>⊐</b> ⊔ 7	ナワイノ	レス感	<b>徐梁</b> 加	E抛大的.	止对策設	備投資	等支援事業	<b>補助金設</b>	「三(甲)	⊧度の	<del>1)</del> )
		区内庭	産業を3	支え	る中/	小企業の	の生産	性を	を向上さ	せる設備	投資促達	<b>進を支援す</b>	ることに	より、紅	圣営力	の強化を
必要(	牛	図る事業														
احرار	_											_				
		/ 4 法 24			\		/ <del>+ 2</del> 2	4.001	B A	714 #L		#L O FE n+	nth = \			
実施	in in	(1直営			)							勤 〇 臨時	職貝 )			
方法										る経営指		実施。				
/3 /2	_	(2)実績	報告	:現	地確認	忍を行っ	った上	で、	補助金	を支出す	゚る。					
										指標の推	挂移					
+15		事務事業	の成界	₹とっ	する指	<b>≨標名</b>	-		l	1	2年度	目標値	•	指標に関	する	兑明
指							29年	F度	30年度	元年度	2年度  見込み					
		7.4	1 -т Г	*L FB	+ 11 .	LAE					元匹の	(0千度)	[#H H +	: U . O E	1 // 1/4	′アンケート
	1	アンケー 答があっ				との凹	9	4. 1	95. 0	91. 3	90.0	94. 0		りり」の凹 小規模補		
	_	合かめつ	だ剖口	(%)	)								凹合致。	小戏铁棚	りいろ	刊
標	2															
ीक	_															
	3															
				/1 11												
		事務	事業の	分类	負						分類につ	いての説明	音目:	车		
	2	年度			3年度	₹					力規につ	いていが	」"心元"	ग		
							1	該	事業を通	じて、区	内産業	を支えてき	た中小介	業の経営	営力の	強化が図
		10.50			14							性進する。				
		推進			推進		1 "	-		•	•					

	No2
(単位	千円)

							<u>\+</u>	<del>2</del> ·     1 J/
予算		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算	額		74, 000	124, 000	124, 152	122, 908	93, 471	93, 494
決算	額(2年度は見込み)	_	48, 875	84, 304	70, 022	68, 704	38, 834	93, 494
実	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
績	設備補助	84	97	95	107	101	57	80
の	女性活躍整備補助		3	3	0	3	5	4
推	ICT販売力強化補助		3	2	4	3	0	4
移	集客力向上補助		4	8	5	4	_	

予算・決算の内訳

	平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
	専門家謝礼	2, 139	報償費	専門家謝礼			専門家謝礼	3, 174
委託料	チラシ製作委託	94	委託料	チラシ製作委託	93	委託料	チラシ制作委託	320
負担金補助	補助金	66, 471	負担金補助	補助金	36, 637	負担金補助	補助金	90, 000

(単位:千円)

0
-
0
<b>1</b> 1, 791
0
0
<b>▲</b> 105
<b>1</b> 1, 896
19, 430
0
19, 430
0
19, 430

区内企業の設備投資等に要する経費の補助が主な費用である。補助費等の減額は、制度改正により、商業・ サービス業に属する事業者の利用がなくなったことによる。行政収入は、都からの補助金であり、減少は制度改正によるものである。 考

・経営環境や新興国を中心とした海外企業との競争激化などで製造業を中心とした区内中小企業は厳しい経営 問 | 大会に対象に対象回で中心とした一角が正来といり続き成れるとで製造来を中心とした区内中が正来は厳しい経営状況下にある。こういった状況のなか、生き残りをかけ設備投資等をおこなう中小企業を支援する補助制度により区内企業を支援することは、非常に重要である。
- 社会情勢及び経営環境に応じ、当該補助対象を改正しながら、より多くの企業を支援する。 点

企業相談事業において、当該制度の周知を行い、制度の利用促進を図っていく。

#### 問題点・課題の改善策

1HJ K25 /	w				
	令和元年度に取り組む 具体的な改善内容	令和元年度に実 改善内容および			度以降に取り組む 的な改善内容
	国の中小企業振興施策及びモノづくりセンサスの調査結果に基づき、 労働生産性向上に資する設備を強く 後押しする。	補助対象を中小企業者 共に、労働生産性向上に を導入する場合には、そ る等の特例を設けた。	こ資する設備	資補助の利用	E向上に資する設備投 目を促進するために、 き者へ広くPRしてい
2					
3					
梅他	(実施 1 区	未実施 21 区	区 不明	0	区)
施状況の実	港区(小規模企業事業承継支援補助会	金)			

況議

平成27年度9月会議 事業をブラッシュアップさせ、一歩踏み込んだ支援 平成26年度2月会議 国庫補助金を活用し、使い勝手のよい事業として1年継続実施 平成26年度11月会議 手続きの簡素化や事業10年以上の緩和等、使いやすく 〜 会

要質 平成26年度11月会議 手続きの簡素化や事業10年以上の緩和等、使 時間 平成26年度9月会議 事業の更なる周知と期間延長を行ってほしい

平成26年度6月会議 「愛称名」を付けたらどうか

事務	事	業コード		06-02-	-27				戦	略プラン	ノの協	働	〇業	務 ()	財務	〇人事
事務	事	業名		販路開	l拓支	援事	業			果名 <mark>產</mark> ·者名 /	<mark>業経済部</mark> \嶋	経営	支援課	課長名 内線		石﨑 459
		業を構成する 事業コー				01-0	6-05	販路開	石支援事	業						
		業の種類						元年度	) 		建設事業 				外の継	続事業
開始。					半戍	U Ti	和 29		根拠 法令等		区産業展  区産業展			丁安শ		
終期記				<ul><li>○ 無</li><li>令基準</li></ul>	rtı	O ≠17		○区独			区分	天厂	□安神	- 画	● 非	計画
		•	分里		<u> ^} </u>  [		革新都市		日本年		区刀	_	O iii	<u> </u>	<b>●</b> 카	可凹
		女評価	政策		)5			経済づく	( 1)							
事	1	<b>美体系</b>	施領		)3		経営革新		`							
			屈指	のもの		り専門	展示会	である機			団体出展					
目的	ካ										拓をBtoB					
	•	る。	モノ	つくり	<b>ル</b> ま	ら め	らかわ」	しのフラ	ント価値	旧上を	図り、区	I 月 座	美の男	なる活性	E1CI_	つなけ
		機械要素	技術	屈・区।	<b>≒</b> 11	木牡疹	記して!	\ ス制 告	車業老学	Ξ						
対象:	者										び卸売業	者等	<u> </u>			
等		, , , ,		, ,,,,,,,			124 112	1477 - 17	, 04.2		0 21 70 71	ц.,				
		【令和元														
				技術展	.46 <b>1</b> -₽ 7	<del>-</del>	. A E # 1	- 88 - 2	<b></b>	- 4- 44-	- <del></del>		- =	o = m+	L 45- E	
								〜関する 水曜日か			に集めた			(の専門か 張メッセ	文 们 茂。	>
								12m)				E +901	71 · <del>715</del> 3	K/ / C		
内容	₹	企業出	展料	: 1社あ	たり			,			_					
', -	•	2 _ ブラ					ac at an I									
		区内事	業者	のBto	CIC	おける	り 敗路開持	石を強化 □ 閏 桑 笙	するため	、統一	したブラ 、ブラン	ント	を構築	(し、販売	こくべ	ントやデ
											、フラン 覚的に発			′⊔	「ヤツ	<i>7</i>
											販売イ・					
		平成28年						展へ区と					-			
		平成20年									引出展」と	<b>-</b> Гј	産業展1	助成」を	統合し	
		' ' ' ' ' '	-				事業と		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					,,,,,	,,,,,	•
								展へ出展								
	_	亚成30名						あり市」 展へ出風								
経過	9	一,2004								ング研	究会の設	置)				
		令和元年		7月 ブ	゙ラン	/ディ:	ング推進	委員会0	)設置							
			1						(りブラ)	ンド「a	ra!kawa]	お	披露目			
							て販売会 要素は紙	を美施 展へ出居	₽							
		1 10							-	· · ·						
.v == v.	4	本事業	<b>€は、</b>	区内の	生業:	振興に	奇与する	もことと	考えられ	、必要	性は高い。	0				
必要怕	Έ															
		( o .tr	<b>未</b> 主	,			古世の	旧人 〇	出 #1	<u> </u>	*** 0 55	n± 5%	<b>ф</b> 🗕 🕠			
実施	<u> </u>	(2一部	安託			(	直宮の)	場合 <mark>O</mark>	吊勁	○ 非吊	i勤 <mark>O</mark> 臨	時期	成貝 )			
方法																
									指標の推	推移						
指		事務事業	の成績	果とする	る指標	票名		T .	1	2年度	目標値	5		指標に関	する話	兑明
相							29年度	30年度	元年度	見込み						
		F+**++	<b>= 1</b> /2	±1 <del>**</del> +42 *	·L (1)	L\	70.0	CO E	F 0				期間中に	一社当た	りが名	刺交換した
	1	【機械要	<b>系</b> 』名	州父揆第	以(化	<b>X</b> )	72. 3	60. 5	5. 8	(	)			を換枚数/		
標	2	販路開拓	セミナ	一参加	<b>当数</b>			93	85	100	) 1	00				
	3															
		事務	事業の	D分類						13. de=						
	;	2年度	7.7.0		F度				:	分類につ	ついての訪	明	• 意見	等		
		- 1/2		- 0-	汉		BtoRo	の「機械	要素技術	展共同	出展」と	Bto	Cの「±H	域ブラン	ノディ	ング推
-	L	A51-14:32		<b>∓</b> ⊦ 11	1/	<i>- \</i>	進」のi	両輪支援	により、	「モノ	づくりの	街あ	ららかれ	) のブラ	ランド	
重	点	的に推進		重点的	川こ雅	進	を図り.	、販路開	拓の促進	性につな	げるため	、重	点的に	推進する	5。	

										/ <del>24</del> //	No2
<b>文質</b>	■ 決算額等の推移		26年度	<b>∓</b>	7年度	28年月	<b>⊭ I</b> 20	年度	30年度	(単(i ┃ 元年度	立:千円) 2年度
予算			20年15	ž Z	/平皮	20年月	_	平度 6,604	21,671	15,905	18, 687
	<sub>観</sub> 額(2年度は見込み)				-			6, 420	13, 721	15, 905	18, 687
実	事項名(2年度は見込み)	<b>み</b> )	26年度	∓ 2 <sup>-</sup>	- 7年度	28年月		<del>,420</del> 年度	30年度	元年度	2年度
	共同出展者数(機械要素打		20413	2 2	十尺	2046	8	<del>平反</del> 12	11		24度
	使用コマ数(機械要素技術						3	6	7	4	0
推	使用小間数(荒川モノづくり技			-			4	35	,	1	0
移	医加引用数 (元州モンンマラ)	(0) / 111/						- 00			
予質	<u> </u>										
7 7	平成30年度(決算)			令和 5	元年度	(決算)			令和24	F度 (予算)	
節		金額(千円)	節	1- 1	主な事		金額 (千円)	節		<u>- な事項</u>	金額(千円)
報償	世 地域ブランディングコーディネート料等	900	報償費	地域ブラン <sup>-</sup>	ディングコーラ	ニィネート料等	1, 258	報償	地域ブランディ	ィングコ <b>ー</b> ディネート#	¥¥ 2, 706
需用	費飲料賄い	6	需用費	飲料期	い等		8	需用	費 飲料賄し	ハ等	23
役務:		113		機械要素技術展 電気		、幹線工事等	368	役務:	費 ブラント	・ロゴ商標登録	録 338
	荒川モノづくり技あり市コンセプトの商標登録等	127	委託料	機械要素技	i 新展 ブ <del>ー</del> ス	ス設営等委託	3, 707	委託	供 機械要素技術	展 ブース設営等委	託 3,813
委託	米斗 機械要素技術展 ブース設営等委託	4, 860	使用料及び賃借料	機械要	素技術展	出展料	4, 493	使用料及び賃	機械要素	技術展 出展	料 4,536
使用料及び賃	機械要素技術展 出展料	7, 573		販路開拓	iセミナーst	会場使用料	268		販路開拓セ	ミナー会場使用	料 271
	販路開拓セミナー会場使用料	142	負担補助及び交付金	ブランデ	゚゙ィング戦闘	各活動補助	5, 000	負担補助及び多	:ff金 ブランディ	ング戦略活動補	助 7,000
											立:千円)
	勘定科目	30年度		丰度	差額		勘定科		30年度	元年度	差額
	給与関係費	5, 7		5, 826			方税		0		0
<b>%</b> =	物件費	12, 7		8, 844	<b>▲</b> 3, 8		庫支出:	金	0	•	0
行   政	維持補修費		0	0		0 政都	支出金	# I= *	5, 122	-,	<b>▲</b> 2, 062
_	行 扶助費		0	0		0 収分	担金及び	負担金	0	•	0
ース	政補助費等	9		6, 258	5, 3	2011	用料及ひ	手数料	0	•	0
-	費減価償却費		0	19			の他	=1 ( )	1, 580		▲ 880
計	用 不納欠損 質倒引当金繰入額	1 /	0	0	A 1 1		政収入台		6, 702		<b>▲</b> 2, 942
算	賞与・退職給与引当金繰入額	1, 4	96	346	<u> </u>				<b>14</b> , 191		<b>▲</b> 3, 342
書	その他行政費用	20, 8	0 2	0 1, 293	1		収支差額		0	0 ▲ 17, 533	<b>▲</b> 3, 342
	一行政費用合計(b) 特別費用(g)	20, 8	0	0	4		収入(f)	·(a) = (e)	70		<b>▲</b> 3, 342
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		70	0				a) + (b)		<b>▲</b> 17, 533	<b>▲</b> 3, 412
	機械要素技術展の出展者数	が減に伴									,
備	会発足に伴い、活動経費と	としての	補助金を	・支出し	1-1-10 1-1-10	・増加。	行政切	一角の 5	都からの社	ま助金及び格	機械要素技
考	術展へ共同出展した区内1	E業から	の出展料	である	) <sub>o</sub>						
問	・機械要素技術展の荒川の							商談数	の増加のオ	こめ、来場都	ずが入りや
題	┃すく、回遊性があり、一位									·	. L> wh
点	┃・販売イベント等のありフ ■■× たた計し 「エノベ										
-	略)を検討し、「モノづぐ  ることが重要である。	、りのま	5 00 5	かわし	のノフ	ント1回1	単門上を	凶り、	区内性果の	の更なる活13	±1CI〜繋げ
課	ることが重安である。										
題											
問題	点・課題の改善策										
	令和元年度に取り	組まり		今和	1元任度	に実施し	<i>t-</i>		会和9年Ⅰ	要以降に取 <sup>り</sup>	1組まり
	日 日本のなみ					こそだ評				対対は 10年に収り	
	機械要素技術展の会場と	_	①   <b> </b>				***	n		開催時期等(	_
	饿慨妛素技術展の気場と∮  変更に伴い、出展規模を約									新惟时期寺( ととする。	
1	展することとする。						がしてい			ここする。 は開催時期	
	,			かった			_,		踏まえ、検		
	 ブランドの発信を開始し、	初年中				K Faral	kawaj	た !!!	長銀座への	出展をはじ	か発制
	ノフフトの光信を開始し、   上のため、新製品開発や									山巌をはし	
2	エのため、新表品開発です								m元で表示 みを構築す		かいくこ ヘン 丁丁
	に実施する。	jet   <u>:#</u> 1	。   きた。		,	, 0		-   m	· · c in * 7	• 0	
		一十位十			= + '	ーセン・ハー	· (+ =	_	<b>土结土</b> 🖂	古の歩の門	吹胆セナ
	区内企業の販路開拓を更に  ため、販路開拓セミナーの						iは、テ· ,、高い			【内企業の販 かため、販路	
3	ため、敷始開拓セミノー0  マを検討した上で実施する			調帥で を得た			、同い			)ため、	
		<b>~</b> 0	1~12	± 101/-	o .				が構演り 施する。	、 c 1スロ1	J, (
	. + 1/										
施区	(実施 6	区	未実		16	区	不		0	区)	
37	【 【 从 从 久 示 】 入 门 从 】 14/ 小 [				橋区(	公社)、	大田区	(公社	t) 、足立[	<u>×</u>	
況実	※大田区は企業の出展はな	よく、公	社の紹介	つみ							
かし 四北	平成27年度11月会議 Bto	Bの販路	開拓支援	の強化	につい	て					
<b>全会</b>											
要質											
旨問 状											
1人											

									I wh -	0-	a lab test	- 11		-1	NOT
事務	事第	<u> 関コード</u>		06-02-						略プラン	0 1000 1000			財務	〇人事
事務	事業	<b>業名</b>		ファッ 創業支				ター向け	担当	者名 鈴			内線	4	5崎 157
事務事	業	を構成す	る小事	業名		01-0	9-02	ファッ	ションク	リエイタ	一向け創業	<u> 美支援施</u>	設運営費		
		事業コー													
事務	事第	*の種類	〇新	規事業	(	O 2年	F度 C	元年度	)	〇建	設事業		それ以外	小の継続	事業
開始。				和 • 3				年度	根拠				C 12777	1 - 4 4 4 4 4 7 1	0 1 214
終期記				無				年度	法令等						
実施	基準	<u> </u>		令基準				● 区独	自基準	計画	区分	<mark>O</mark> 計	画	● 非計	·画
行	政	評価	分里				革新都市		· 11						
事	業	体系	政 ) 施 )					【経済づく ■創出の3							
		日草甲結								ろ拠占る	を整備し、「	又内产学	活性化に	・繋がる	創業笙
目的	5	の機会創	出と	支援を行	テい、	地域	産業の	舌性化を	図る。						- 日本・「
対象: 等	者	ファッシ	/ョン	関連産業	業で倉	創業を	目指す	(又は創	業して概	ね5年	以内の)個.	人又は中	小企業者	Í	
内容	747	設する。第1234※ 開場所容営が	支援 支期 オイマ すの2階	施設の 令和34  区東日  イス45  ・大ユベ  ・5階(	既要 <b>手</b> 2月 <b>里</b> <b>上</b> <b>上</b> <b>上</b> <b>上</b> <b>上</b> <b>上</b> <b>上</b> <b>上</b>	(予定 頃 大エア リョン割	)】 17番6 <del>5</del> オフィス マネージ 作コー:	号(荒川 ス1室(5 シャの配置 ナー・エ	区立日暮 席)、休 遣やセミラ 房スペー	里地域 憩・打 <sup>‡</sup> ナー、施 スとして	ッション関 舌性化施設 ち合わせコー 設のPR等 C民間事業 舌かしたワー	5階) ーナー )運営業系 者へ貸付	等 務を委託 。ミシン	<b>,</b> やプリ	ン
経過	n5)	平平	□7月~ □11月~ □4月~ □7月~ □1月~	·10月 ~ ·	検基基委(意フ創き)	委設設会が集ッコ  会員計計の目的を表現の表別には、	会のこの事・ヨナー 報実関委里精ン一告施し員地査業・	を踏まえ 「(仮称 意見聴取 活性化旅 実施計画 に知見る	た と 大 と と と も を も の の の の の の の の の の の の の	こ 地 備央当付 は に かん は に かん は に かん いんしょう いんしょう はんしょう いんしょう いんしょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしょ はんしん はんしん	る検討ポート を の検討ポート を を を は に は に は に は に は に は に に は に は に は に は に に は に に に に に に に に に に に に に	ルの実施 及び運営	施 営に関す 崔・意見	聴取	
必要怕	生	日暮里 重要な旅					ション	関連産業	の支援を	実施する	ることは、「	区の産業	の活性化	とを図る	うえで
実施	<u> </u>	( <mark>2一部</mark> 直営の施		) L て							勤 <mark>○</mark> 臨時 料の徴収はⅠ		<u></u> λ 足 ਝ	・一	世 わ 終
方法	_										年の (東京) 年度:(株)ツ·		。八店在	1・・0ノ启!	木で柱
指		事務事業	の成身	果とする	5指標	票名	29年度	30年度	指標の推 元年度	移 2年度 見込み	目標値		指標に関	する説は	明
	1)	ファッシ	ョンビ	ジネスイ	2ミナ	一参	18	35	0		(8年度)			ナ感染抗	大の影響
.=	2	加者数										によりオ	<b>下</b> 美胞		
12K															
	3	<b>卡</b> 沙	古坐へ	へ / \ 坐王											
	0		事業ℓ		中				5	分類につ	いての説明	● 意見	等		
重		的に推進		重点的	に推	進	は、地	域特性を	活かした	区の産	ション関連 業の活性化 点的に推進	を図るう			

											(単行	5:千円)
予算	• 3d			26年月	<b>集</b>	27年度	28年度	₹ 29:	年度	30年度	元年度	2年度
予算		7(9F BR () 07 JE 12		20 1 7,		- / 1 /2	20 175		-	5, 562	5, 395	33, 784
		(2年度は見込み)							_	152	230	33, 784
実		事項名(2年度は見込	<i>7</i> L)	26年月	<b>+</b>	27年度	28年度	£ 20.	年度	30年度	元年度	2年度
績	<del>  -</del>	アッションビジネスセミナー		20-13		<u></u>	20-13	17	18	35	ルーIX —	100
側の	Ľ	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	罗加日双					17	10	33		100
推	⊢							-			-	
移	H											
	Ц,	+ # o + =0										
<u> </u>	'n	決算の内訳			A 10	二左由	/ <b>24. 在</b> ( )		1	<b>△</b> 4⊓0 <i>h</i>	r 広 / マ 竺 \	
h:h:		平成30年度(決算)	A #E (#F #F)	ht.	1 1	元年度		ARE (FR)	tzt <del>z</del>		<u>F度(予算)</u>	金額(千円)
節		主な事項	金額(千円)	節型機構	電光市	主な事		金額(千円)	節一		主な事項 設運営に関するアドバイザー謝礼等	
報償	〔	運営事業者選定委員謝礼及び	52	報償費		業者選定委員		100	報償費			20.
<b>∓</b> =1 :	曲	検討に伴う外部アドバイザー謝礼		/几 7欠 进		¥う外部アド/ ★ 451/ 亡 ★		130			i、Wi-Fi通信料	
委託	負	不動産鑑定委託	100	役務費	小期	産鑑定委	āt	100			、WI一丁」迎1三木斗=	
										コピー機		204
									備品購入費	備品購力	(質	6, 439
								L	L		/ 35/ 1	
		#L수む C	1 00 F F		/ <del>-</del> - <del>-</del> -	<u> </u>		₩₩₩₩		20/= -		<u> 注:千円)</u>
	Ь.	勘定科目	30年度		年度	差額		勘定科目	1	30年度	元年度	差額
		給与関係費	5, 7		6, 274			<u>方税</u>		0	0	0
行		物件費	1	00	100			庫支出金	Ê	0	0	0
政		維持補修費		0	0			支出金	7 15 1	0	0	0
		扶助費		0	0			担金及び		0	0	0
コス		補助費等		52	130			用料及び	手数料	0	0	0
<u>۱</u>		減価償却費		0	0			の他		0	0	0
計	用	不納欠損。貸倒引当金繰入額		0	0			政収入合		0	0	0
算		賞与 退職給与引当金繰入額	1, 4		373	<b>▲</b> 1, 1	23 行政収			<b>▲</b> 7, 439	<b>▲</b> 6,877	562
書		その他行政費用		0	0			収支差額		0	0	0
		行政費用合計(b)	7, 4	.39	6, 877	<b>▲</b> 5	62 通常収		(d)=(e)	<b>▲</b> 7, 439	<b>▲</b> 6,877	562
		別費用(g)		0	0		0 特別			0	0	0
		;別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		0 当期心	₹支差額(€	e)+(h)	<b>▲</b> 7, 439	<b>▲</b> 6,877	562
備	•:	施設開設準備費及び運	営委託費	等が主な	;経費	である。						
考												
· 1												
75	.,			88.4		A. die E.		- 11				
問	施	設の開設について、ファ	アッショ	ン関連産	産業で活	創業等を	志す方々	てへの効	果的な周	別知が必要	<b>そである</b> 。	
問題	施	記の開設について、フェ	アッショ	ン関連産	産業で活	創業等を	志す方々	マへの効	果的な周	別知が必要	<b>そである</b> 。	
問	施	設の開設について、ファ	アッショ	ン関連産	産業で類	創業等を	志す方々	マへの効	果的な居	別知が必要	<b>そである</b> 。	
問題点	施	設の開設について、ファ	アッショ	ン関連産	産業で	創業等を	志す方々	マへの効	果的な周	別知が必要	そである。	
問題点・課	施	設の開設について、フ	アッショ	ン関連商	産業で	創業等を	志す方々	てへの効	果的な居	別知が必要	<b>そである</b> 。	
問題点	施	設の開設について、フ	アッショ	ン関連産	産業で	創業等を	志す方々	マへの効	果的な居	別知が必要	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
問題点・課題		i設の開設について、フ:	アッショ	ン関連産	産業で	創業等を	志す方々	マへの効	果的な居	別知が必要	である。	
問題点・課題		- 課題の改善策		ン関連産								<b>/</b>
問題点・課題		<ul><li>課題の改善策</li><li>令和元年度に取り</li></ul>	  組む	ン関連産	令	和元年度	ー に実施し	ut:		令和2年度	と 以降に取り	
問題点・課題		<ul><li>課題の改善策 令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li></ul>	 組む 容		令; 改	和元年度 z善内容 ł	に実施し	<i>、,t</i> c		令和2年原 具体i	き以降に取り 的な改善内3	容
問題点・課題	点施	・課題の改善策 令和元年度に取り 具体的な改善内 設オープンに向けて、。	組む 容 より多く(	の令和	令; 改 2年度	和元年度 z善内容 ね に効果的	に実施し および評 ]なイベン	<i>、た</i> 価 ントを開	催創業	令和2年月 具体的 支援施設	を以降に取り 的な改善内 入居者募集	容 時や施設
問題点・課題問題	点施ク	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。</li> <li>具体的な改善内。</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目し。</li> </ul>	組む 容 より多く( てもらえ	の 令和 る する	令 改 2年度 ため0	和元年度 z善内容 に効果的 ご予算措施	に実施し および評 ]なイベン 置を行っ	ノた 価 ントを開 た。(*	催創業	令和2年月 具体に 支援施設 プン後に	を以降に取り 的な改善内 入居者募集 ファッショ	容 時や施設 ン関連の
問題点・課題	点施クよ	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。</li> <li>具体的な改善内。</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目します。</li> <li>うなセミナーを開催し、</li> </ul>	組む 容 より多く( てもらえ	のる報和る元	令 改 2年度 ための 年度に	和元年度 で善内容 に効果的 ご予定し	に実施し および評 でなイベン でいたセ	ノた 価 ントを開 た。(*	催創業分けた	令和2年度 具体に 支援施設に ちへ向け	を以降に取り 的な改善内 入居者募集	容 時や施設 ン関連の
問題点・課題問題	点施クよの	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目して、</li> <li>うなセミナーを開催し、 PRを図る。</li> </ul>	組む 容 より多く( た 施設開	のる設和る元型	令 改 2年度 ための 年度に	和元年度 z善内容 に効果的 ご予算措施	に実施し および評 でなイベン でいたセ	ノた 価 ントを開 た。(*	催創業分けた	令和2年月 具体に 支援施設 プン後に	を以降に取り 的な改善内 入居者募集 ファッショ	容 時や施設 ン関連の
問題点・課題問題	点施クよの	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目して、</li> <li>うなセミナーを開催し、 PRを図る。</li> </ul>	組む 容 より多く( た 施設開	のる設和る元型	令: 改 2年度 ための 年度に コロブ	和元年度 な善内容 に効果的 ご予定し での影響	に実施し および評 ひなイベン 置を行っていたセ で中止)	ンた 価 ントを開 た。( <sup>4</sup> ミナー(	催 創業 オー大た して	令和2年度 東体に 支援施設に 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない には には には には には には には には には には	を以降に取り 的な改善内 入居者募集 ファッショ たPRイベン	容 時や施設 ン関連の トを実施
問題点・課題問題	点 施クよの 最	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内。</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目しる。</li> <li>うなセミナーを開催し、</li> <li>PRを図る。</li> <li>はな施設運営方法を決定</li> </ul>	組む 容 よりも 施 し、 定 し、 た	のる設和新創業	令される 2年度の 2年度の 支 支 大 兵 コ 天 援 フ 援 が 関 り で 、 が り に り 、 り に り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、	和元年度 で善内容 に効果的 ご予定し	に実施し および評 ででで でで 業務委	ンた 価 ントを開 シた。 ミナーに 託事業者	催 創業一たて して 域	令和2年度 支援 支援 支援 を向 で で で で で で で で の で の で の で の で の で の	を 以降に取り	時や施設・対象を実施・連産業の
問題点・課題問題	点施クよの最工	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目して、</li> <li>うなセミナーを開催し、 PRを図る。</li> </ul>	組む 容 よも お り ら え 開 し 、 定 連 連 連 連 連 連	のる設 つのる設 和る元型 業び	令さ 3年度 <i>0</i> 2年度ロ 援作= 対側に対	和元年度な善内容はに対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に	に実施しる およびすることでで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	ンた 価 ントを開 <sup>く</sup> た。ナー 事業程 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催息オ人し地集	令和2年度 支プちい 支援ンへく の寄 フ与す	を以降に取り 的な改善内 入居者募集 ファッショ たPRイベン	容時 時関実 産産よう、
問題点・課題問題	点施クよの最工	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目して、</li> <li>うなセミナーを開催し、</li> <li>PRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決りる。</li> <li>援に適した運営事業者</li> </ul>	組む 容 よも お り ら え 開 し 、 定 連 連 連 連 連 連	のる設 つのる設 和る元型 業び	令さ 3年度 <i>0</i> 2年度ロ 援作= 対側に対	和元年度な善内容はに対象を表現である。本のの実施では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	に実施しる およびすることでで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	ンた 価 ントを開 <sup>く</sup> た。ナー 事業程 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催令は 割ましたで 域積営	令和2年度 支プちい 支援ンへく の寄 フ与す	き以降に取り 対な改善内 スフた シ施議 まシベ ンと重 と重なる	容時 時関実 産産よう、
問題点・課題問題	点施クよの最工支	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目して、</li> <li>うなセミナーを開催し、</li> <li>PRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決りる。</li> <li>援に適した運営事業者</li> </ul>	組む 容 よも お り ら え 開 し 、 定 連 連 連 連 連 連	のる設 切のる設 別の 割及業	令さ 3年度 <i>0</i> 2年度ロ 援作= 対側に対	和元年度な善内容はに対象を表現である。本のの実施では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	に実施しる およびする でで 業系の ・ 工	ンた 価 ントを開 <sup>く</sup> た。ナー 事業程 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催令は 割ましたで 域積営	令和2年度 援ンへく の寄業 にけ アすと	き以降に取り 対な改善内 スフた シ施議 まシベ ンと重 と重なる	容時別を一様の一様のである。
問題点・課題問題	点施クよの最工支	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目して、</li> <li>うなセミナーを開催し、</li> <li>PRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決りる。</li> <li>援に適した運営事業者</li> </ul>	組む 容 よも お り ら え 開 し 、 定 連 連 連 連 連 連	のる設 切のる設 別の 割及業	令さ 3年度 <i>0</i> 2年度ロ 援作= 対側に対	和元年度な善内容はに対象を表現である。本のの実施では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	に実施しる およびする でで 業系の ・ 工	ンた 価 ントを開 <sup>く</sup> た。ナー 事業程 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催令は 割ましたで 域積営	令和2年度 援ンへく の寄業 にけ アすと	き以降に取り 対な改善内 スフた シ施議 まシベ ンと重 と重なる	容時 時関実 産産よう、
問題点・課題問題	点施クよの最工支	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目して、</li> <li>うなセミナーを開催し、</li> <li>PRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決りる。</li> <li>援に適した運営事業者</li> </ul>	組む 容 よも お り ら え 開 し 、 定 連 連 連 連 連 連	のる設 切のる設 別の 割及業	令さ 3年度 <i>0</i> 2年度ロ 援作= 対側に対	和元年度な善内容はに対象を表現である。本のの実施では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	に実施しる およびする でで 業系の ・ 工	ンた 価 ントを開 <sup>く</sup> た。ナー 事業程 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催令は 割ましたで 域積営	令和2年度 援ンへく の寄業 にけ アすと	き以降に取り 対な改善内 スフた シ施議 まシベ ンと重 と重なる	容時 時関実 産産よう、
問題点・課題問題	点施クよの最工支	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目して、</li> <li>うなセミナーを開催し、</li> <li>PRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決りる。</li> <li>援に適した運営事業者</li> </ul>	組む 容 よも お り ら え 開 し 、 定 連 連 連 連 連 連	のる設 切のる設 別の 割及業	令さ 3年度 <i>0</i> 2年度ロ 援作= 対側に対	和元年度な善内容はに対象を表現である。本のの実施では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	に実施しる およびする でで 業系の ・ 工	ンた 価 ントを開 <sup>く</sup> た。ナー 事業程 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催令は 割ましたで 域積営	令和2年度 援ンへく の寄業 にけ アすと	き以降に取り 対な改善内 スフた シ施議 まシベ ンと重 と重なる	容時 時関実 産産よう、
問題点・課題問題	点 施クよの 最工支る	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内。</li> <li>設オープンに向けて、。 リエイター等に注目し、</li> <li>うなセミナーを開催し、</li> <li>PRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決済。</li> <li>援に適した運営事業者を</li> </ul>	組む 容 よも お り ら え 開 し 、 定 連 連 連 連 連 連	のる設 切のる設 別の 割及業	令さ 3年度 <i>0</i> 2年度ロ 援作= 対側に対	和元年度な善内容はに対象を表現である。本のの実施では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	に実施しる およびする でで 業系の ・ 工	ンた 価 ントを開 <sup>く</sup> た。ナー 事業程 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催令は 割ましたで 域積営	令和2年度 援ンへく の寄業 にけ アすと	き以降に取り 対な改善内 スフた シ施議 まシベ ンと重 と重なる	容時 時関実 産産よう、
問題点・課題問題の「」(②)(③)(他	点 施クよの 最工支る	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>設オープンに向けて、。</li> <li>リエイター等に注目して、</li> <li>うなセミナーを開催し、</li> <li>PRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決りる。</li> <li>援に適した運営事業者</li> </ul>	組む 容 よも お り ら え 開 し 、 定 連 連 連 連 連 連	のる設 切のる設 別の 割及業	令される 2年度 <i>0</i> 2年め度ロー接作プローク をプローを 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	和元年度な善内容はに対象を表現である。本のの実施では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	に実施しる およびする でで 業系の ・ 工	ンた 価 ントを開 <sup>く</sup> た。ナー 事業程 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催命は 野事 一たて 域積営営	令和2年時 接ンへく の寄業法 を検証を向。 フラ者を	き以降に取り 対な改善内 スフた シ施議 まシベ ンと重 と重なる	容時 時関実 産産よう、
問題点 · 課題   題	点 施クよの 最工支る	・課題の改善策	組むるというでは、おは、おは、おは、おは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	のる設りの名数の名が表現である。	令さる 2年度の 度口 接作 で が 度口 接作 で が た の で の で の き の き の き の き の き の き の も の も の も の も	和元年度な (三条) (三条) (三条) (三条) (三条) (三条) (三条) (三条)	に実施しまが、	た	催命は 皆事 選一たて 域積営営	令和2年度支プちい へに事方援ンへく の寄業法0	<b>と 以降に取りない。 と から 大フた から 満まり から ボーン から できる から はます から 関ななる から 関ななる は から は か</b>	容 時や関を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
問題点 · 課題   題	点 施クよの 最工支る	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>記サープンに向けて、。</li> <li>はりなせる一等に開催し、かけるで図る。</li> <li>適な施設運営方法を決定がある。</li> <li>援に適した運営事業者を表した。</li> <li>(実施 2</li> <li>ファッション関連の創意</li> </ul>	組む おおお おおお おお おお お は お な ま な ま な ま な ま で と 東 選 を と と 乗 を かま	のる設 リの 令す和新 創及業た 未 当	令さる 2年度の 度口 接作 で が 度口 接作 で が た の で の で の き の き の き の き の き の き の も の も の も の も	和元年度な (三条) (三条) (三条) (三条) (三条) (三条) (三条) (三条)	に実施しまが、	た	催命は 皆事 選一たて 域積営営	令和2年度支プちい へに事方援ンへく の寄業法0	<b>と 以降に取りない。 と から 大フた から 満まり から ボーン から できる から はます から 関ななる から 関ななる は から は か</b>	容 時や関を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
問題点・課題問題の「」(②)(③)(他	点 施クよの 最工支る	・課題の改善策	組む おおお おおお おお おお お は お な ま な ま な ま な ま で と 東 選 を と と 乗 を かま	のる設 リの 令す和新 創及業た 未 当	令さる 2年度の 度口 接作 で が 度口 接作 で が た の で の で の き の き の き の き の き の き の も の も の も の も	和元年度な (三条) (三条) (三条) (三条) (三条) (三条) (三条) (三条)	に実施しまが、	た	催命は 皆事 選一たて 域積営営	令和2年度支プちい へに事方援ンへく の寄業法0	<b>と 以降に取りない。 と から 大フた から 満まり から ボーン から できる から はます から 関ななる から 関ななる は から は か</b>	容 時や関を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
問題点・課題   題   ①   ②   ③   他区の実	点 施クよの 最工支る 【キ	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内。</li> <li>記計一プンに向けて、。</li> <li>りなせる一等に開催し、</li> <li>かPRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決定がある。</li> <li>援に適した運営事業者を</li> <li>(実施 2</li> <li>ファッション関連の創ます。</li> <li>イスベーション)(令和2000年)</li> </ul>	組む おおお おお おお は お は な ま く く え ま が ま ら 設	のる設りの名数である元型業で者。	令さ 2年め度口 接作プ 施 区 (	和元年度 を	に実施してで 営・ルにおいて 業工に といってで 業工に といった 業 で とって オール といった で カージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た レた。ナー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催命は 皆事 明 ジンス 域積営営 パンス は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	令和2年度支プちい へに事方援ンへく の寄業法0	<b>と 以降に取りない。 と から 大フた から 満まり から ボーン から できる から はます から 関ななる から 関ななる は から は か</b>	容 時や関を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
問題点・課題   題   ①   ②   ③   他区の実   議	点 施クよの 最工支る 【キ	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内:</li> <li>記サープンに向けて、。</li> <li>はりなせる一等に開催し、かけるで図る。</li> <li>適な施設運営方法を決定がある。</li> <li>援に適した運営事業者を表した。</li> <li>(実施 2</li> <li>ファッション関連の創意</li> </ul>	組む おおお おお おお は お は な ま く く え ま が ま ら 設	のる設りの名数である元型業で者。	令さ 2年め度口 接作プ 施 区 (	和元年度 を	に実施してで 営・ルにおいて 業工に といってで 業工に といった 業 で とって オール といった で カージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た レた。ナー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催命は 皆事 明 ジンス 域積営営 パンス は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	令和2年度支プちい へに事方援ンへく の寄業法0	<b>と 以降に取りない。 と から 大フた から 満まり から ボーン から できる から はます から 関ななる から 関ななる は から は か</b>	容 時や関を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
問題点・課題   題   ①   ②   ②   他区の実   議会	点 施クよの 最工支る 【キ	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内。</li> <li>記計一プンに向けて、。</li> <li>りなせる一等に開催し、</li> <li>かPRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決定がある。</li> <li>援に適した運営事業者を</li> <li>(実施 2</li> <li>ファッション関連の創ます。</li> <li>イスベーション)(令和2000年)</li> </ul>	組む おおお おお おお は お は な ま く く え ま が ま ら 設	のる設りの名数である元型業で者。	令さ 2年め度口 接作プ 施区 (	和元年度 を	に実施してで 営・ルにおいて 業工に といってで 業工に といった 業 で とって オール といった で カージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た レた。ナー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催命は 皆事 明 ジンス 域積営営 パンス は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	令和2年度支プちい へに事方援ンへく の寄業法0	<b>と 以降に取りない。 と から 大フた から 満まり から ボーン から できる から はます から 関ななる から 関ななる は から は か</b>	容 時や関を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
問題点・課題   題   ①   ②   一	点 施クよの 最工支る 【キ	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内。</li> <li>記計一プンに向けて、。</li> <li>りなせる一等に開催し、</li> <li>かPRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決定がある。</li> <li>援に適した運営事業者を</li> <li>(実施 2</li> <li>ファッション関連の創ます。</li> <li>イスベーション)(令和2000年)</li> </ul>	組む おおお おお おお は お は な ま く く え ま が ま ら 設	のる設りの名数である元型業で者。	令さ 2年め度口 接作プ 施区 (	和元年度 を	に実施してで 営・ルにおいて 業工に といってで 業工に といった 業 で とって オール といった で カージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た レた。ナー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催命は 皆事 明 ジンス 域積営営 パンス は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	令和2年度支プちい へに事方援ンへく の寄業法0	<b>と 以降に取りない。 と から 大フた から 満まり から ボーン から できる から はます から 関ななる から 関ななる は から は か</b>	容 時や関を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
問題点・課題   題   ①   ②   ②   他区の実   議会	点 施クよの 最工支る 【キ・	<ul> <li>課題の改善策</li> <li>令和元年度に取り。 具体的な改善内。</li> <li>記計一プンに向けて、。</li> <li>りなせる一等に開催し、</li> <li>かPRを図る。</li> <li>適な施設運営方法を決定がある。</li> <li>援に適した運営事業者を</li> <li>(実施 2</li> <li>ファッション関連の創ます。</li> <li>イスベーション)(令和2000年)</li> </ul>	組む おおお おお おお は お は な ま く く え ま が ま ら 設	のる設りの名数である元型業で者。	令さ 2年め度口 接作プ 施区 (	和元年度 を	に実施してで 営・ルにおいて 業工に といってで 業工に といった 業 で とって オール といった で カージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た レた。ナー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	催命は 皆事 明 ジンス 域積営営 パンス は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	令和2年度支プちい へに事方援ンへく の寄業法0	<b>と 以降に取りない。 と から 大フた から 満まり から ボーン から できる から はます から 関ななる から 関ななる は から は か</b>	容 時や関を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

事務	事	業コード		06-02-2	9					✓協働	〇業	.務 〇	財務	〇人事
事務				創業支援	量力フェ <sup>2</sup>	<del></del> 事業		部記		業経済部経常				石崎 457
車務国	巨型	 €を構成すん	て小車	<b>学</b> 夕	01-0	09-04	創業支持	<u> </u> 担ヨ 援カフェ		<u> </u>		/YJ illyK		407
		kを構成り/ 算事業コ <del>ー</del>												
		業の種類				年度 〇			〇建	設事業	O	それ以外	外の継	続事業
開始終期				和〇平	成 ● 令	3和 2 令和3		根拠 法令等						
実施				<u>♥</u> 無 :令基準内	〇都				計画	区分	〇計	画	● 非	計画
ŕ	可	女評価	分里	-	産業	革新都市	ī							
		<b>美体系</b>	政策 施第			ある地域 新事業								
			<b>針</b>	による廃	業による	が地域活え	カの低下	が懸念さ		兄を踏まえ、				
目白	勺									人材発掘のた を流の中か				
		れる空間	創制出	を図り、	更なる倉	削業を喚起								
対象		創業希望	₫者、	第二創業	希望者	等								
等		995												
		17.10	设場所 Ⅱ区立	日暮里地	域活件化	∽施設内3	・	7イエと <b>う</b>	<b>華用</b> )					
		2 運用	用形態							344833 ED 15 6				
				時間程度 ネータの						※曜日やF 可用者同士の				
内容	<b>?</b>	■ 利用	目者の:	集客や関						開催 (外部:				
		3 運営	『形態 J <b>ー</b> キ	ングスペ	<b>一</b> スの選	☑営実績 <i>!</i>	があり、	豊富なノ	ウハウる	を持つ専門	事業者へ	委託。		
		4 その	)他										ョヘル.	L8
				は、3階0 ような場						大規模な集	会寺で	陷会議主	Ĕ至1本/	טי
		令和 2年				事業者の	決定(倉	業支援	施設の運	営と一体的	に委託)			
		令和 3年	₹2月頃	頁(予定)	事業	開始								
<b>6</b> Σ .1	-													
経過	<u>b</u>													
			^.r. alle	· · = - ±		· - 1		*- **	. ,,	die Abb	*			
必要	性									事業承継が				
少女	II									ジネス創出				,,,,
宝板	<del>/</del>	(2一部		)		(直営の均				勤 〇 臨時	職員 )			
実施方法				性化施設 度:(株)ツ		支援施設	の運営と	:併せて!	専門事業	者へ委託。				
		(4十)又	~ 0+	支 · \fin\ /	ソソエ/									
		中水中米	- A of 1	四 1. <del>1.</del> Z i	比梅夕			指標の推	推移			+15.1金.1~.目目	ーフョ	¥ no
指		争務争未	:0) 成	果とする!	百慓石	29年度	30年度	元年度	2年度	目標値		指標に関	] 9 බ ඩ	足9月
	F			14.5					見込み	(8年度)	2年度は	今和3年2、	3月の	2か月間の
	(l	年間延べ	利用石	数					120	1400	見込み	19 18	,.	
標	2													
	3													
	<u> </u>		事業の	の分類										
	2	<del></del>	サポッ	3年月	<del></del>	-		3	分類につ	いての説明	●意見	等		
										ス創出の可				域経済 •
重	点	的に推進		重点的に	こ推進	活力の <sup>-</sup> 	一層の促	進が期待	<b>fできる</b> 。	ことから、	重点的に	推進する	5.	

No2 (単位:千円)

	は存むなるまな								
	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額	額							_	5, 350
	額(2年度は見込み)							_	5, 350
	事項名(2年度は見込	<i>A</i> .)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
実		<i>()</i>	20千皮	27千尺	20千尺	20千尺	00千皮	九十尺	
績	年間延べ利用者数		-		<u> </u>		·	1 -	120
の									
推									
移				1			Ì	1	
	■ 決算の内訳								
广开				<b>今和二左</b> 薛	(油質)	- I	<b>今和</b> 2	左	
h	平成30年度(決算)			<u>令和元年度</u>				年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	額(千円)		主な事項	金額 (千円)
	_		_			需用		弁、事務用品	200
						委託	料 運営委	託	2, 750
						備品購	入費 初度調	弁	2, 400
							_		
						-	-		-
								(単位	注:千円)
	勘定科目	30年度	元年	度 差額	j """"""""""""""""""""""""""""""""""""	定科目	30年度		差額
	給与関係費	√√ ⊤ <i>i</i> 又		896	地方		50 FIX	70 1 12	스타 나카(
				030					
<i>1</i> =	物件費					支出金			
行	維持補修費				おりませ	出金			
政	行 扶助費					金及び負担金			
コス	政補助費等					料及び手数料			
	費減価償却費				一入一人その				
-									
計	用 不納欠損・貸倒引当金繰入額					収入合計(a)	_	0	(
算	賞与 退職給与引当金繰入額			53	行政収支差	<b>≜額(a)−(b)=(c)</b>	(	0 ▲ 949	C
書	その他行政費用				金融収	支差額(d)			
盲	行政費用合計(b)		0	949		<b></b>		0 ▲ 949	(
	特別費用(g)			0 10	特別収		`	0 = 010	
	付別負用(8)				<b>村 / 川 4</b> X	<b>人</b> (1)			_
	4+ Di de + + + ex (c) (.) (l.)		0	Δ.	O 1/ #0 de +	- <del>**</del>			
 備 考	特別収支差額(f)-(g)=(h) 給与係費が行政費用のス みを行ったため、物件費(					差額(e)+(h) であり、元		0 <mark>  ▲ 949 </mark> 旦当職員が準 <sup>・</sup>	<mark>(</mark> 備事務の
考 問題点 : 課	給与係費が行政費用のス	(運営委託 こおける、	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	D2年度から を出はない。 ス創出には	の新規事業 は利用者同:	であり、元 Lのマッチ:	年度は、担	旦当職員が準	備事務の
考 問題点 課題	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース)り多くの利用者の集客と、	運営委託 こおける それに	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	ロ2年度から え出はない。 へス創出には 動切なマッチ	の新規事業 は利用者同コ ・ングが重要	であり、元 上のマッチ: 要である。	年度は、担 ングが一つ	旦当職員が準のポイントで	請事務の ҈あり、よ
考 問題点 課題	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース) り多くの利用者の集客と、 点・課題の改善策 令和元年度に取り	運営委託 こおける それに さんに さんしい はむ	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	ロ2年度から 記出はない。 ス創出には 動切なマッチ	の新規事業は利用者同二・シングが重要に実施した	であり、元 上のマッチ: 要である。	年度は、担 ングが一つ 令和2年	担当職員が準のポイントで	備事務のごあり、よ
考 問題点 課題	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース)り多くの利用者の集客と、	運営委託 こおける それに さんに さんしい はむ	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	ロ2年度から 記出はない。 ス創出には 動切なマッチ	の新規事業 は利用者同コ ・ングが重要	であり、元 上のマッチ: 要である。	年度は、担 ングが一つ 令和2年	旦当職員が準のポイントで	備事務のごあり、よ
考 問題点 課題	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース) り多くの利用者の集客と、 点・課題の改善策 令和元年度に取り	運営委託 こおける それに さんに さんしい はむ	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	ロ2年度から 記出はない。 ス創出には 動切なマッチ	の新規事業は利用者同二・シングが重要に実施した	であり、元 Eのマッチ: 要である。	年度は、担 ングが一つ 令和2年 具体	担当職員が準のポイントで のポイントで 度以降に取り な改善内容	備事務の ごあり、よ ごあり いよ ごあり ごあり いよ
考 問題点 課題	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース) り多くの利用者の集客と、 点・課題の改善策 令和元年度に取り	運営委託 こおける それに さんに さんしい はむ	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	ロ2年度から 記出はない。 ス創出には 動切なマッチ	の新規事業は利用者同二・シングが重要に実施した	であり、元	年度は、担 ングが一つ 令和2年 県内 運営受託者	理当職員が準のポイントで 度以降に取り なので、連携し の効率的・効	備事務の こあり、よ リスロック はむない。 、利用者
考問題点・課題問題	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース) り多くの利用者の集客と、 点・課題の改善策 令和元年度に取り	運営委託 こおける それに さんに さんしい はむ	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	ロ2年度から 記出はない。 ス創出には 動切なマッチ	の新規事業は利用者同二・シングが重要に実施した	であり、元	年度は、担 レグが一つ 令和2年 県営受託者。	理当職員が準のポイントで 度以降に取り なので、連携し の効率的・効	備事務の こあり、よ リスロック はむない。 、利用者
考問題点・課題問題	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース) り多くの利用者の集客と、 点・課題の改善策 令和元年度に取り	運営委託 こおける それに さんに さんしい はむ	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	ロ2年度から 記出はない。 ス創出には 動切なマッチ	の新規事業は利用者同二・シングが重要に実施した	であり、元 Lのマッチン E更である。	年度は、担 レグが一つ 令和2年 県営受託者。	理当職員が準のポイントで 度以降に取り なので、連携し の効率的・効	備事務の ごあり、よ リスタ 、利用者
考 問題点・課題 問題 ①	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース) り多くの利用者の集客と、 点・課題の改善策 令和元年度に取り	運営委託 こおける それに さんに さんしい はむ	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	ロ2年度から 記出はない。 ス創出には 動切なマッチ	の新規事業は利用者同二・シングが重要に実施した	であり、元 Lのマッチン E更である。	年度は、担 レグが一つ 令和2年 県営受託者。	理当職員が準のポイントで 度以降に取り ないなに連携し の効率的・効	備事務の こあり、よ リンロス リ組む 、利用者
考   問題点・課題   問題     ①   ②     ②   ③	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース) り多くの利用者の集客と、 点・課題の改善策 令和元年度に取り	運営委託 こおける それに さんに さんしい はむ	める。令和 E料) 等の支 、新ビジネ	7年度から 7日ではない。 7日ではない。 7日では、 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日で	の新規事業は利用者同二・シングが重要に実施した	であり、元 Lのマッチン E更である。	年度は、担 レグが一つ 令和2年 県営受託者。	理当職員が準のポイントで 度以降に取り ないなに連携し の効率的・効	備事務の ごあり、よ リスタ 、利用者
考     問題点・課題     問題       ①     ②	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース)り多くの利用者の集客と、 ・課題の改善策 ・令和元年度に取り編集を ・	<ul><li>運営委託</li><li>こおそれにご</li><li>組容</li></ul>	がる。 令のする ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7年度から 7日ではない。 7日ではない。 7日では、 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日で	の新規事業に対した。	であり、 いってあり、 いってある。 に 選集に	年度は、担づが一つでは、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域	型当職員が準のポイントで 度以降改連携の との対容に善内。 との対容を必要がある。	備事務の ごあり、よ リスタ 、利用者
考     問題点・課題     問題点・課題     題     ①     ②     ③     他区の実     議	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース)り多くの利用者の集客と、	<ul><li>運営委託</li><li>こおそれにご</li><li>組容</li></ul>	がる。 令のする ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7年度から 7日ではない。 7日ではない。 7日では、 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日で	の新規事業に対した。	であり、 いってあり、 いってある。 に 選集に	年度は、担づが一つでは、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域	型当職員が準のポイントで 度以降改連携の との対容に善内。 との対容を必要がある。	備事務の ごあり、よ リスタ 、利用者
考     問題点・課題     問題点・課題     題     ①     ②     ③     他区の実     議	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース)り多くの利用者の集客と、	<ul><li>運営委託</li><li>こおそれにご</li><li>組容</li></ul>	がる。 令のする ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7年度から 7日ではない。 7日ではない。 7日では、 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日で	の新規事業に対した。	であり、 いってあり、 いってある。 に 選集に	年度は、担づが一つでは、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域	型当職員が準のポイントで 度以降改更に との数率的・効	備事務の こあり、よ リンロス リ組む 、利用者
考     問題点・課題     問題点・課題     題     ①     ②     ③     他区の実     議	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース)り多くの利用者の集客と、	<ul><li>運営委託</li><li>こおそれにご</li><li>組容</li></ul>	がる。 令のする ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7年度から 7日ではない。 7日ではない。 7日では、 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日で	の新規事業に対した。	であり、 いってあり、 いってある。 に 選集に	年度は、担づが一つでは、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域	型当職員が準のポイントで 度以降改更に との数率的・効	備事務の こあり、よ リンロス リ組む 、利用者
考問題点・課題問題点・課題①②③他区の実議会質問	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース)り多くの利用者の集客と、	<ul><li>運営委託</li><li>こおそれにご</li><li>組容</li></ul>	がる。 令のする ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7年度から 7日ではない。 7日ではない。 7日では、 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日で	の新規事業に対した。	であり、 いってあり、 いってある。 に 選集に	年度は、担づが一つでは、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域	型当職員が準のポイントで 度以降改更に との数率的・効	備事務の こあり、よ リンロス リ組む 、利用者
考     問題点・課題     問題点・課題     題     ①     ②     ③     他区の実	給与係費が行政費用のみを行ったため、物件費(コワーキングスペース)り多くの利用者の集客と、	<ul><li>運営委託</li><li>こおそれにご</li><li>組容</li></ul>	がる。 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	7年度から 7日ではない。 7日ではない。 7日では、 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日では 7日で	の新規事業に対した。	であり、 いってあり、 いってある。 に 選集に	年度は、担づが一つでは、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域	型当職員が準のポイントで 度以降改更に との数率的・効	備事務の ごあり、よ リスタ 、利用者

事務	事	業コード		06-02-							∕ ○協働		_	財務	O 人事
事務	事	業名		クラウ 事業	ドフ			活用支援	担当	者名 髙			課長名 内線		石﨑 457
		集を構成する 算事業コー			E	01-0	9-03	クラウ	ドファン	ディング	が活用支援	事業			
主怒ュ	重	業の種類	▲ 新	担重業	(	▲ 2台	F度 O	元任度	)	○強	設事業	C	それ以外	人の絆	結事業
開始	-			<del>加事末</del> 和 <mark>○ □</mark>				年度	根拠		<del>図する</del> 区クラウト				1,0 ,
終期	设	定		〇無			令和3	年度	法令等		交付要綱				
実施	基	準	〇法	令基準I				●区独	自基準	計画	区分	O if	画	● 非	計画
行	Ŧ IE	<b></b>	分里				革新都市								
		<b>美体系</b>	政策 施領	-				経済づく							
		区内山								咨全調;	達や販路開	拓等を図	1スために	- 17	ラウド
l											リ、新製品				
目的	9	業の振興													
対象:	-										図る区内中				
										(購入	型、寄付型	)を利用	目した際に	二、当	該サービ
		ス運営事								ユモ粉は	料を支払う	) あがす	* 1左 7左 45 劫	3.無似 开山	(日捷田
		達額に達									46 X IA J	/ <b>X</b> U <del>x</del>	こり四カ田小り刊	XEMI	(口1示例
				- 27 -		2211		,	,,,,,,	•					
内容	3	= 1110 110 1	= '								ト:2/3				
		【上限額		般ルー	h : 2	00∓F	円、地域	産業活性	E化バー	トナール	· <b>─</b> ト:300	千円			
		※ 地域全	≥高中機Ⅰ	関連推奨	り課題	百解決	- 支採車当	堂 (日利	き講習)	で認定し	した地域産	<b>業活性</b> 化	パートナ	- <b>—</b> თ	重かる音
											うん心る性 寺例枠を設		,, ,	٠,	Z O O H
		※同一年													
		令和2年	度	補助事	業開	始									
		令和6年	_	補助事			予定)								
			資金	調達方法	去に艮	する	一定の習	8発効果:	が現れる	と考える	る5年後を	事業年限	<b>きとしたサ</b>	トンセ	ット方式
		とする。													
経過	a														
7生地	민														
\ <del></del> .											業家等に対				
必要怕	生	フワトノ  を補完す			_					寺の割り	出に繋がる	可能性を	それめてお	らり、	吉顆性 <del>寺</del>
										- II W	#1 0 =5 =1				
実施	ħ	( <mark>1直営</mark>		)		(	直宮の均	場合 ●	常勤	〇 非常	勤 🔾 臨時	職員 )			
方法															
									指標の推	移					
11-		事務事業	の成績	果とする	指標	名			I		口描法	4	指標に関	する話	说明
指							29年度	30年度	元年度	2年度  見込み	目標値(8年度)				
												- 今和6年	度(最終年	度) (= :	おける補助
	(1	補助金申	請件数							6	(	金申請作		12/10	1317 @ Im P31
1.77	2														
標	V														
	3														
			事業の	)分類											
		<del></del>	尹禾(		- 度				3	分類につ	いての説明	月・意見	等		
		4十尺		<u>о</u> ц	- 区		創業 1	担になる	<b>重</b>	ニートつ・	て資金調達	の名样』	- が図わ 2	5 ±. か	である
											□貝並調理 達方法であ				
重	点	的に推進		重点的	に推	進					は高く、重				

No2 (単位:千円)

											(単1	立:千円)
予算	<ul><li>決算額等の推移</li></ul>		26年度	2	7年度	28	年度	29年度	3	0年度	元年度	2年度
予算	額										_	1, 500
	<u>・・・・</u> 額(2年度は見込み)											1, 500
-		<b>7</b> , \	26年度	2	7年度	20	年度	29年度	2	0年度		2年度
実	事項名(2年度は見込	<i>ማ)</i>	20平皮		/平皮	20	干及	Z9平皮	<u> </u>	0平皮	元年度	
績	補助金申請件数				_			,		_	-	6
の												
推												
移				_					1			
	- 油質の中記			_								
<u> </u>	<ul><li>決算の内訳</li></ul>			A == :		/ <b>1.1.</b> /m/	- \			A 7-04		
	平成30年度(決算)			令和:	元年度						F度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節		主な事	項	金割	〔千円〕 負	節	主	な事項	金額 (千円)
	-		-	-				補助	加金	手数料衫	甫助	1, 500
								1113	-			-,
								-	-			
			-					-				
											( 出	는 . T III \
	#4.65 * 4.55	00		<del>-</del>	34 A.T		441 -		-	0 = =		<u> 立:千円)</u>
	勘定科目	30年度	元年		差額			定科目	3	0年度	元年度	差額
	給与関係費			448			地方					
	物件費					1.	国庫	<u>支出金</u>				
行	維持補修費					<b>一</b> 行	都支:					
政	行扶助費			$\rightarrow$		一政		<u>□ ≖</u> È及び負担st	_			
	付   大 切 貝			$\rightarrow$		——45						
	政補助費等					į		及び手数	4			
	費減価償却費						` その	他				
_	用不納欠損。貸倒引当金繰入額							又入合計(a)	)	0	0	0
āΤ	賞与•退職給与引当金繰入額			27		<i>4</i> =		額(a)-(b)=(c		0	<b>▲</b> 475	0
算				21					/	U	<b>4</b> /3	U
書	その他行政費用			اليب				支差額(d)				
	行政費用合計(b)		0	475		_		額(c)+(d)=(e	)	0	<b>▲</b> 475	0
	特別費用(g)					特	別収え	<b>\</b> (f)				
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0				差額(e)+(h)	)	0	<b>▲</b> 475	0
	給与関係費が行政費用の	D 士 出 <i>本</i> .			左 由 かご							<b>活助</b>
備	■ 祝子宮は負が11以負用0   付要綱整備等の準備事務の								<i>)</i> L4	一反は、	担ヨ蝦貝が	們助並又
考	1  女神笠哺寺の卒哺争物	U07 & 11	J 121201	們巧	ガリザツ	ΧШ	1446	• 0				
問題点 : 課題	面がある。一方、多数のま品・サービスの創出に繋が ラウドファンディングは、 ての取引形態であることが	がる可能性 我が国っ	生を秘め <sup>っ</sup> では、平 <sub>月</sub>	ており 或23年	J、地域 F前後に	産業 誕生	の活性 した比	化に重要 対 験的新し	なツ	ールの-	<del>-</del> つである。	また、ク
問題	上一田町の北羊佐											
	点・課題の改善策											
	I	組ま;		令 利	0元年度	に実	施 L .t-		4	↑和2年月	き以隆に 取	り組む
	令和元年度に取り	_			ロ元年度 善内容は			:	ŕ		度以降に取 的な改善内	· . · · · ·
	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_			ロ元年度 善内容は					具体	的な改善内	容
	令和元年度に取り	_	なし					· ·	資金記	具体I 周達だけ	的な改善内 でなく、デ	容 ストマー
	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					Name of the state	資金i ケティ	具体! 周達だけ ィングの	的な改善内 でなく、デ 機能も備え	容 ストマー るクラウ
1	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
1	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体! 周達だけ ィングの	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
1	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
1	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
1	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
2	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
2	令和元年度に取り 具体的な改善内?	_	なし					ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
②	令和元年度に取り着 具体的な改善内容 なし	_		改	善内容を			ij A	資金i ケティ ドファ	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
②	令和元年度に取り着 具体的な改善内容 なし	_	なし	改			<b>於評価</b>	ij A	資金i ケティ ドファ	具体I 周達だけ イングの アンディ	的な改善内 でなく、デ 機能も備え ングの有効	容 ストマー るクラウ
②	令和元年度に取り着 具体的な改善内容 なし	容 -		改	善内容を	S & C	<b>於評価</b>	Ĥ	資金i ケティ ドファ	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がいく。	容 ストマー るクラウ
②	令和元年度に取り着 具体的な改善内容 なし	容 -		改	善内容を	S & C	<b>於評価</b>	Ĥ	資金i ケティ ドファ	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がいく。	容 ストマー るクラウ
②	令和元年度に取り着 具体的な改善内容 なし	容 -		改	善内容を	S & C	<b>於評価</b>	Ĥ	資金i ケティ ドファ	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 ストマー るクラウ
2	令和元年度に取り着 具体的な改善内容 なし	容 -		改	善内容を	S & C	<b>於評価</b>	Ĥ	資金i ケティ ドファ	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 ストマー るクラウ
② ③ 他区の実	令和元年度に取り和 具体的な改善内容 なし (実施 0	<b>区</b>	未実施	改	善内容 #	<u>∑</u>	· 产評価	不明	資金記 デテフ: 内に F	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 ストマー るクラウ
②   ③   他区の実     議	令和元年度に取り利 具体的な改善内容 なし (実施 0	<b>区</b>	未実施	改	善内容 #	<u>∑</u>	· 产評価	Ĥ	資金記 デテフ: 内に F	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 ストマー るクラウ
②   ③   他区の実     議	令和元年度に取り利 具体的な改善内容 なし (実施 0	<b>区</b>	未実施	改	善内容 #	<u>∑</u>	· 产評価	不明	資金記 デテフ: 内に F	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 ストマー るクラウ
②   ③   他区の実     議	令和元年度に取り利 具体的な改善内容 なし (実施 0	<b>区</b>	未実施	改	善内容 #	<u>∑</u>	· 产評価	不明	資金記 デテフ: 内に F	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 ストマー るクラウ
② ③ 施状況 況(要旨 他区の実 議会質問	令和元年度に取りれ 具体的な改善内容 なし (実施 0 令和元年度9月会議 創業	<b>区</b>	未実施	改	善内容 #	<u>∑</u>	· 产評価	不明	資金記 デテフ: 内に F	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 ストマー るクラウ
② ③ 他区の実	令和元年度に取りれ 具体的な改善内容 なし (実施 0 令和元年度9月会議 創業	<b>区</b>	未実施	改	善内容 #	<u>∑</u>	· 产評価	不明	資金記 デテフ: 内に F	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 ストマー るクラウ
②③施状況況(要旨次3他区の実議会質問	令和元年度に取りれ 具体的な改善内容 なし (実施 0 令和元年度9月会議 創業	<b>区</b>	未実施	改	善内容 #	<u>∑</u>	· 产評価	不明	資金記 デテフ: 内に F	具体 順達だけの イングディアンディア R して	的な改善内 でなく、 で能がの で機がい の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	容 ストマー るクラウ

事務事業コード 06-02-31																
事務事	<b>事業名</b>	Ŧ	ノづく	り企業は	地域共生:	推進事業		课名 <mark>産</mark> ·者名 大		怪営支援課			石﨑 459			
主	業を構成す	スル車業	Ø	01-0	5-08	モノづく					1 342		100			
	·未を傾成り ·算事業コ <b>ー</b>															
<b>主</b>	事業の種類	▲ 新規	<b>車業</b>	(  2 2 2 5	∓度 O	元年度	)	○建	1 記事業		マカル	めの継	结車業			
開始年			-	成 ● 令			根拠									
終期記		○有●		~ •	16		法令等			A-0-747	T 11L ~ 11	7, 11	1174.			
実施基		〇法令			基準内	〇区独		計画	区分	Oi	† <u>画</u>	● 非	計画			
行	政評価	分野	Ш		革新都市				○							
	業体系	政策	05		ある地域		. 6									
	1 区内2	┃ 施策 ▽地域と	1 03 国和する		経営革新 持続的な		<b>全切する</b>	由小企	坐去が行:	さままして	ササをド	タスナル	かの取組			
	1-441															
目的					・発展を		• • –		• •	•		~ .				
対象	者 地域との	)共生を[	図るため	めの取組	を通じて	C持続的	な発展を	希望する	る区内中心	小企業者等	ŧ					
等																
	操業環境	●の改善:	等を行う	う区内中	小企業者	等に対	 l.、当該	改善等(	こ要する約	<u></u> 泽費の一音	Bを補助す	よる。				
	なお、≜	当該補助:	金は、真	東京都の	「都内も	ものづく	り企業地	域共生排	准進事業費	費補助金」	を財源の	の一部	とする。			
											モノづくり	ノ企業	等			
	【補助図	寸象事業,														
内容	,				\$ 現金伽書 \$ 業 ( 耐震				\ <del>-</del> \\\\_	全1佣 寸 /						
/1)1 <del>  </del>	【補助蹈	△上限額)	】①操氵	業環境改	(善 3/4	375万円	(都:2507	万円 2/4								
											1/4)					
		③耐震補強 2/3 1,400万円(都:700万円 1/3、区:700万円 1/3)														
	令和2年	中 起	助事業	明松												
	⊤□↑₩∠廿	及 1₩	脚爭未													
<b>477.1</b> Ε																
経過	1															
												進補助金交付要綱  ● 非計画  生を図るための取組を支援する。 ののではます。 を支援するののではます。 はいます。 はいますがある。 はいますがある。 はいますがある。 はいますがある。 はいますがある。 はいますがある。				
								· <del></del>			- <u>-</u>		· .n			
~ <del></del>							善向上	.を図るる	とともに、	区内にお	<b>ふけるモノ</b>	/づく	り企業の			
必要性	事 果 極 称	元を凶る.	ためハー、	、必安性	は高い。											
	/ 4 市 岸				+ * 01	9 4	31¢ #1	<b>~</b> 北半	+1 ~ 吃!							
実施	( <mark>1直営</mark>		)	(	直営の場	易合	常勤	○ 非吊	勤 🔾 臨日	<b>持職員</b> )						
方法																
										-						
							指標の推	<b></b>								
+6	事務事業	事務事業の成果とする指		旨標名				2年度	目標値	_	指標に関	₫する説明				
指					29年度	30年度	元年度	2年度   見込み								
	2 ++ 3h A th	== 1止 坐5														
	1 補助金申	請件剱						3		3						
+==	2															
標																
	3															
	事務	事業の分	- 44													
	2年度	1	3年度	į.			9	分類につ	いての説	明・意見	等					
	2-T-/X		دا - ت		中小1	企業の持	続的な成	たしは.	 工場とi	近隣住民0	 D調和を₿	図るこ	とが重要			
	14.54		1// 5//			とめ、推		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, <u> </u>	C194 IL 200	7 II/9 1 II C E	- U -	C 1/2			
	推進		推進	Ī												

No2 (単位: 千円)

														立:千円)	
		<b>央算額等の推移</b>		26年度	₹ :	27年度	2	28年度	£ 294	年度	30	0年度	元年度	2年度	
予算		/0 <i></i>										_	21, 500		
	額_	(2年度は見込み)												21, 500	
	実 事項名 (2年度は見込み)		26年度		27年度		28年度	ξ 29 <sup>4</sup>	年度	30	0年度	元年度	2年度		
	補	助金申請件数			_	_			-			_	_		
の															
推															
移	L						L				L				
予算	• <i>i</i>	央算の内訳													
		平成30年度(決算)			令和	元年度	(決	算)				令和2年	F度(予算)		
節		主な事項	金額(千円)	節 主な事項 💩 🚓 (千円)							節主な事項				
		_			-					補助:	金月	<b>喿業環</b> 境	竟改善等	21, 500	
													(単化	立:千円)	
		勘定科目	30年度	元年	丰度	差額			勘定科目		30	0年度	元年度	差額	
		給与関係費			448				<u>方</u> 税						
		物件費						国	庫支出金	<u> </u>					
行		維持補修費						行郵	支出金	_					
政	絧	扶助費						以 二	担金及び1	負担金					
⊐	ᄣ	補助費等					1UV	巴並及び∃ 用料及び∃							
ス		減価償却費						Λ	の他	. XX 11T					
١-		/						行政収入合計		計(a)		0	0		
計	/13	賞与 退職給与引当金繰入額			27				<u> </u>			0	<b>▲</b> 475		
算		その他行政費用			21								<b>A</b> 473		
書				0	475			金融収支差額(d				0	<b>▲</b> 475		
	行政費用合計(b) 特別費用(g)			0 4				通常収支差額(c)+(d)= 特別収入(f)		(u) – (e)	0		<b>A</b> 4/5		
				0	^	0 0 当期収支差額(e)-						0	A 17E		
		別収支差額(f)-(g)=(h) 5 関係患が行れ患用の	<b>ト</b> 业 ナ トレ	0 5.7 🚓							左曲	0	▲ 475 火脚 号 おせ		
備		与関係費が行政費用のス								)、元·	午及	は、担	ヨ	助金父刊	
考	安	綱整備等の準備事務の∂	ナをリンル	=1= W),	1用切:	貝守の又	Щ	みない	٠,						
	ìf.	年 邦心への通勤等の理	山価性の言	ミさから	. 7	`.`.	建:	ひ生 か	いった	的口油	ŧ₽ı	シテナー 1つ	まえしてき	もた住民と	
問	近年、都心への通勤等の利便性の高さから、マンション建設等が加速度的に進み、新たに転入してきた住民と  町工場との間で、操業環境に関する問題が垣間見えるようになっている。														
題	¨'	工物 2 0 間 2 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	,	מו בבא נייון ע		)L/C 0 0				0					
点															
課															
I 跃 I 題															
	<u> </u>														
問題	点 •	・課題の改善策													
		令和元年度に取り	組まり		수 :	印元任使	1-5	宇施士	<i>t-</i>		4	新り年月	まい 修 に 取り	月組まり	
		具体的な改善内容			┃						令和2年度以降に取り組む 目体的な改善内容				
		大学的な以前内容	Π,		以音内谷のよび計画						■ 具体的な改善内容 ■ 制度を積極的にPRし、補助金利				
	l														
(1)	I									用を促進することで、工場と近隣  住民の調和を図る。					
	l														
	L														
	l														
2	I														
	l														
	$\vdash$			+						$\dashv$					
	I														
3	I														
	I														
旋他		(実施 6	区	未実	施	16		区	不明	月		0	区)		
施状況の実	- :	3類型:品川、板橋													
かの	. :	操業環境改善及び住民会	<b>乏入環境</b> 刺	整備 : 大	:田、t	世田谷、	足	立							
が実		操業環境改善のみ:江戸				•		_							
_		20 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12													
況議	l														
へ 会 更 質	I														
要旨)															
思以	l														
1/\	<u> </u>														